

SKYSEA Client View Webサイト

商品の最新情報や制限事項のほか、導入事例やメールマガジンの購読(無料)受付、セミナーのご案内、情報セキュリティに関するコンテンツなどを公開しています。

— 情報と社会を結ぶ、これからのクライアント運用管理へ —

SKYSEA Client View

スカイシー クライアント ビュー

Ver.8.2

※本カタログに掲載している画面はすべて開発中のものです。

商品に関するお問い合わせや最新情報は…

Webサイト ▶ <http://www.skyseaclientview.net/> 商品に関するお問い合わせは、Webサイトよりお受けしております。

インフォメーション
ダイヤル ▶ **06-4807-6382** 受付時間 9:30~17:30(土・日・祝、ならびに当社の定める休業日を除く平日)

当社は、Microsoft社の製品やテクノロジーをベースとしたサービスの開発や販売を行うIT関連企業に対するパートナープログラム制度において、「マイクロソフト Goldコンピテンシーパートナー」の認定を受けています。

Microsoft Partner
Gold Independent Software Vendor (ISV)

●SKYSEA および SKYSEA Client View は、Sky株式会社の登録商標です。●Mac OS、Mac、OS X、iPhone および iPad は、Apple Inc.の登録商標または商標です。●Android™ は、Google Inc.の登録商標または商標です。●Linux® は、Linus Torvaldsの登録商標または商標です。●Red Hat® は、Red Hat, Inc.の登録商標または商標です。●Windows®, Windows Server®, Windows Vista®, Internet Explorer®, Microsoft®, SkyDrive®, SQL Server® および Windows PowerShell® は、Microsoft Corporationの登録商標または商標です。●Intel®, Pentium®, Xeon® および vPro™ は、Intel Corporationの登録商標または商標です。●Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の登録商標または商標です。●CMMI® は、Carnegie Mellon Universityの登録商標または商標です。●その他記載されている会社名、商品名は、各社の登録商標または商標です。●本文中に記載されている事項の一部または全部を複写、改変、転載することは、いかなる理由、形態を問わず禁じます。●本文中に記載されている事項は予告なく変更することがあります。

Sky株式会社 — <http://www.skygroup.jp/> —

■ 本 社 〒532-0003
大阪市淀川区宮原3丁目4番30号 ニッセイ新大阪ビル20F
TEL.06-4807-6374 FAX.06-4807-6376

■ 東京支社 〒108-0075
東京都港区港南2丁目18番1号 JR品川イーストビル9F
TEL.03-5796-2752 FAX.03-5796-2977

■ 札幌支社 仙台支社 横浜支社 三島支社 名古屋支社 広島支社
松山支社 福岡支社 沖縄支社

UR-17000-31 / 13-10-04

「使いやすさ」を
オールインワン

SKYSEA

Windows®、Macが混在する オフィス環境での運用管理をはじめ、 様々な環境で『使える』機能を搭載。

Windows端末を中心に様々なIT資産の運用管理に対応してきたSKYSEA Client View ——。

Ver.8.2ではMac端末のログ管理に対応。

オフィスに混在するWindows、Macの運用管理がさらに行いやすくなりました。

加えて、インターネット経由での資産情報収集を可能にするなど、

今まで以上に多様な環境で『使える』商品を目指しました。



サーバー



ネットワーク機器



Windows 端末



Mac 端末



USB デバイス



ソフトウェア資産

Mac端末の管理がさらに便利に



資産管理、デバイス管理、リモート操作などの従来対応していた機能に加え、Ver.8.2では、ログ管理に対応。Mac端末の操作ログを収集、閲覧することが可能になりました。

詳しくは
P.07

軽い

速い

日々の運用をさらにスムーズに

使いやすい

Ver.8.2では、通信データ圧縮で起動時間を大幅に圧縮。十分な通信帯域を確保しづらい無線環境などにおいても、正常な運用を可能にしました。

詳しくは
P.15



Windows® 8端末の運用管理をサポート

詳しくは
P.09



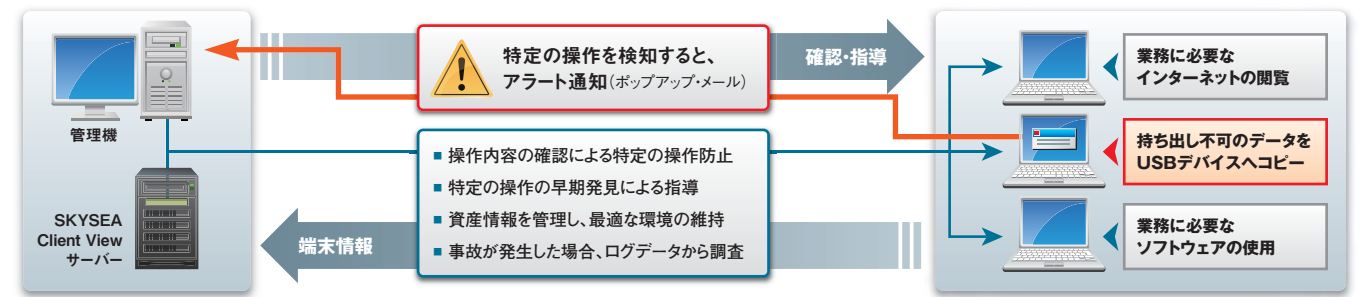
さらに多様な環境で『使える』機能を搭載

詳しくは
P.11

『情報セキュリティ対策』+『IT資産運用』のトータル管理に 必要な機能をオールインワンで搭載



■ 運用イメージ 詳しくは、システム構成 (P.45) をご覧ください。



▶ SKYSEA Client View 機能概要 << Windows端末 (Windows OS、Windows Server OS) 対応項目 >>

LT = Light Edition ST = Standard Edition OP = オプション M = Mac 端末対応機能 L = Linux 端末対応機能

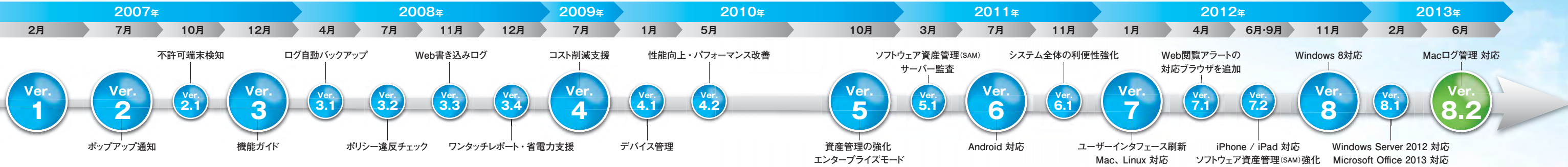
			LT	ST
資産管理	ハードウェア一覧 (※1)	● クライアントPCの稼働状況を把握します。	M L	
	ネットワーク機器情報収集 (※1)	● ネットワークに接続されたプリンターやHUBなどの機器情報を収集し、台帳を管理します。 ● NEW! IPアドレスと収集日時を指定して、機器情報を定期的に自動収集できます。	M L	
	資産変更状況	● クライアントPCの資産情報の変更状況を把握します。		
	アプリケーション一覧 (※1)	● クライアントPCのアプリケーション利用状況を把握します。	M L	
	資産データWeb閲覧	● 管理権限のないPCからでも、Webブラウザ上で資産情報の閲覧などが行えます。(※2)		
	インターネット経由での資産情報収集 NEW!	● インターネット経由でクライアントPCの資産情報が収集できます。(※3)		
	省電力支援	● 管理機からクライアントPCやプリンターの電源状態をチェックできます。		
	ソフトウェア配布・インストール	● よく使うソフトウェアを複数のクライアントPCへまとめてインストールします。 ● インストール操作を記録して、ソフトウェア配布用のスクリプトを自動生成します。 ● NEW! 指定した部署にクライアントPCが所属すると、事前に設定したソフトウェアを自動配布・実行できます。		
	Windows更新プログラム配布実行	● Windows更新プログラムを複数のクライアントPCへまとめて配布・適用します。		
	Intel vPro テクノロジー対応	● AMT6.0「KVMリモート制御機能」に対応。OSが起動してなくても遠隔操作が行えます。 ● 強制シャットダウン / 強制再起動 / 無線LANでの電源ONなど、電源状態の管理が行えます。		
ソフトウェア資産管理 (SAM)	ソフトウェア資産管理台帳	● ソフトウェア資産管理 (SAM) に必要な台帳で、ソフトウェアとライセンスを管理します。 ● 台帳の更新履歴の保存・閲覧が行えます。	M L	
	SAMACソフトウェア辞書	● 「SAMACソフトウェア辞書」を活用してソフトウェア情報を事前登録し、効率的に管理します。		
	管理対象ソフトウェアの策定	● 「標準ソフトウェア」や「利用禁止ソフトウェア」などのカテゴリに分類することができます。 台帳の作成・更新や、利用実態との突合にご活用いただけます。	M L	
	保有ライセンスの記録・管理	● アップグレード・ダウングレードライセンスの管理、有効ライセンスの記録が行えます。 ● 突合によるライセンス割当作業の支援や、ライセンス証書などに関する情報の記録が行えます。	M L	
	棚卸支援	● 台帳記録と利用実態を突合し、齟齬を抽出します。 日々の台帳更新や、定期的な棚卸作業に必要な情報がひと目でわかります。	M L	
	申請・承認ワークフローシステム	● PC、ソフトウェアの利用申請・承認がWebシステムで行えます。	M	OP OP
デバイス管理	登録・管理・棚卸	● USBデバイスの自動登録・管理設定・棚卸が行えます。(※1) ● 資産データWeb閲覧機能で、デバイス管理台帳の閲覧などが行えます。(※2) ● 紛失したUSBデバイスに記録されていたファイルを確認でき、操作ログを追跡できます。(※4)	M	
	使用制限	● 部署ごと / ユーザーごとにデバイス使用制限の設定が行えます。(※1) ● 追加・変更されたファイルを持ち込もうとしたUSBデバイスを自動的に使用禁止にします。(※4)	M	
	USBメモリによるコンピューター使用制限	● シリアルナンバーのあるUSBメモリを活用して、クライアントPCの使用を制限します。		
	申請・承認ワークフローシステム	● USBデバイスの利用申請・承認がWebシステムで行えます。	M	OP OP
ログ管理	収集・閲覧・保存 (※1)	● クライアントPCのさまざまな操作をログとして記録。必要なデータだけを抽出できます。 ● ログ検索の際、すべてのデータサーバーを検索範囲に指定して一度に検索できます。 ● 最長10年分のログを保存可能。また、バックアップデータもリストアップ (復元) せずに閲覧できます。 ● ネットワークに接続できないクライアントPCのログを書き出して収集できます。	NEW! M	

ログ管理	インターネット経由でのログ収集 NEW!	● インターネット経由でクライアントPCのログが収集できます。(※3)		
	画面操作録画	● クライアントPCの画面を録画して、詳細な操作内容を動画で記録します。	OP	OP
	送信メールログ	● 送信メールと添付ファイルをログとして記録。メールの本文も含めてキーワード検索できます。	M	OP
	高速ログ検索 (※5)	● 収集したログを高速で検索できます。		
	ユーザー作業状況	● 操作ログをもとに、ユーザーの作業状況を集計します。		
	Web利用状況	● 操作ログをもとに、クライアントPCや部署ごとのWeb利用状況を集計します。	M	
	ログデータWeb閲覧 NEW!	● 管理権限がないPCからでも、Webブラウザ上でログの閲覧が行えます。(※2)		
サーバー監査	アクセスレポート	● サーバーへの成功 / 失敗アクセスを記録し、その傾向をわかりやすく可視化して確認できます。	OP	OP
	OSログ閲覧	● Windowsイベントログの収集・蓄積と、ログに含まれる重要な操作 (監査ログ) の検索ができます。		
セキュリティ管理	注意表示 (アラート) 通知	● 特定の操作が発生した場合、管理者とユーザーへ通知します。 ● メッセージのポップアップ通知、ログ出力通知、メール通知、アラート端末のリスト化ができます。		
	アラート設定	● セキュリティ管理に必要な設定項目を網羅。部署ごと、グループごとなどに設定できます。 ● 利用者 (ログオンユーザー) ごとにセキュリティポリシーを設定することも可能です。		
	メール送信宛先フィルタリング	● メール送信先を管理して、許可されていない宛先へのメール送信を制限します。	OP	
	不許可端末検知 / 遮断	● 登録されていないクライアントPCを検知し、ネットワークから遮断します。	OP	
WSUS連携 NEW!	● WSUSと連携して、Windows Updateの実行スケジュールが管理できます。			
レポート	ログ解析レポート (※1)	● ログデータをもとに、プリンター利用状況や、Webアクセス状況などをレポート出力できます。	M	
	資産レポート (※1)	● 資産情報をもとに、クライアントPC、アプリケーションの利用状況などをレポート出力できます。	M	
	安全安心レポート	● 情報セキュリティ対策の傾向を視覚的にわかりやすくレポートします。		
コスト削減	サーバーシミュレーション	● サーバーの経費や利用状況に合わせて、最適な統合シミュレーションをレポートします。		
	利用状況レポート	● ファイルサーバーの利用状況をレポートします。 ● クライアントPC / プリンターの利用状況をレポートします。	M	
メンテナンス	リモート操作	● クライアントPCの画面を管理機に転送して、遠隔操作することができます。 ● 複数のクライアントPCに同時接続して、リモート操作で一括メンテナンスできます。	M	OP
	キーボード・マウス転送	● 管理機の操作を一斉転送して、複数のクライアントPCで同一操作を実行できます。		
	端末制御	● 端末のリモートメンテナンスができます。(資料配布、電源管理、アプリケーション実行、マクロ)		
モバイル機器管理 (MDM) ※6	資産管理	● ハードウェアやソフトウェアの情報を取得し、モバイル端末を一元管理できます。		
	注意表示 (アラート) 設定	● 不許可アプリケーションがインストールされたことを検知すると、アラートを表示します。 ● モバイル端末管理用の情報が、サーバーに一定期間アップロードされないことをアラートを表示します。	OP	OP
	iPhone / iPad専用機能	● カメラ、App Store、iTunes Store、Safari、iCloudなどの機能・操作を制限できます。 ● 設定可能なパスコードの文字数、有効期限、入力を失敗できる回数などを指定できます。 ● リモート制御による端末ロック、端末内データ消去 (ワイプ)、パスコード消去が行えます。	OP	OP
	Android 端末専用機能	● アプリケーションやアップデートの配布、インストール / アンインストールの通知ができます。	OP	OP

※1 Windows端末に対応している機能でも、Mac端末には対応していないものがあります。詳しい対応状況は機能一覧 (P.37~P.44) をご覧ください。※2 資産データWeb閲覧機能、ログデータWeb閲覧機能は、SKYSEA Client View Webシステムに含まれます。※3 クライアントPCに対して、HTTP(S) 通信のインストーラーによるインストールが必要です。

※4 Android端末、iPhone / iPadを記録デバイスとして管理する場合、非対応となります。※5 高速ログ検索は、「SKYSEA Client View High Speed Log Search」と連携することで、ご利用いただける機能です。※6 ログ収集などのログ管理機能は搭載していません。

『使いやすい』から、『使える』 ツールへ SKYSEA Client Viewは進化し続けます



『使いやすさ』を追求した管理画面で、スムーズ な運用管理を

**カテゴリ分けされた
わかりやすい機能メニュー**

機能ごとにわかりやすく整理されたアイコンを用意。やりたい操作がすぐ見つかるように、操作のカテゴリで分類されています。

**初めてでも操作に迷わない
「ふきだしヒント」**

ボタンや項目にカーソルを合わせると、操作のヒントを表示する「ふきだしヒント」を搭載。機能説明を載せた「機能ガイド」と合わせて、迷わず管理画面の操作ができるように支援します。

アプリケーションのインストール状況の確認や、アプリケーションソフトウェアの配布ができます。

ネットワーク全体 - SKYSEA Client View Ver.8

資産管理 | ログ管理 | 設定 | 制御 | お気に入り

ハードウェア一覧 | アプリケーション一覧 | デバイス管理 | ソフトウェア資産管理 | リモート操作 | 電源管理 | 資料配布 | ネットワーク機器収集

グループツリー 配下全表示

My Computer: SKY25001, SKY25002, SKY25003, SKY25004, SKY25005, SKY25006, SKY25007

ログオフ中: SKY25008, SKY25009, SKY25010, SKY25011, SKY25012, SKY00001, SKY25014

Android端末: SKY35001, SKY25015, SKY55001, SKY65001, SKY25021

iOS端末: SKY25023, SKY35002, SKY55002, SKY45002, SKY25027, SKY25028, SKY25029

端末: 5500台(表示: 5500台) アラート: 100台 選択: 11

標準: 2000号(表示: 2000号) ユニート: 100号 選択: 3

プロ(ティ)P 詳細表示

**よく使う機能を登録できる
「お気に入り」タブ**

タブによく使う機能ボタンを最大8個まで登録できます。メニューをカスタマイズすることで、日々の管理業務の利便性向上にお役立ていただけます。

**メイン画面から各PCの
資産情報をすばやく確認**

メイン画面から、各クライアントPCの資産情報の詳細を表示できます。気になったときに、手早く閲覧できます。

詳細表示

端末No: 5
 端末名: SKY25005
 部署名: ネットワーク全体
 OSバージョン: Windows 8 Professional
 ネットワークカード: 3
 ネットワーク: XXXX-Network Interface Card
 MACアドレス: XX-XX-XX-XX-XX-XX
 IPアドレス: 192.168.0.XXX
 サブネットマスク: 255.255.255.0
 デフォルトゲートウェイ: 0.0.0.0
 DNS: 192.168.0.1, 192.168.0.2



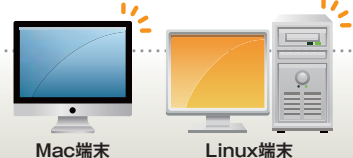
Mac端末の 管理がさらに便利に

Mac端末運用管理の特長



Mac端末、Linux端末の資産情報を収集・管理※1

Mac端末はもちろん、Linux端末の資産情報の収集・管理に対応。Windows端末と混在した作業環境でも、ハードウェア・ソフトウェア情報を一元管理できます。



Ver.7.0

Mac端末でのUSBデバイス使用も管理可能に

Ver.8.0

▶ デバイス管理 Mac対応※1※2※3

Mac端末に接続するだけで、USBデバイスを台帳に自動登録できます。また、USBデバイスの使用制限を、端末ごとに設定することもできます。

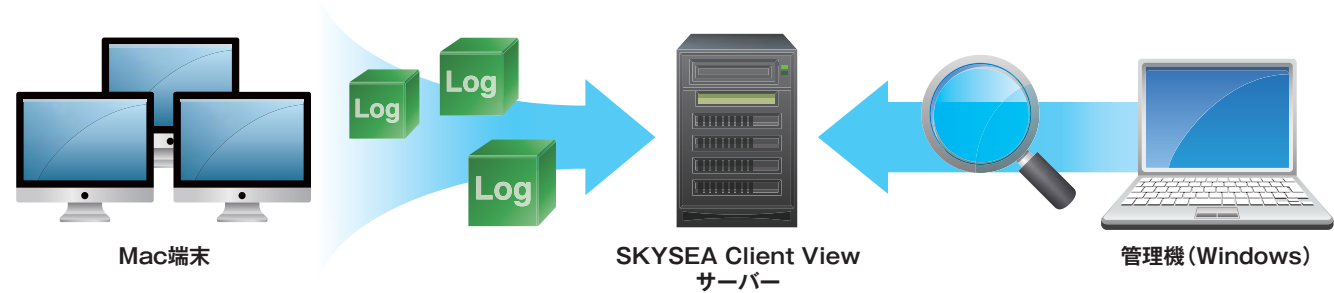


Mac端末のログ収集、閲覧が可能

Ver.8.2

NEW ▶ ログ管理 Mac対応※1※2※3

デザイン業務など、オフィスでの活用も多いMac端末に対して、操作ログの収集と閲覧が行えます。また、収集したログを解析した各種レポートの出力も可能です。



Mac端末のリモート操作が可能に

Ver.8.0

▶ リモート操作 Mac対応※1※2 オプション (LT)

管理機からMac端末をリモート操作できます。複数台のクライアントPCを同時接続しての並行作業も行え、メンテナンスが効率よく行えます。



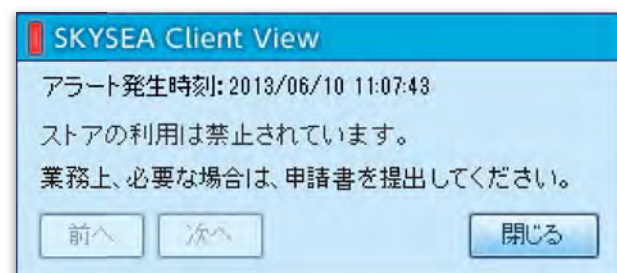
※1 Windows端末に対応している機能でも、Mac端末には対応していないものがあります。詳しい対応状況は機能一覧 (P.37~P.44) をご覧ください。※2 Mac OS X 10.5以降のバージョンのみ、ご利用できます。※3 ご利用いただくにあたって制限がございます。詳しくは制限事項 (P.57) をご覧ください。



Windows® 8 端末の運用管理をサポート

Windows® 8 端末運用管理の特長

Point 1 Windows® 8 スタート画面にアラートを表示して注意喚起※1



※1 事前に設定したセキュリティポリシーに反する操作が行われた場合に表示されます。

Point 2 Windows® 8 タブレット端末のリモート操作に対応



Point 3 不正な操作を自動録画、管理機から確認できる



Windows Server® 2012、Microsoft® Office 2013に対応

Ver.8.1

常に最新の環境でご利用いただける商品を目指し、Windows Server 2012でマスターサーバー、データサーバーなどが利用可能に。また、資産情報として管理可能なアプリケーションに、Microsoft Office 2013を追加しました。

Ver.8.0

Windows® ストアアプリの資産管理、使用制限が可能

PC、タブレット端末でのWindowsストアアプリの利用状況、操作ログを確認し、実行とインストールを制限できます。業務に必要なアプリのみが使用されるように、詳細な管理が可能です。

資産管理

Windowsストアアプリのインストール状況の確認

ログ管理

Windowsストアアプリの操作ログの確認

セキュリティ管理

アプリ利用・インストールの制限
Windowsストアの利用制限

Ver.8.0

Microsoft® SkyDrive® の利用を制限

大容量のファイル共有が行えるMicrosoft SkyDriveの利用自体を禁止したり、利用した端末に注意表示(アラート)を表示させ、注意を促すことができます。



Windows® To Goの運用管理に対応

Ver.8.0

Windows To Goを利用している端末の資産情報も、その他OSと同様に収集、管理できます。

Windows® Defenderの有効 / 無効が確認できる※2

Ver.8.0

各端末におけるWindows Defenderが有効になっているかを、一覧で確認できます。パターンファイル情報も確認可能です。

※2 SKYSEA Client Viewが対応しているウイルス対策ソフトウェアがインストールされていない場合にのみ、Windows Defenderの情報を取得します。



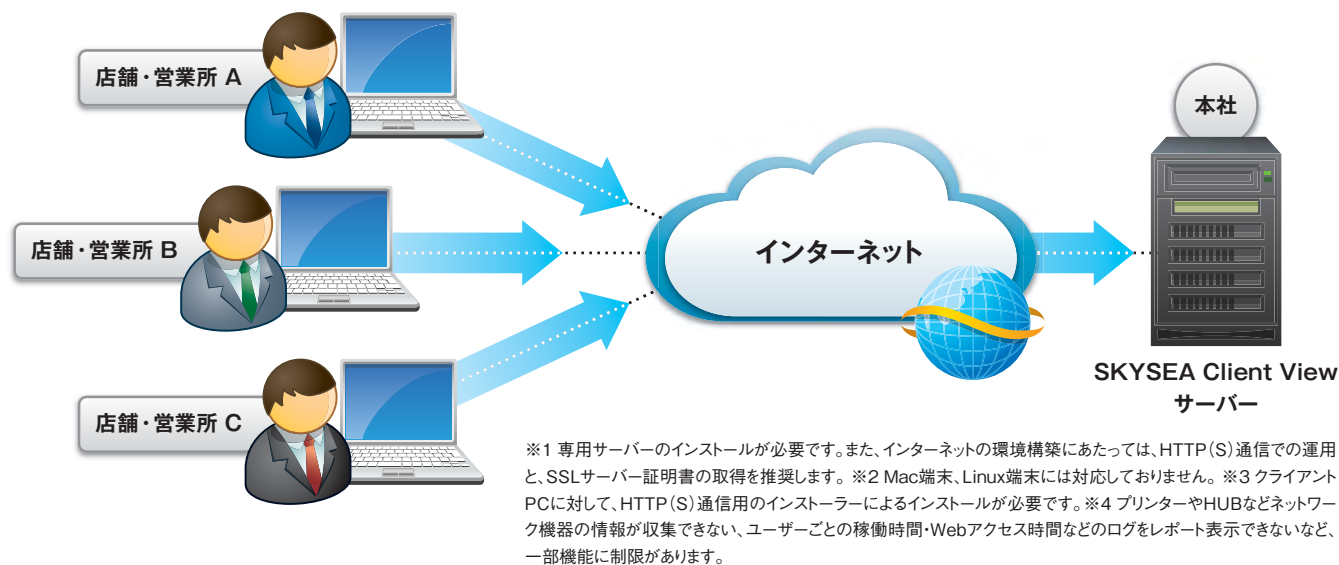
さらに多様な環境で『使える』機能を搭載

Case 1 社内ネットワークへの接続が困難なPCの運用管理に Ver.8.2

NEW 各拠点PCの資産情報・ログをインターネット経由で収集

▶ インターネット経由での資産情報・ログ収集対応※1※2

本社のネットワークとの接続が難しい他拠点のクライアントPC※3などから、HTTP(S)通信による資産情報・ログ収集が行えます。デバイス管理や、各種セキュリティポリシーの設定もできます※4。

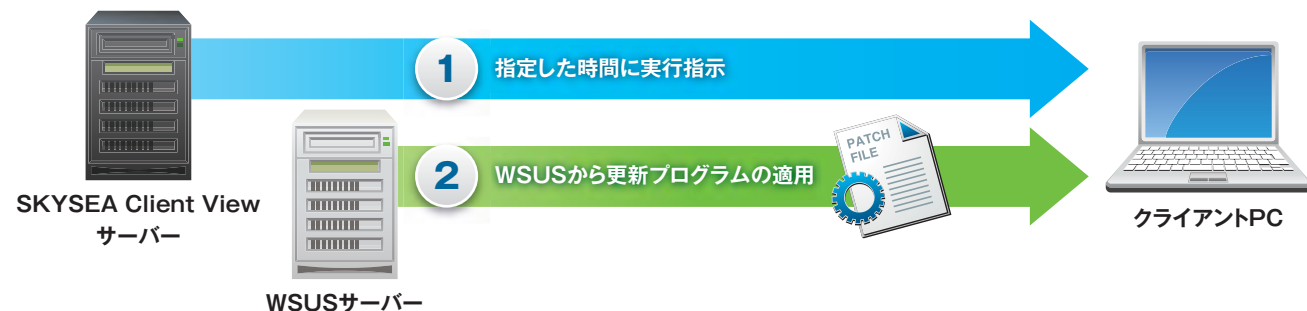


Case 2 Windows® 更新プログラムの各PCへの定期的な適用に Ver.8.2

NEW WSUSと連携、更新プログラム適用をスケジュール管理

▶ WSUS (Microsoft® Windows Server® Update Services) 連携

WSUSと連携し、業務に支障のない休日深夜に定期的な適用を行うなど、更新プログラムの適用スケジュールを管理できます。適用時にPCの電源ON / OFFも自動で行うように設定できます。



Case 3 管理用PCを用意できないユーザーがログ管理を行いたい場合に Ver.8.2

NEW Webブラウザで操作ログ、アラート状況を確認

▶ ログデータWeb閲覧※5

事前に関覧権限を付与されたユーザーであれば、Webブラウザ上で各クライアントPCまたはユーザーの操作ログを確認できます。PCに管理機能をインストールしていないユーザーでも、必要に応じてログ管理を行うことができます。

SKYSEA Client View

ログデータWeb閲覧

WebシステムTOP画面に戻る

SKY25001 ログアウト

毎日のアラート状況とログの詳細を切り替えて表示できます。

ログ閲覧

カレンダー表示

ユーザー別 > すべてのユーザー

起動・終了 クライアント操作 アプリケーション ファイルアクセス ファイル操作 クリップボード システム

プリント Webアクセス メール トライプ フォルダ共有 不許可端末

すべて選択

すべて解除

日単位 月単位

<< 前週 < 前日 2013年05月20日 翌日 > 翌週 >>

部署/グループ	14日(火)	15日(水)	16日(木)	17日(金)	18日(土)	19日(日)	20日(月)
すべてのユーザー	-	105件	11件	132件	-	-	70件
ユーザー一覧表示中		アプリケーション 25件 ドライブ 41件 フォルダ共有 59件	Webアクセス 11件	ファイル操作 121件 Webアクセス 11件			アプリケーション 66件 ドライブ 4件

ユーザー一覧 - すべてのユーザー

ユーザー名 表示名	14日(火)	15日(水)	16日(木)	17日(金)	18日(土)	19日(日)	20日(月)
Administrator	-	-	-	-	-	-	-
aozorot 青空 太郎	-	15件	1件	12件	-	-	7件
nakajimak 中島 賢治	-	-	-	-	-	-	-
koyamay 小山 康弘	-	15件	1件	12件	-	-	6件
yamamotom 山本 勝	-	11件	1件	12件	-	-	7件
iwasakin 岩崎 直樹	-	10件	1件	-	-	-	1件
kikuchis 菊地 晋太郎	-	12件	1件	-	-	-	1件
sakuraia 桜井 藍子	-	12件	1件	12件	-	-	7件
kobayashit 小林 拓真	-	15件	1件	12件	-	-	6件

ユーザーごとにアラート発生状況を確認できます。

資産情報もWebブラウザで閲覧可能 Ver.8.1

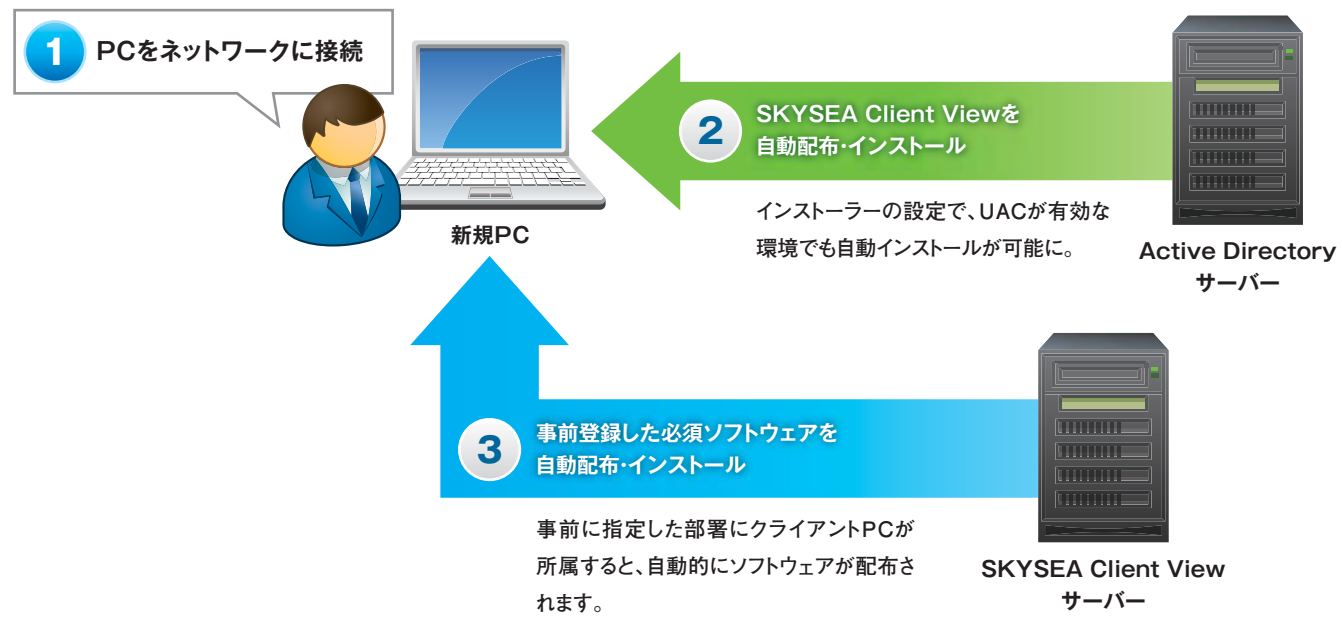
管理権限のないPCからでも、組織の資産情報をWebブラウザ上で閲覧できます※5。各拠点のPCにSKYSEA Client Viewの管理機能をインストールすることが難しい状況で、複数の拠点でIT資産の分散管理を行う場合でも、お役に立てます。

※5 本機能は、事前にシステム管理者から閲覧権限を付与されたユーザーのみが使用できます。

NEW 端末モジュール、ソフトウェアの導入を自動化
 ▶ ソフトウェア配布自動実行 / 権限制限プロセスからのインストール対応

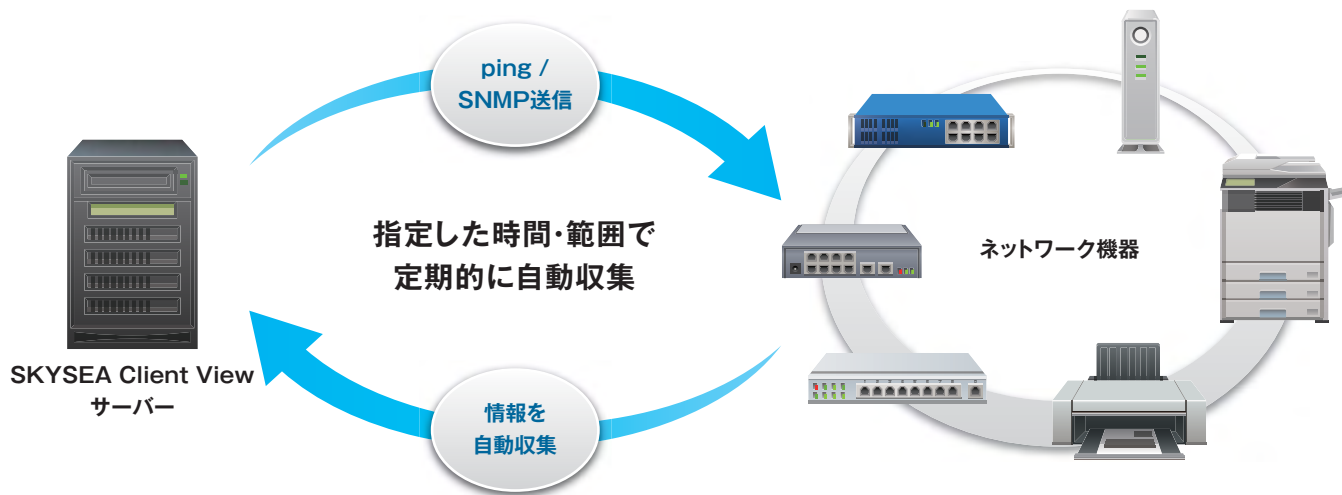
SKYSEA Client Viewの導入後に、クライアントPCに必要なソフトウェアが自動的にインストールされる機能を搭載。ユーザーアカウント制御 (UAC) 有効下でのSKYSEA Client Viewのインストールを許可する機能と組み合わせて※1、クライアントPCの導入を自動化することも可能です。多台数のPC導入時などに有効です。

※1 Active Directoryのログインスクリプトで、部署情報付きインストーラーを配布することが前提になります。



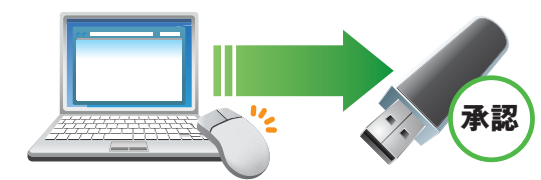
NEW 指定した日時、範囲で機器情報を定期的に収集
 ▶ ネットワーク機器情報の定期自動収集対応

IPアドレスの範囲と、収集日時を設定しておく、プリンターなどのネットワーク機器情報を定期的に自動収集できます。機器管理を複数人で行う場合などに、日々変動する利用状況の把握にお役立ていただけます。



USBデバイスの利用申請、承認をWebシステムで管理
 ▶ 申請・承認ワークフローシステム (USBデバイス) オプション (LT/ST)

USBデバイスの利用申請、承認がWebブラウザ上で管理できます。事前に設定したフローにそって申請、承認を行うことで、煩雑になりがちな申請の流れを明確にできます。



事前に申請・承認ルートを設定していなくても、申請のたびに個別で承認者を指定できるようになりました。また、承認時に次の承認者の指定もできます。人事異動などで、申請ルートのメンテナンスが困難な場合にも、無理なく運用していただけます。

ディスプレイを切り替えてリモート操作が可能
 ▶ リモート操作 マルチディスプレイ対応 オプション (LT)

2画面以上のディスプレイを同時に使用しているクライアントPCに対してリモート操作を行う場合に、操作するディスプレイを切り替えて対応できるようになりました。また、高解像度の端末画面の表示、リモート操作も可能になりました※2。



◀ 搭載しているその他新機能 ▶

- Ver.8.1** クライアントPCの電源状況がログから確認可能に
 ▶ 電源ON / OFFログ取得対応
- Ver.8.1** ドキュメントの印刷をプリンター、ユーザーごとに制限
 ▶ 印刷防止機能
- Ver.8.1** 指定したコマンドをアラート発生時に自動で実行
 ▶ アラート発生時の指定コマンド実行機能
- Ver.8.1** スタンドアロン環境のPCでもUSBデバイスの制御が可能に※3
 ▶ スタンドアロン端末へのデバイス管理情報設定

※2 解像度2560×1600までのディスプレイに対応しています。 ※3「スタンドアロン端末機」がインストールされている必要があります。

軽い

速い

使いやすい

日々の運用を さらにスムーズに

Case 1 データ回線が細い環境での運用に Ver.8.2

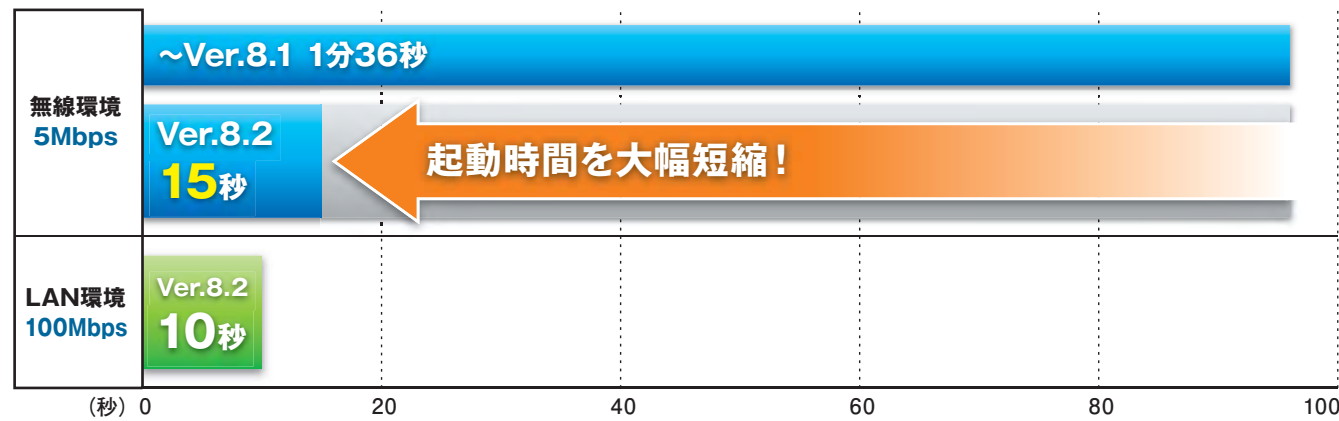
NEW

通信データ圧縮、画面起動がさらに速く

▶ 通信データ圧縮対応*1 / 画面起動高速化

十分な通信帯域を確保しづらい無線環境などにおいても、クライアントPC、マスターサーバー間の通信データを圧縮することで、正常な運用が可能です。また、管理画面の起動速度も向上しました。

■ SKYSEA Client View管理機起動時間*2



※1 設定ファイルによる設定が行われている場合のみ、有効となります。設定ファイルは手動で行う必要があります。管理機、端末機、マスターサーバーそれぞれで行う必要があります。※2 クライアントPC16,000台、マスターサーバー4台(サーバー間をGbpsで接続)の環境にて計測した数値です。グラフの値はあくまで特定のテスト環境で得られた結果であり、必ずしもすべての動作環境で同様の結果が得られることを保証するものではありません。

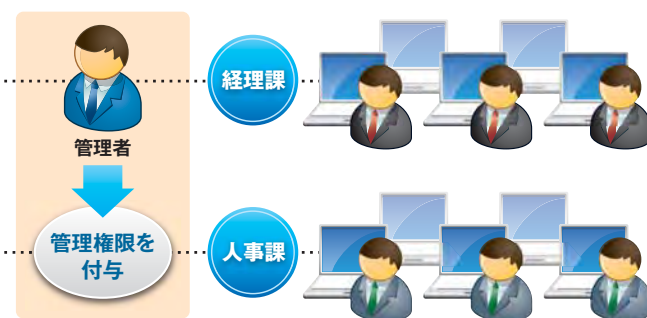
Case 2 他部署のPCを部署単位で管理したい場合に Ver.8.2

NEW

管理対象部署がさらに柔軟に設定可能に

▶ 管理機ごとの管理権限部署設定

所属部署以外の部署も管理対象に設定できます。役職上、複数部署のPCを管理する必要があるユーザーがいる場合にも、柔軟に対応できます。



SKYSEA Client View

各機能のご紹介

各機能のご紹介は、Windows端末の管理を基本として掲載しております。

Mac端末/Linux端末での詳しい対応状況については、機能一覧 (P.37~P.44) をご覧ください。

Contents

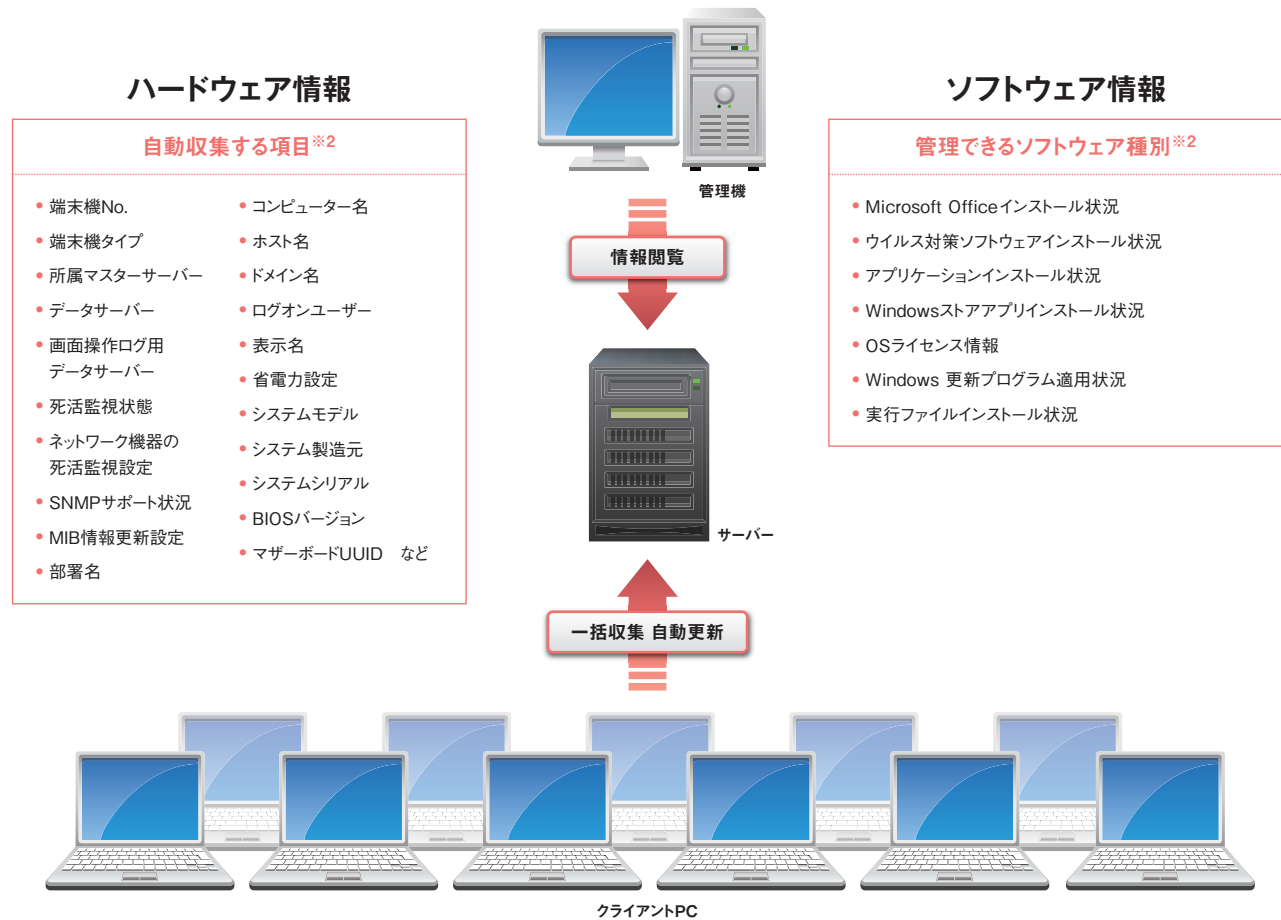
- P.17 ▶ 資産管理
- P.21 ▶ ソフトウェア資産管理 (SAM)
- P.23 ▶ デバイス管理
- P.25 ▶ ログ管理
- P.27 ▶ サーバー監査
- P.29 ▶ セキュリティ管理
- P.31 ▶ レポート
- P.33 ▶ コスト削減
- P.34 ▶ メンテナンス
- P.35 ▶ モバイル機器管理 (MDM)



資産管理

ハードウェア・ソフトウェアの詳細な情報を毎日更新。 変動する資産情報を適切に管理。

コンピューター名やソフトウェアインストール状況はもちろん、ハードディスクの空き容量やWindows更新プログラムの適用状況など、日々変動する資産情報を24時間ごとに自動更新※1。常に最新情報をもとに資産管理が行えます。



さらに
使いやすい

Mac、Linux®のIT資産も一元管理

Mac端末、Linux® 端末対応

Mac端末、Linux端末のハードウェア、ソフトウェア情報の収集、管理に対応。Windows端末を含め、OSが混在した環境でも一元管理が可能です。

ネットワークに接続されていないクライアントPCの情報も収集

スタンドアロン端末資産情報収集

ネットワークに接続されていないスタンドアロン環境のクライアントPCでも、専用ツールで資産情報を書き出し、管理機に情報を一括インポートできます。

必要な情報を抽出して 一覧表示

ハードウェア一覧

検索条件を指定して、条件にあった端末機だけを表示できます。検索条件を保存したり、検索結果として抽出された端末を検索グループとして登録でき、効率よく管理できます。

▶▶ 資産変更状況

アラート画面で設定した資産情報の項目が、変更されると赤字で強調表示します。気づきにくい変化も適切に把握することができます。



アプリケーションの インストール状況を把握

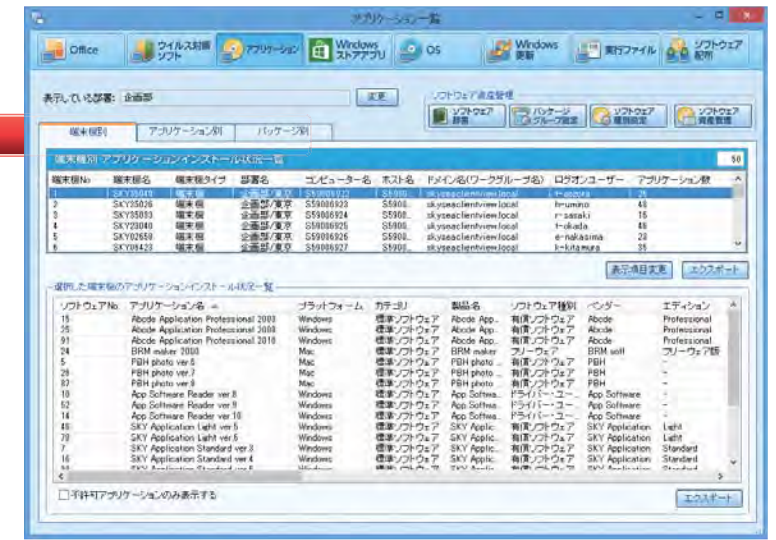
アプリケーション一覧

各種アプリケーションのクライアントPCへのインストール状況を確認できます。アプリケーションごとのインストール台数や、プロダクトIDなどの情報が適切に把握できます。

▶▶ ウィルス対策ソフトウェア更新状況※3

クライアントPCごとにウィルス対策ソフトウェアのインストール状況を確認できます。複数のメーカーのウィルス対策ソフトウェアに対応しています。

※3 詳しい対応状況については、Webサイト (<http://www.skyseaclientview.net/ver8/limit/>)をご覧ください。



オフィス機器情報を 収集して一元管理

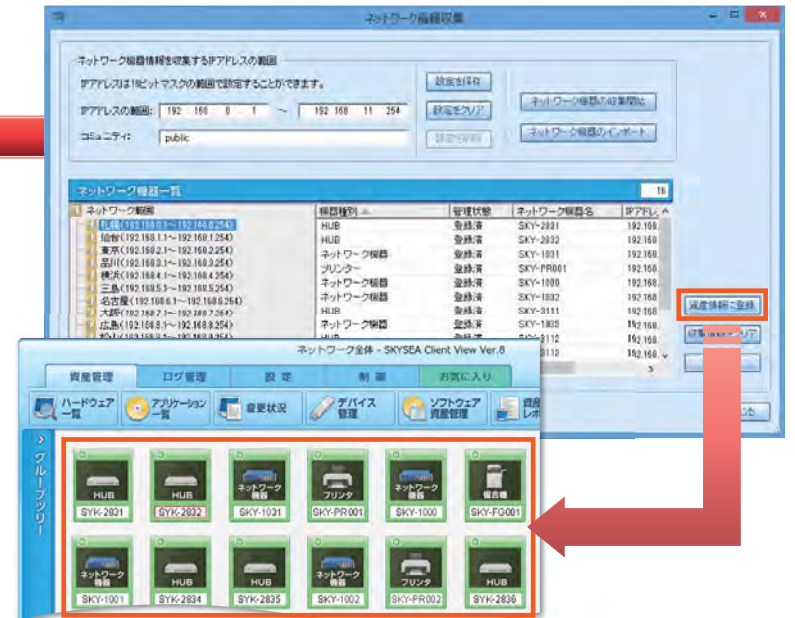
ネットワーク機器収集※4

プリンターやHUBなどのネットワーク機器の情報を収集し、台帳管理できます。SNMP対応機器であれば、詳細な情報も収集することができ、詳細な台帳が作成できます。

※4 情報を収集できない機器もあります。

自動判別できる機器種別

- 端末 (Windows)
- 端末 (非Windows)
- 端末 (Linux)
- サーバー (Windows Server)
- サーバー (Windows AD Server)
- プリンター
- 複合機
- HUB など



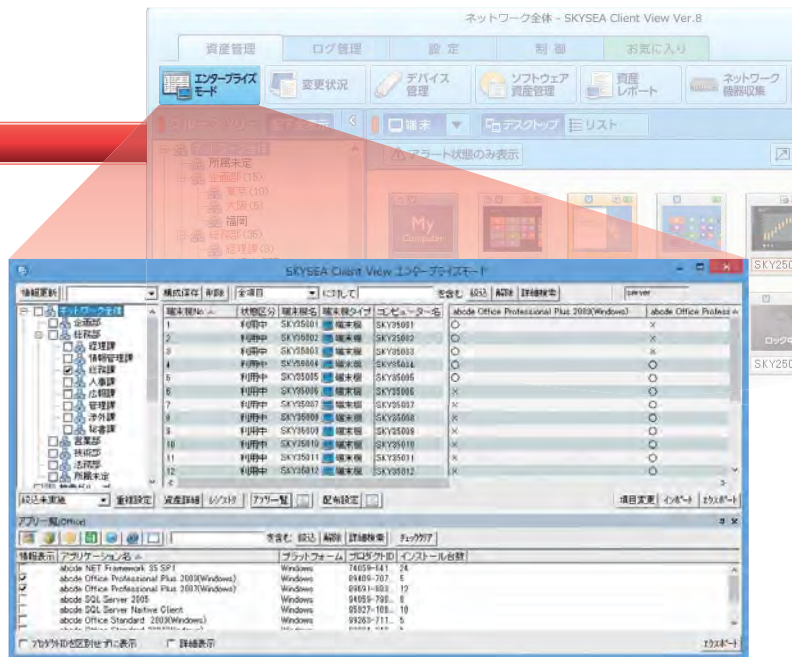
複数の資産情報を連動させ効率よく管理

エンタープライズモード

情報セキュリティ対策ソフトウェアを使い慣れた管理者向けに、複数の機能を同時に活用できる管理画面をご用意。少ない手順で効率よく資産管理を行います。

1つのウィンドウで資産情報を管理

クライアントPCのハードウェア情報やソフトウェア情報、ライセンスの情報など、複数の資産情報を1画面で管理できます。



社内のクライアントPCを一括で省電力設定

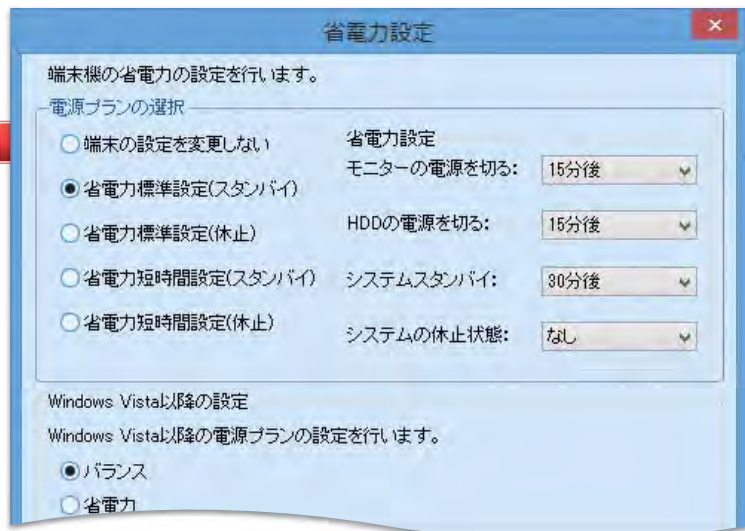
省電力支援

一括で省電力設定を適用でき、無駄な電力消費を抑えることができます。また、省電力設定されているクライアントPCにはマークが表示されます。

特許取得

電源切り忘れプリンター検索

最終退出の際、クライアントPCをシャットダウンすると、セグメント内のネットワーク機器の電源状態を表示。電源の切り忘れ防止にお役立ていただけます。



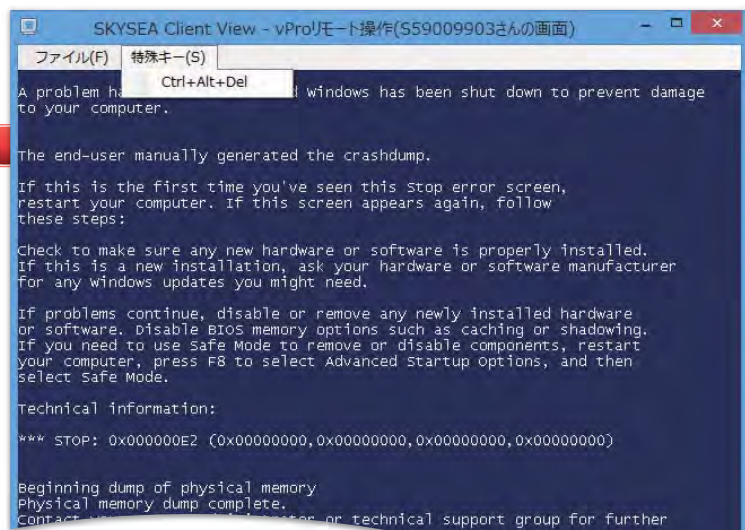
OSが未起動状態でもリモート操作が可能

Intel® vPro™テクノロジー対応

Intel vProテクノロジー「AMT6.0[KVM]リモート制御機能」に対応しています。ブルースクリーン状態などで、OSが応答しない場合でもリモート操作が行えます。

リモート操作でBIOSの設定も可能

OSの起動前にリモート操作ができるので、BIOSの設定も管理機から行え、より多目的にリモートメンテナンスが活用できます。



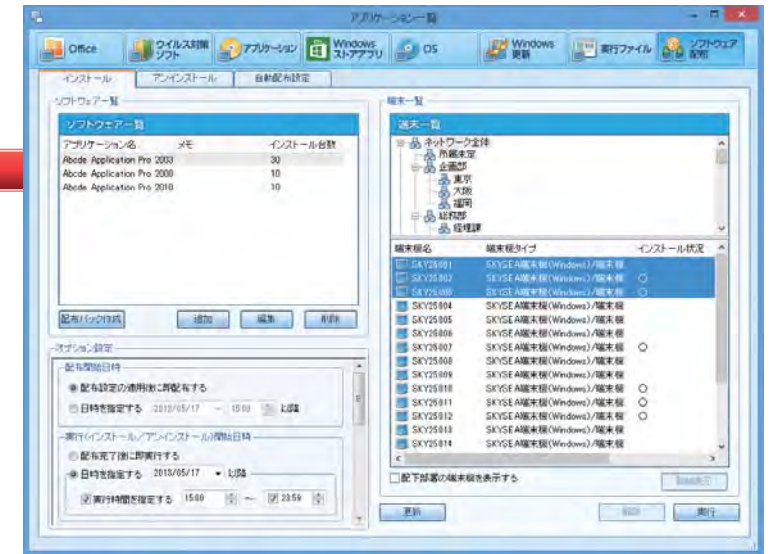
管理機からソフトウェアを一斉インストール

ソフトウェア配布

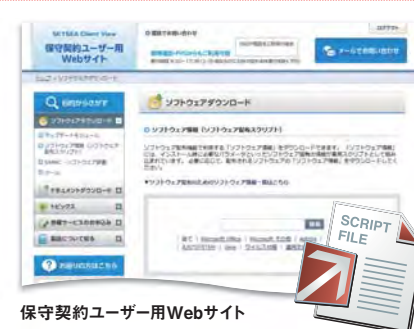
複数のクライアントPCに対して、業務に必要なソフトウェアの一斉インストールまたはアンインストールが行えます。複数のインストール・アンインストール作業をグループにまとめ、一括で実行することもできます。

スケジュール設定

スケジュールを設定して実行できるので、業務に支障がでにくい時間帯に配布処理が行えます。配布時にPCの電源をONにする設定もできます。



保守契約ユーザー用Webサイトから配布スクリプトをダウンロードできます



インストール手順を録画して、スクリプトを自動作成できます

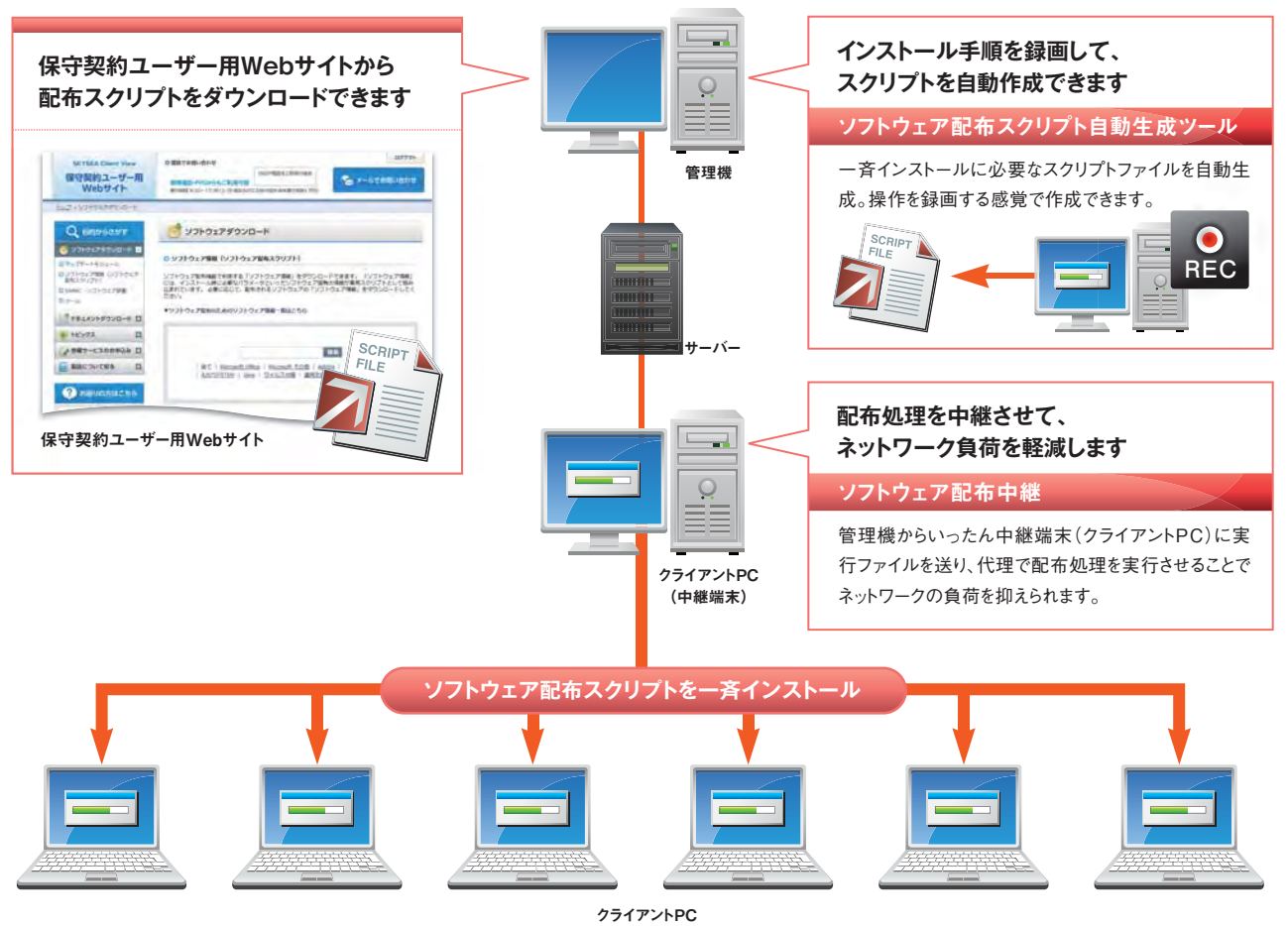
ソフトウェア配布スクリプト自動生成ツール
一斉インストールに必要なスクリプトファイルを自動生成。操作を録画する感覚で作成できます。



配布処理を中継させて、ネットワーク負荷を軽減します

ソフトウェア配布中継

管理機からいったん中継端末(クライアントPC)に実行ファイルを送り、代理で配布処理を実行させることでネットワークの負荷を抑えられます。



こんなシーンで使いやすい

すべてのクライアントPCに最新の更新プログラムを適用したい

Windows®更新プログラムの確認・配布

OSのサービスパックごとにWindows更新プログラムの適用状況を確認し、更新されていないクライアントPCへ配布。すべてのクライアントPCを漏れなく、更新することができます。

更新No.	更新名	更新種別	OSバージョン	OSサービスパック	KB番号	OSサービスパック	適用状況
6	SKY2501	更新種別	ネット	Windows V6	70800016		×
9	SKY2502	更新種別	ネット	Windows XP	6028011	SP1	×
10	SKY2502	更新種別	ネット	Windows 20...	85048072	SP2	×
11	SKY2502	更新種別	ネット	Windows 20...	61020000		×
11	SKY2502	更新種別	ネット	Windows XP	70800016		○

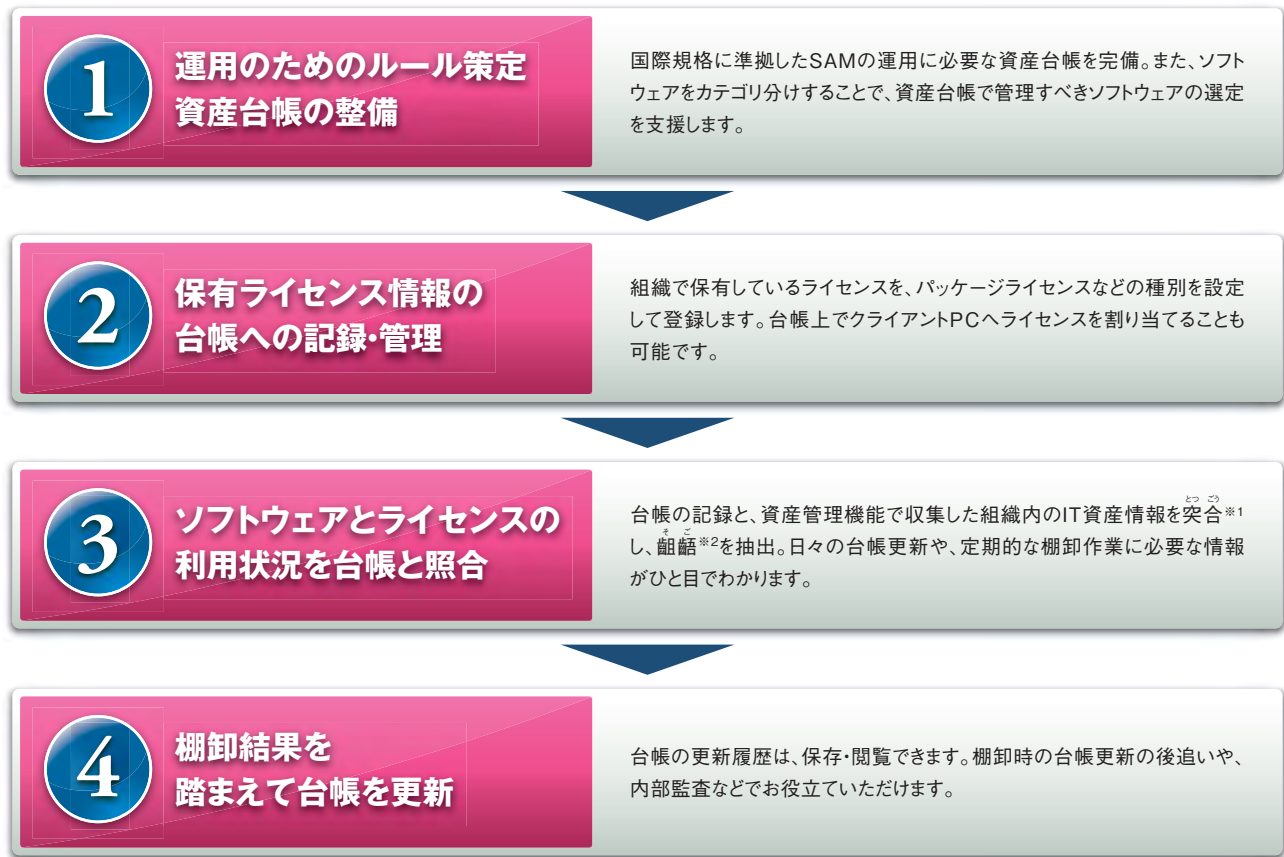


ソフトウェア資産管理 (SAM)

利用申請・承認・移動・廃棄など、管理の流れにそった各種機能でソフトウェア資産管理 (SAM) を支援します。

SAM構築に欠かせない管理台帳を完備し、ソフトウェア資産の適切な管理を支援します。Webシステムを使用して利用申請や承認などの手続きを行うと、自動的に台帳上の管理情報に反映されるなど、運用しながら管理できる仕組みで管理負担を軽減します。

SKYSEA Client Viewが支援するSAM運用プロセス



ソフトウェア資産管理 (SAM) の目的

ソフトウェア資産管理 (SAM: Software Asset Management) とは、事前に構築された綿密なガイドライン・管理体制のもと、企業内のソフトウェア資産をPDCAサイクルによって有効的に管理・制御・保護することで、情報セキュリティの強化、IT資産の最適化、ライセンスコンプライアンスの向上等を図る取り組みを指します。このSAMを規格化したISO / IEC 19770-1:2006が、ソフトウェア資産管理にあたっての国際的な基準とされています。

SAM構築に必要な管理台帳を完備

ソフトウェア資産管理 (SAM) に必要な管理台帳で、より詳細にライセンス管理を行うことができます。ソフトウェアメーカーによる監査への対応など、国際規格 (ISO/IEC 19770-1:2006) などに準拠した適切なSAM計画を支援します。

ハードウェア一覧



クライアントPCやネットワーク機器など、組織内のハードウェアに関する各種情報を管理します。

アプリケーション一覧



組織内で利用されているソフトウェアの各種情報を管理します。管理すべきソフトウェアのカテゴリ分けも行えます。

保有ライセンス台帳



組織で保有されているライセンスの各種情報を管理する台帳です。ライセンス証書単位、1ライセンス単位での管理が可能です。

部材台帳



ソフトウェアライセンスの使用許諾条件を満たすために必要な部材 (ライセンス関連部材) の情報を管理する台帳です。

ソフトウェアの導入状況を 端末ごとに詳しく台帳管理

導入ソフトウェア台帳

ソフトウェアがどの端末にインストールされ、各端末にどのライセンスが割り当てられているかを記録、管理する台帳です。

突合による齟齬確認

台帳上の記録と、自動収集されたIT資産情報を突合^{※1}し、齟齬^{※2}を抽出して表示。棚卸などに活用できます。



SAMACソフトウェア辞書をご提供 (保守契約ユーザー対象)

ソフトウェア情報登録支援

一般社団法人ソフトウェア資産管理評価認定協会 (SAMAC) が提供する「SAMACソフトウェア辞書」をインポートすることで、ソフトウェアの台帳登録時に辞書の情報を反映でき、作業を効率化できます。

利用申請・承認システムでSAM運用を効率化

申請・承認ワークフローシステム

ソフトウェアやPCの利用申請、承認をWeb上で管理。ワークフローにそって申請、承認を行うことで、社員の入社や異動などに伴うIT資産情報の新規登録、情報更新を自動処理し、管理台帳に反映します。

※1 突合(とつごう): SAMにおいて、ソフトウェア利用状況や保有ライセンス数と、台帳の記録を照合すること。 ※2 齟齬(そご): SAMにおいて、突合(※1)によって明確になった相違点。



デバイス管理

台帳登録や利用権限の設定から棚卸まで、各種デバイスの一貫した管理を支援します。

USBメモリをはじめとする記憶媒体で大量のデータが手軽に持ち運べるようになり、利便性が向上する反面、記憶媒体の大容量化に伴い被害規模が大きくなるなど、情報漏えいリスクが高まっています。本機能では、社内で使用されるさまざまなデバイスの運用管理をサポートいたします。

全数把握

制限設定

所有確認

▶▶ 各種デバイスの運用管理をサポート

- 管理できるデバイス種別
- USBデバイス
 - CD / DVD / Blu-rayドライブ
 - フロッピーディスクドライブ
 - イメージスキャナー / デジタルカメラ など



デバイスアラート設定項目

- 記憶媒体使用
- 記憶媒体書き込み
- 記憶媒体使用 (棚卸期間超過)
- USBデバイスによる不正ファイル持ち込み*
【特許取得】
- BitLocker To Goで保護されていない記憶媒体使用
- USBメモリによるコンピューター使用制限*

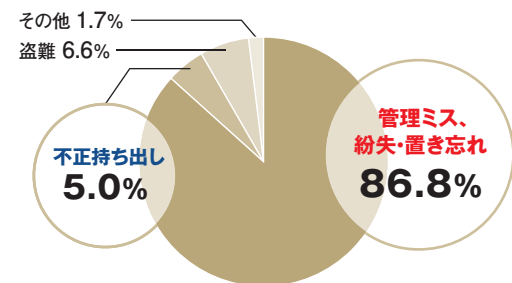


* シリアルナンバー等の機器情報が取得できるUSBデバイスに限ります。

USBデバイスによる情報漏えいの発生原因は「管理ミス」が1位

USBデバイスによる情報漏えい事故の9割以上が「管理が行き届かず、知らぬ間に紛失していた」というもの。USBデバイスの使用ルールを定めることはもちろん、私物のデバイス使用を検知して制限するなど、ルールに反した利用が行われないような運用の仕組みが欠かせません。あわせて定期的に棚卸を行って所有確認し、使用者の管理意識を高めることも重要です。

【USB等可搬記憶媒体による情報漏えい事故原因*】



* NPO日本ネットワークセキュリティ協会「2011年 情報セキュリティインシデントに関する調査報告書」より。

USBデバイスを接続すると台帳へ自動登録

USBデバイス台帳管理

USBデバイスをPCに接続するだけで、シリアルナンバーなどの個別情報を台帳に自動登録します。また管理者が、複数のUSBデバイスを一括登録することもできます。

関連特許 取得

▶▶ USBデバイスファイル確認

USBメモリなどの紛失時に、USBメモリ内に重要データが記録されていないかを素早く確認でき、初動対応を迅速に行えます。

柔軟な制限設定で実運用に合った管理

USBデバイス使用制限設定

USBデバイスに対し、1本ずつ使用制限を設定できます。また、使用可能期間を設定して、一時的にUSBデバイスの使用を許可するという運用も可能です。



さらに使いやすい

各種デバイスの制限を一括で設定

デバイス種別制御

各デバイスの使用制限設定を整理して、一画面に集約。デバイスを選び制限内容と除外条件を指定するだけで設定できます。

定期的な所有確認で継続的なリスク管理

USBデバイス棚卸

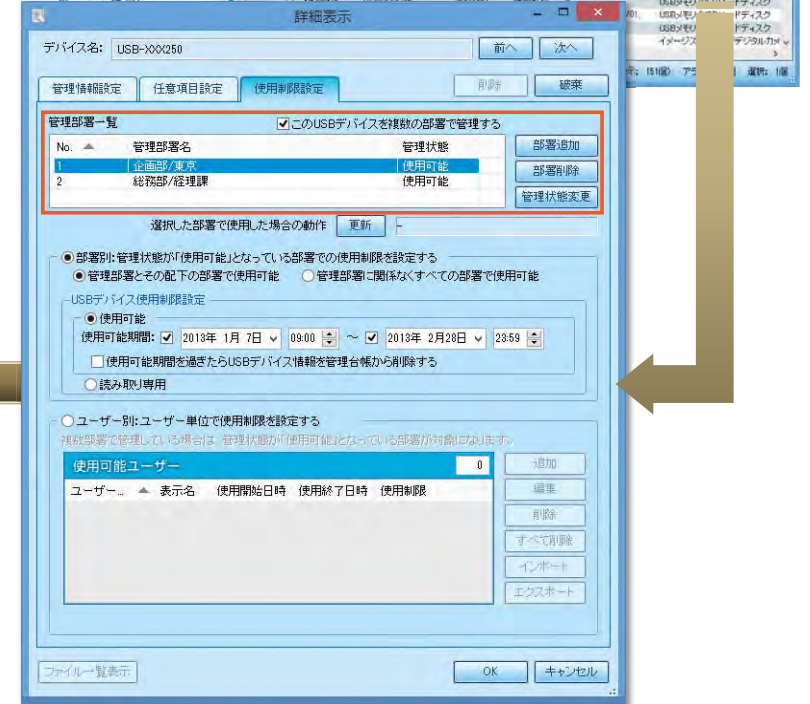
USBデバイスの棚卸作業を自動化し、定期的に所有確認することができます。定期的な棚卸は、万が一の紛失時の早期発見にも有効です。

- ▶ 定期的に棚卸
- ▶ 今すぐ棚卸

特許取得



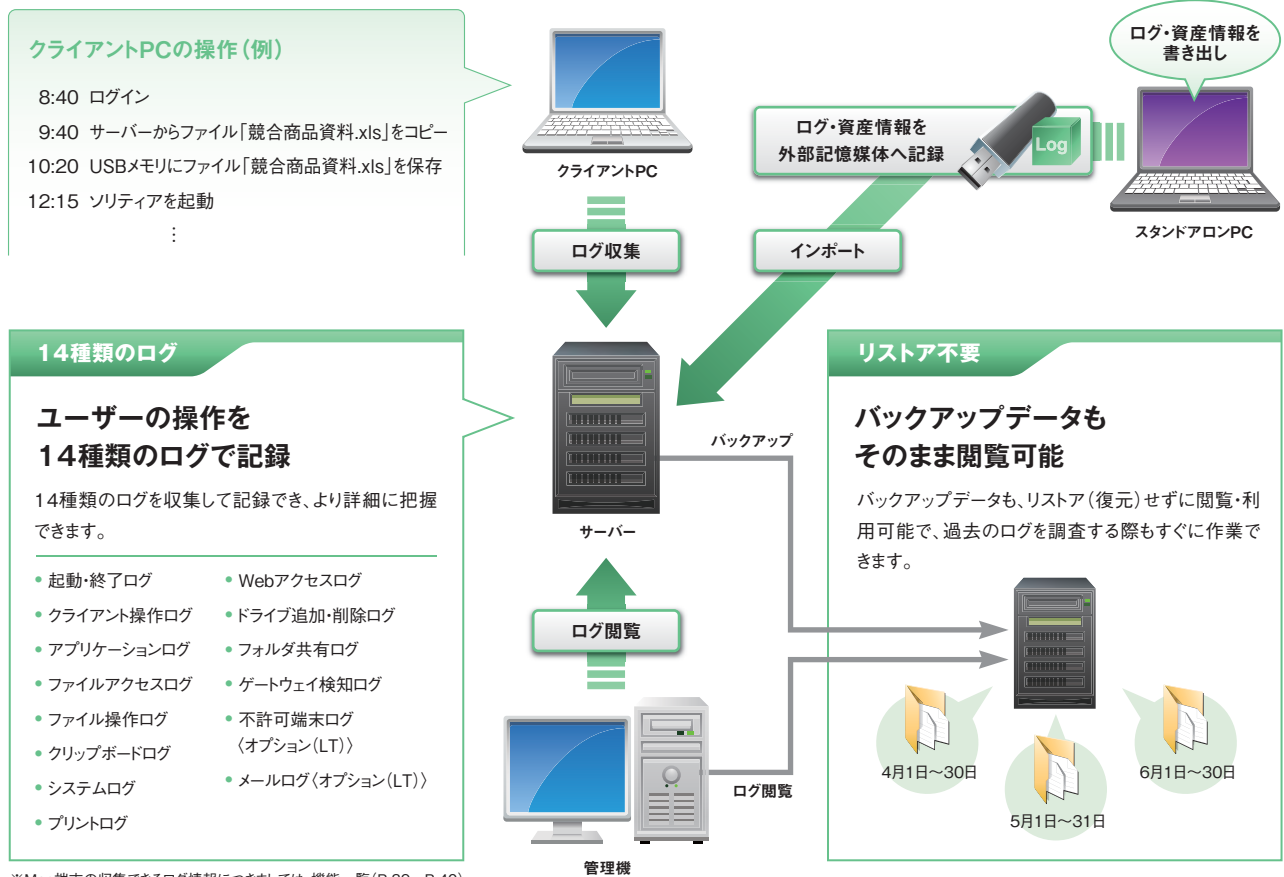
所有者が USB デバイスを接続すれば、棚卸完了!



ログ管理

14種類のログデータを適切に管理し、活用することで、「いつ」「誰が」「何をしているのか」を正確に把握できます。

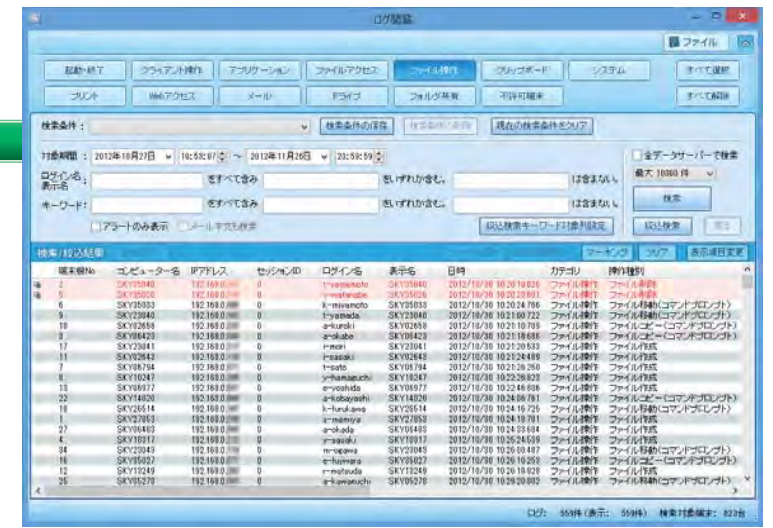
クライアントPCのさまざまな操作を14種類のログとして記録します。収集された膨大なデータから必要なものだけを抽出。使用状況を確認し、問題点を見つけ出すことができます。また、ユーザーの操作画面を録画することや、ファイルの流出経路を追跡することも可能です。



目的のログを素早く簡単に検索

ログ閲覧

必要なログを条件に合わせて検索し、絞り込みができます。表示条件を選択してログ表示を切り替えられるので、目的のログを素早く検索できます。また、アラートログのみを表示することもできます。



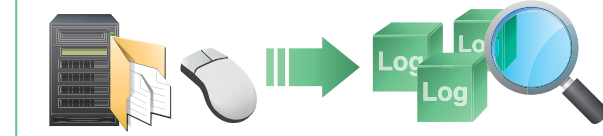
全データサーバー一括ログ出力

複数のデータサーバーでログを管理している場合、すべてのデータサーバーを検索範囲に指定して、一度にログ検索することができます。

アクセスログから不審なユーザー操作を確認

操作ログ追跡

サーバーの共有ファイルへのアクセスログから、アクセス前後5分間にクライアントPCでどんな操作が行われていたかを確認でき、ファイルがどのように使われたかを知ることができます。



別名保存されてもファイルを徹底追跡

ファイル追跡

外部への情報持ち出しなどが疑われる操作など、不審なファイル操作を詳細に確認できます。流出経路の特定や、ファイルコピー・別名保存によって分岐したファイル操作の追跡もできます。



操作内容を動画で記録し、問題を確実に把握

画面操作録画

クライアントPCの画面を録画します。テキストログでは把握できない、マウス操作や入力文字など詳細な操作内容が把握できます。また、特定の操作が行われると自動的に録画を開始することもできます。



編集して必要な箇所だけを保存

録画された画面操作は、記録として残したい部分だけを切り出して、動画ファイルとして保存することができます。また、静止画として保存することも可能です。



メール経由の情報漏えいを防止

送信メールログ オプション(LT)

送信メールとその添付ファイルをログとして記録します。また、メールの件名や本文も対象に含めたキーワード検索ができ、確認したい送信メールログを手間なく絞り込みできます。

高速検索で必要なログを素早く抽出

高速ログ検索 High Speed Log Search

SKYSEA Client View High Speed Log Searchと連動することで、通常のログ検索に比べて検索処理のスピードを大幅に向上できます。



クライアントPCの起動・終了ログを活用して労務管理を支援

ユーザー作業状況 関連特許 出願中

クライアントPCの起動・終了ログを記録し、ユーザーごとの稼働時間を集計。「残業時間お知らせメッセージ」機能と組み合わせることで、労務管理にお役立ていただけます。

Webアクセスログを集計して利用傾向を把握

Web利用状況 関連特許 出願中

Webアクセス時間の累計やアクセスが多いURLを端末や部署ごとに集計し、ランキング形式で表示。ユーザーのWeb利用傾向を把握することができます。

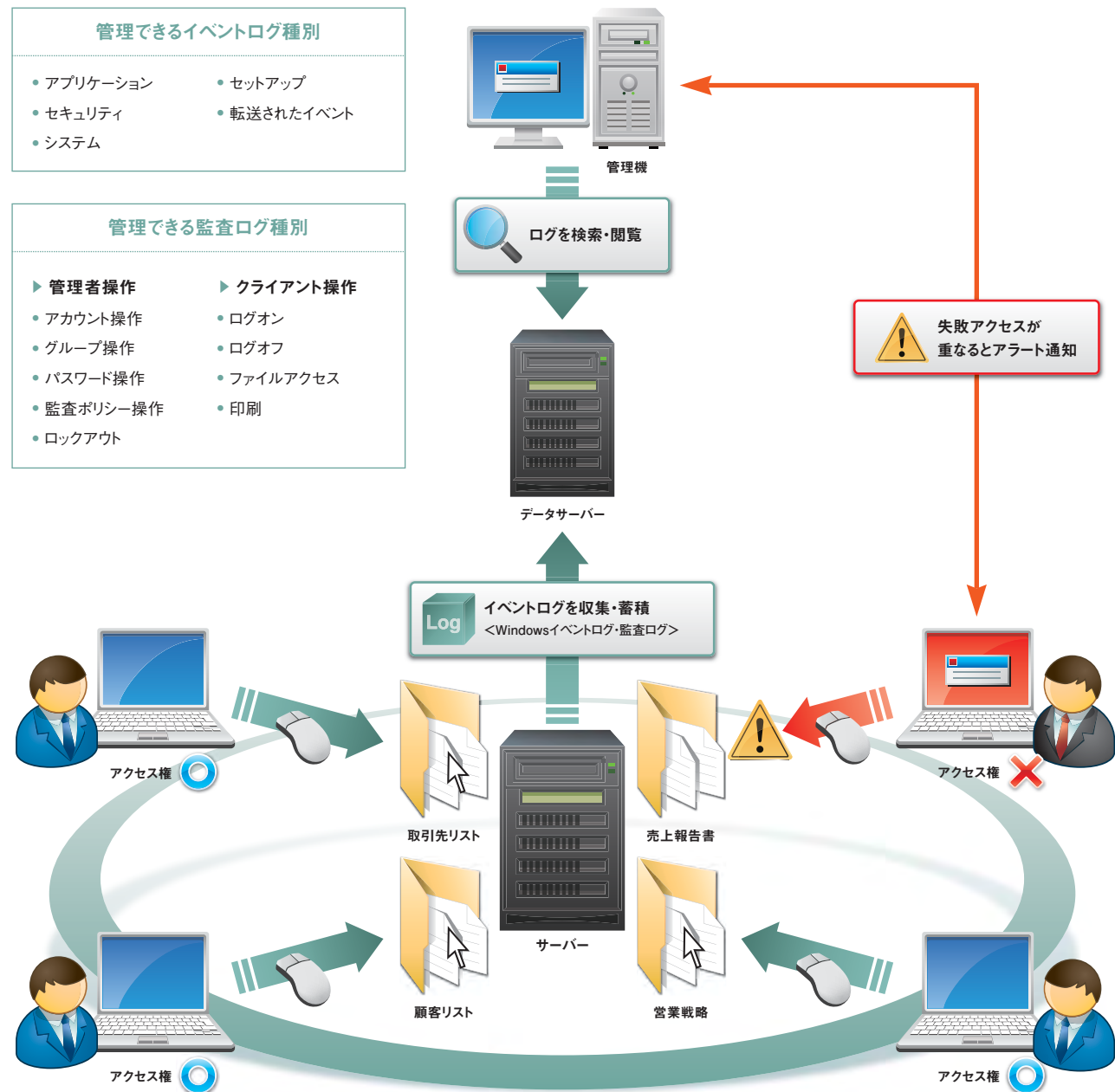


サーバー監査 <オプション(LT/ST)>

※ 本機能のご利用には、制限事項がございます。詳しくは、制限事項(P.51)をご覧ください。

イベントログを活用して的確に状況を把握。 重要なデータが集約されるサーバーを徹底監査します。

サーバーには個人情報や社外秘ファイルなど、重要なデータが集約されているため、万全の情報セキュリティ対策が必要です。本機能は、各サーバーへのイベントログを収集・蓄積し、一括管理できます。また、権限のないユーザーからのアクセス(失敗アクセス)ログも記録できるので、成功 / 失敗アクセスの傾向把握にお役立ていただけます。



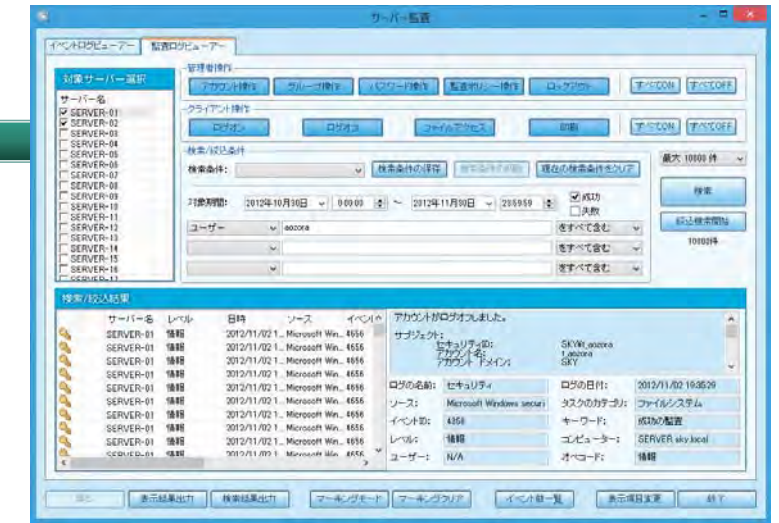
複数サーバーのログを保存 1つの管理画面で検索・閲覧

OSログ閲覧

複数サーバーのイベントログをデータサーバーに収集・保存。監査ログもあわせて管理できます。1つの管理画面でログの検索や閲覧ができるので、効率よく管理できます。

▶▶ 監査ログとは?

Windowsイベントログの1つで、主にセキュリティに関係するログです。管理者が設定した監査ポリシーに従って書き出されます。



アクセス拒否した場合も 失敗アクセスログを記録

アクセスレポート

権限のないユーザーのアクセスを拒否した記録(失敗アクセス)もログとして記録。サーバーへのアクセス状況はレポートで的確に把握できます。また、サーバーのアクセスログから、クライアントPCの操作ログの検索もできます。

▶▶ 不審なアクセスはアラート通知

社内規定のセキュリティポリシーに準じて、失敗アクセス数のしきい値を設定しておくことで、設定した回数を超える失敗アクセスがあった場合、管理者とユーザーへアラート通知することができます。

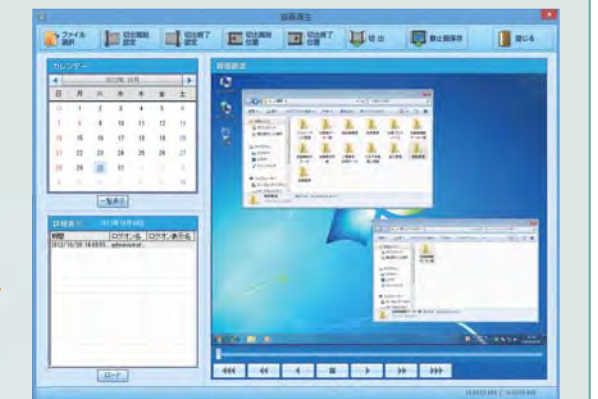


▶▶ 不審なアクセスがあれば、より詳しく状況を知りたい!

アラート時に、クライアントPCの操作を録画

画面操作録画 オプション (LT/ST)

権限がないユーザーの失敗アクセスが重なり、アラートが検知された場合、自動的にアクセスしたクライアントPCの画面を録画できます。映像で記録することで、より詳細に状況を確認することができます。

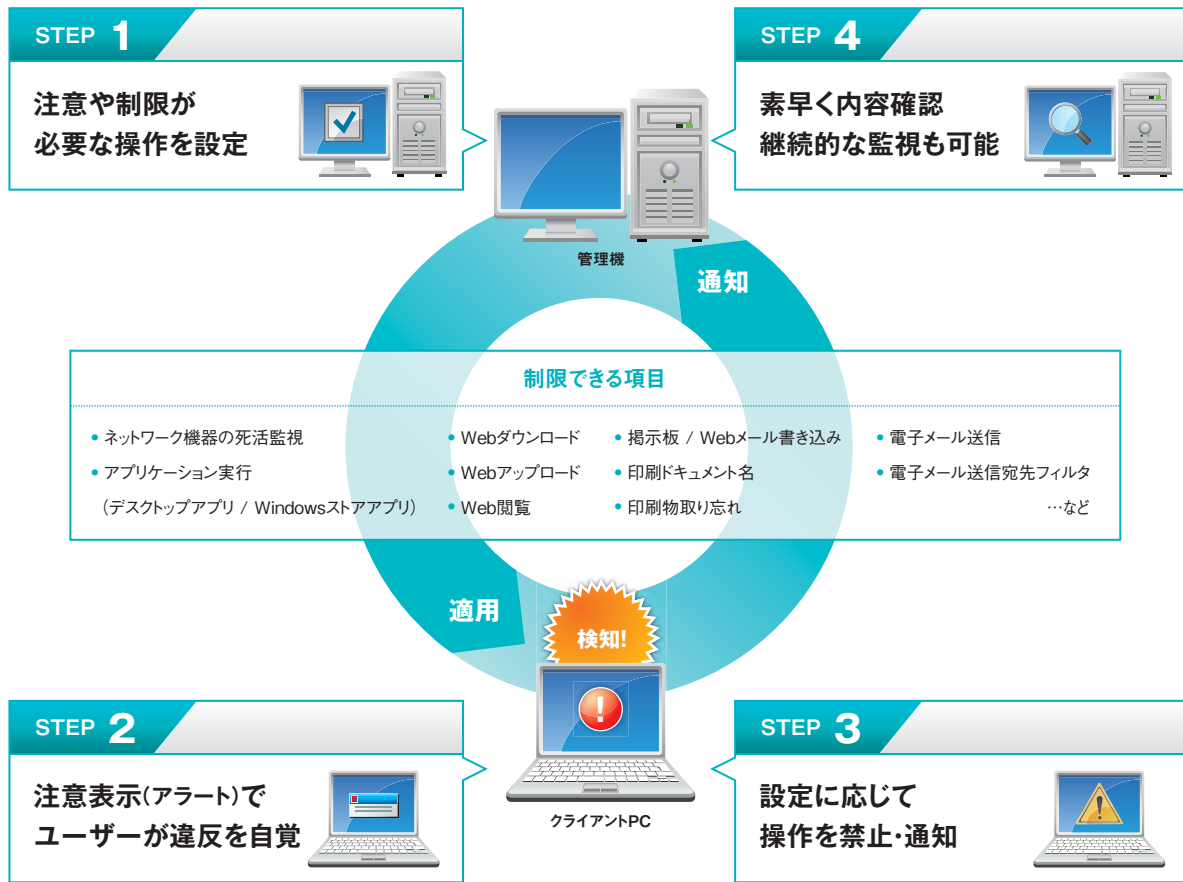




セキュリティ管理

情報セキュリティ対策を設定して不適切な操作を制限。 注意表示(アラート)で自覚を促すことで、意識向上も図れます。

複雑になりがちな情報セキュリティ対策に必要な設定を、該当項目にチェックを入れるだけで設定できます。さらに詳細な設定は、1項目につき1ウィンドウにまとめることで、複雑さを解消しました。また、設定したセキュリティポリシーに違反する操作があった場合、ユーザーのデスクトップにアラートを表示することもでき、社内の情報セキュリティの意識向上にも役立ちます。



さらに使いやすい

許可のない端末を検知して自動的に遮断

不許可端末検知 / 遮断 オプション (LT)

資産管理台帳に登録されていないPCが接続されると、管理機へのメール通知とログ出力を行います。また、自動的にネットワーク接続を遮断することもできます。

未登録の持ち込みPCを接続 → メール通知ログ出力 → 管理機

チェックを入れるだけの簡単設定で操作を制限

注意表示(アラート)設定

項目ごとにチェックを入れるだけで、ユーザーの操作を制限できます。一方的に禁止するだけでなく、アラート表示でユーザーに注意を促すこともできます。また、適用の範囲は部署やクライアントPCごとに指定でき、柔軟な運用が可能です。

▶▶ ユーザーごとの設定も可能

ログオンユーザーごとにアラート設定することもでき、共有PCなどに対しても、適切に制限することが可能です。



業務に関係のないアプリケーションの実行を抑止

アプリケーション実行

社内業務に関係のないアプリケーションなど、あらかじめ指定しておくことで、実行を抑止することができます。また、アプリケーションの実行を強制終了させることもできます。

クライアントPCの不要な設定変更などを抑止

管理者権限ログオン抑止

クライアントPCに管理者権限 (Administrator) でログオンすることを制限できます。無断でソフトウェアをインストールしたり、設定を変更することを抑止できます。

メールの宛先チェックで情報漏えいを防止

メール送信宛先フィルタリング オプション (LT)

許可されたアドレス以外にメールを送信できないように制限できます。管理するアドレスを登録し、メール送信時にフィルタリングします。制限はユーザー / アドレスごとに設定できるので、柔軟な運用が可能です。

関連特許 出願中

社内ネットワーク以外の通信を制限

通信デバイス使用制限

LANやBluetooth、WiMAXなどの通信デバイスの使用を制限します。設定により指定したネットワークやアクセスポイントへの接続だけを許可し、その他の通信を制限することができます。

自動判別できる機器種別

- ネットワークカード(有線 / 無線)
- WiMAX®
- モデム
- 赤外線
- Bluetooth
- USBクロス接続®

※WiMAXとUSBクロス接続は、登録したキーワードに一致する機器のみ判別できます。

こんなシーンで使いやすい

▶▶ 注意表示(アラート)が発生した経緯を確認したい

クライアントPCのプロパティで詳細を確認

アラートが発生したクライアントPCは、管理画面上で強調表示されます。クライアントPCのプロパティでアラート内容が確認できるほか、デスクトップ画像で視覚的に確認できます。また、アラート発生前後5分のログをワンクリックで表示することもできます。

特許取得



レポート

レポートを使って、運用状況を正確かつ詳細に把握。情報セキュリティ対策強化をサポートします。

日々蓄積されるログデータは、トラブルの原因特定や個別の操作を監視するだけのために利用するわけではありません。具体的な目的に応じてデータを集計・出力した各種レポートをもとに、傾向を把握しながら変化を察知することで、事故防止の取り組みにご活用いただけます。

1日に数万行にもなる膨大なログデータ

目的に合わせたレポートで集計・出力して「見える化」

- 計30種類のレポート
- ログ解析レポート… 20種類
- 安全安心レポート… 2種類
- 資産レポート… 4種類
- コスト削減レポート… 4種類

こんなシーンで使いやすい

▶▶ 労働基準法に従い、社員の残業を適切に管理したい

関連特許 出願中

PC稼働時間を活用して労務管理を支援

ユーザー別 / 部署別作業時間解析

端末の稼働時間をもとに、ユーザーごとの作業時間をレポート表示。労働基準法にそった労務管理を行うための資料としてお役に立てます。

集計できる項目

- 法定内時間内労働時間
- 法定外時間労働時間
- 超過労働時間(45H超過)



レポート名称	概要	活用例
ユーザー作業状況		
ユーザー別 / 部署別作業時間解析	端末の稼働時間をもとに作業時間を算出し、ユーザーごと、部署ごとに集計します。	労働基準法に定められた労務管理を行うための参考資料など。
端末稼働状況		
稼働時間比較	端末の稼働時間や消費電力を表示します。	サービス残業の有無や業務量の偏り調査など。
時間帯別使用状況解析	クライアントPCの使用状況を色分けして表示します。	早朝や深夜の端末使用状況の調査、電源切り忘れチェックなど。
日別稼働台数推移	端末の稼働台数を日別に表示します。	休日の端末使用状況の調査、未稼働端末の台数把握など。
未稼働端末一覧	一定期間、起動していない端末を一覧表示します。	使用されていない端末を特定し、コスト削減など。
端末別デバイス書き込み比較	USBメモリなど外部デバイスへの書き込み回数を表示します。	データの大量持ち出しといった、不審な操作の発見など。
プリント出力解析		
端末別比較	端末ごとの印刷枚数を表示します。	不要な印刷コストの調査など。
ドキュメント別比較	指定キーワードを含むドキュメントの印刷枚数を表示します。	重要ドキュメントの印刷回数の確認など。
プリンター別比較	プリンター別に印刷枚数を表示します。	プリンター利用頻度の偏りの調査など。
IPアドレス別比較	プリンターのIPアドレスごとの印刷枚数を表示します。	
ログ解析レポート		
アプリケーション解析		
端末別比較	端末ごとのアプリケーション利用時間を表示します。	有効活用されていないアプリケーションの調査など。
日別利用比較	特定端末でのアプリケーションごとの利用時間を表示します。	アプリケーションの利用実態の調査など。
Webアクセス解析		
端末別比較	端末ごとのWebアクセス数を表示します。	Webアクセスが多い端末の調査など。
時間帯別推移	時間帯ごとのWebアクセス数を表示します。	特定のWebサイトの利用頻度の調査など。
Web別利用状況推移	特定URLのアクセスを集計します。	クラウドサービスなどの利用状況の調査など。
ファイルサーバーアクセス解析		
端末別比較	端末ごとのファイルサーバーへのアクセス数を表示します。	大量ダウンロードや不審なアクセスの調査など。
時間帯別推移	時間帯ごとのファイルサーバーへのアクセス数を表示します。	早朝や深夜の時間帯のアクセスの調査など。
ファイル名別比較	特定のファイルへのアクセス数を表示します。	重要ファイルの利用状況の調査など。
セキュリティ		
端末別アラート比較	端末ごとにアラートの発生件数を表示します。	通常業務と異なる操作の発見など。
日別アラート件数推移	日別のアラートの発生件数を表示します。	アラートの発生傾向の把握など。
安全安心レポート		
注意表示レポート	端末のアラート発生状況をカテゴリ別に表示します。	ポリシー違反の発生状況の把握など。
傾向分析レポート	セキュリティ事故の可能性がある操作をカテゴリ別に表示します。	危険傾向の高い部署や端末の確認など。
資産レポート		
端末利用状況 / 未使用端末一覧	部署ごとに使用頻度の低い端末台数を一覧表示。未使用端末の詳細な状況も確認できます。	使用されていない端末の削減など。
ライセンス利用状況 / 未使用ライセンスインストール状況詳細	部署ごとに使用頻度の低いアプリケーションのライセンス数を一覧表示。端末ごとの詳細な状況も確認できます。	無駄なライセンス使用の削減など。
不許可アプリケーションインストール状況 / 状況詳細(※1)	許可されていないアプリケーションのインストール状況を一覧表示。端末ごとの詳細な状況も確認できます。	不許可アプリケーション使用の発見など。
必須アプリケーション未インストール状況 / 状況詳細	必須アプリケーションの未インストール状況を一覧表示。端末ごとの詳細な状況も確認できます。	必須アプリケーションのインストール確認など。
コスト削減レポート		
サーバーシミュレーション	サーバーの負荷や消費電力などを表示し、統合シミュレーションします。	サーバーの利用状況調査や統合の検討など。
ファイルサーバー利用状況	ファイルサーバーの空き容量や利用頻度などを表示します。	ファイルサーバーの統合、容量確保の調査など。
コンピューター利用状況	稼働時間や消費電力など指定条件に合う端末を検索して表示します。	コンピューターの利用状況調査や削減の検討など。
プリンター利用状況	プリンターの印刷コストや維持費などを表示し、削減シミュレーションをします。	プリンターのコスト調査や削減の検討など。

※1 デスクトップアプリケーション、Windowsストアアプリのレポートがそれぞれ別々に出力されます。



コスト削減

サーバーやプリンター、クライアントPCの利用実態に応じて、維持・管理コストを削減するための専用機能です。

サーバーやプリンターなどは業務に与える影響が大きいので、単純に台数削減すれば良いわけではありません。本機能では、サーバーの負荷やプリンター、クライアントPCなどの利用状況を正確に確認した上で、どのように削減すればコスト削減できるかを具体的に金額で試算し、より効果的なコスト削減をサポートします。

最適な統合計画でサーバーを削減

サーバーシミュレーション

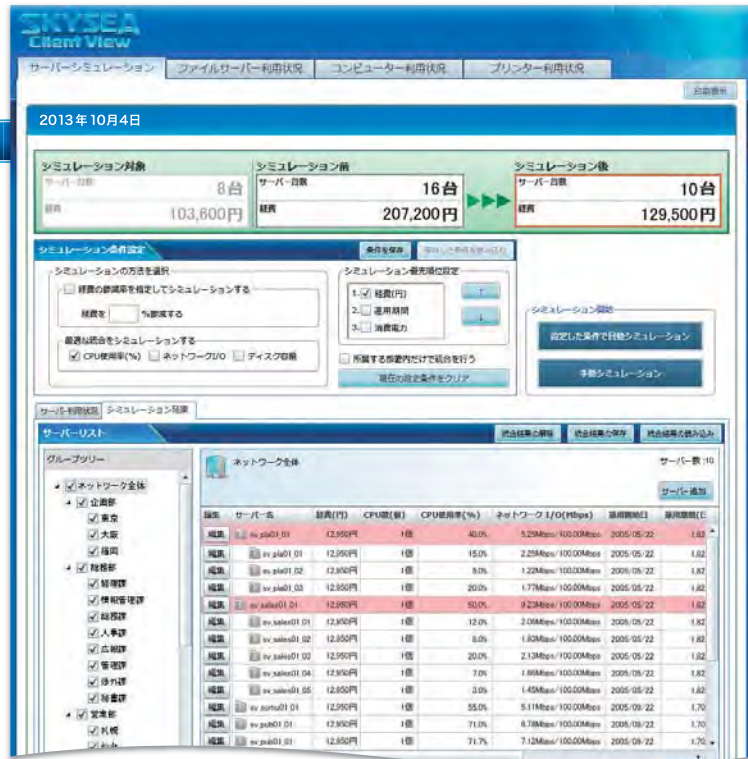
各サーバーの負荷状況をもとに、コスト削減目標値に合わせて、サーバー統合シミュレーションを行います。統合後の予測負荷を計算でき、最適なサーバー統合の試算に役立ちます。

主な機能

- 経費削減目標などを指定して自動シミュレーション
- サーバー統合後のCPU負荷やネットワークの負荷を試算
- サーバー統合後の維持・管理コストを試算

▶▶ 16台を10台に削減できた場合

- サーバー16台、リース契約5年での経費……………約1,243万円
- 10台に統合した削減後の経費……………約777万円
- 期待できるコスト削減効果の目安……………約466万円



※リース料の月額目安であり、サーバーの価格・リース料はお客様がご利用される種類により異なります。(1台あたりのリース料を月額12,950円、5年間で777,000円として計算)

利用されていない余剰資産を発見

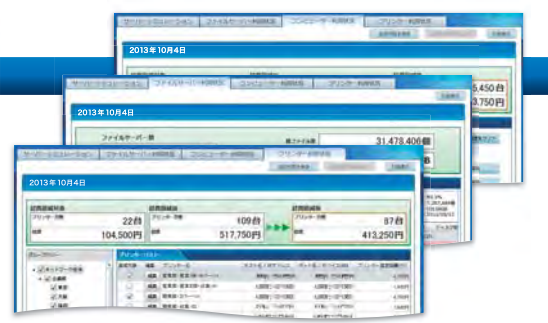
関連特許 出願中

利用状況レポート

端末やプリンター、ファイルサーバーなどの利用状況を確認して無駄を見つけられます。また、余剰資産を削減した際のコストも概算できます。

自動判別できる機器種別

- コンピューター利用状況
- ファイルサーバー利用状況
- プリンター利用状況



メンテナンス

リモート操作で離れたクライアントPCのメンテナンス。同時接続や一斉操作でさらに、作業効率を向上。

リモート操作でクライアントPCのメンテナンス作業が行え、離れた拠点からの問い合わせなどにも素早く対応できます。また、複数のクライアントPCに同時接続しながら並行して作業を進めることや、同じ操作を一斉に実行することができ、メンテナンス作業の効率化にも役立ちます。

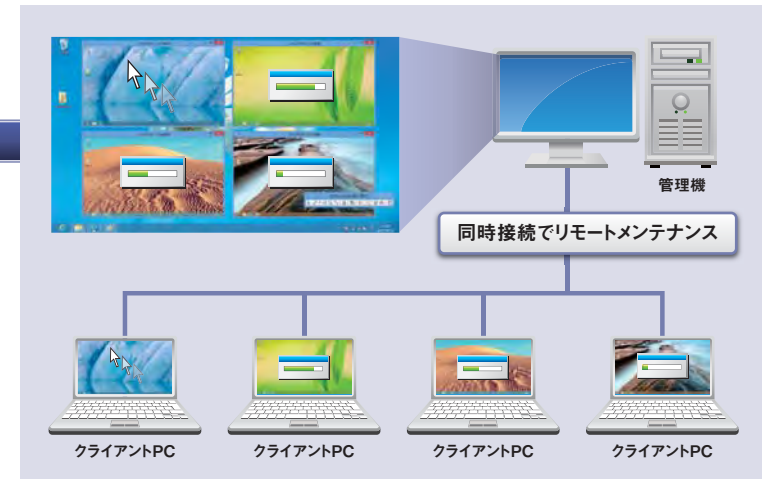
リモート操作の複数接続でメンテナンスを効率化

リモート操作 オプション (LT)

離れたクライアントPCをリモート操作できます。複数台のクライアントPCと同時接続できるので、並行して作業が行え、効率よくメンテナンスが行えます。

▶▶ ファイル・テキスト・画像の共有が可能

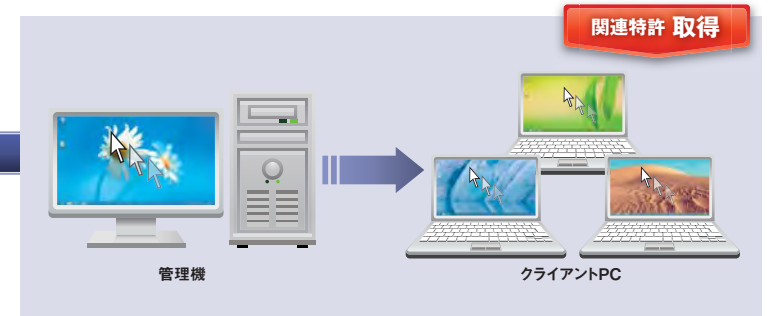
リモート操作中にクライアントPC・管理機の間でファイルを転送(コピー)できます。また、クリップボードを介したテキスト、ビットマップ画像の共有も可能です。



繰り返す作業は操作を転送して一斉実行

キーボード・マウス転送 オプション (LT)

管理機のキーボードやマウスの操作を転送し、複数のクライアントPCで一斉に実行することができます。同じ作業を繰り返して行う必要がなく、一度の作業で完了できます。

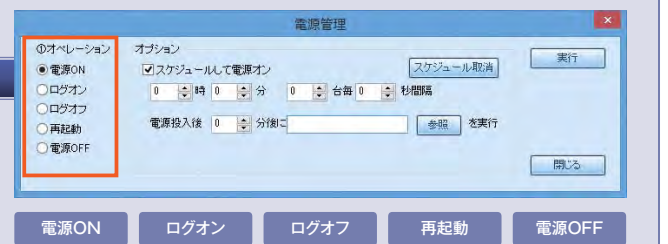


さらに使いやすい

クライアントPCの電源を一斉管理

電源管理

管理機から、電源ON / OFF、ログオン / ログオフなどの電源管理を一斉に行えます。電源消し忘れへの対応のほか、メンテナンス時の複数台一斉起動などにお使いいただけます。





モバイル機器管理 (MDM)

< オプション (LT/ST) >

※ 本機能のご利用には、制限事項がございます。詳しくは、制限事項 (P.58) をご覧ください。

スマートフォン、タブレット端末のビジネス活用を支援

iPhone / iPadおよびAndroid端末の資産情報などの収集のために、一般的なモバイルデバイスマネジメント (MDM) の一部である資産管理機能をご用意しました。BYOD※1の今後の普及を考え、プライバシーに配慮して、ログ管理機能は搭載しておりません。また、同様の理由から、Apple社のMDM機能を活用したセキュリティ管理以外の機能は搭載しておりません。



ログ収集などのログ管理機能は搭載しておりません。

急速に普及する スマートフォン / タブレット端末

Apple社のiPhone / iPadの爆発的な人気、低価格のタブレット端末、スレート端末の登場などにより、モバイル端末の普及は急速に進んでいます。それに伴い、さまざまなタイプのモバイル端末に対応するモバイルデバイスマネジメント (MDM) が求められています。

SKYSEA Client Viewは、iPhone / iPad、Android端末、Windows 8搭載タブレット端末の運用管理をサポートします。

SKYSEA Client Viewの対応状況

	資産管理	操作ログ	注意表示	利用制限
iPhone / iPad※	○	×	△	○
Android 端末	△	×	△	×
Windows 8搭載 タブレット端末	○	○	○	○

※ iPhone / iPadにおける資産管理、利用制限は、Apple社のMDM機能をもとに行っています。

※ Windows RTには対応しておりません。

※1 BYOD (Bring Your Own Device) : 個人所有のモバイル端末を職場に持ち込み、業務で使用すること。※2 Android端末に対するセキュリティ管理はできません。また、Windows端末に対して行えるセキュリティ管理でも、iPhone / iPadでは行えないものがございます。モバイル機器管理 (MDM) の機能一覧 (P.43) をご確認ください。

iPhone / iPad運用管理 機能概要 ※3※4

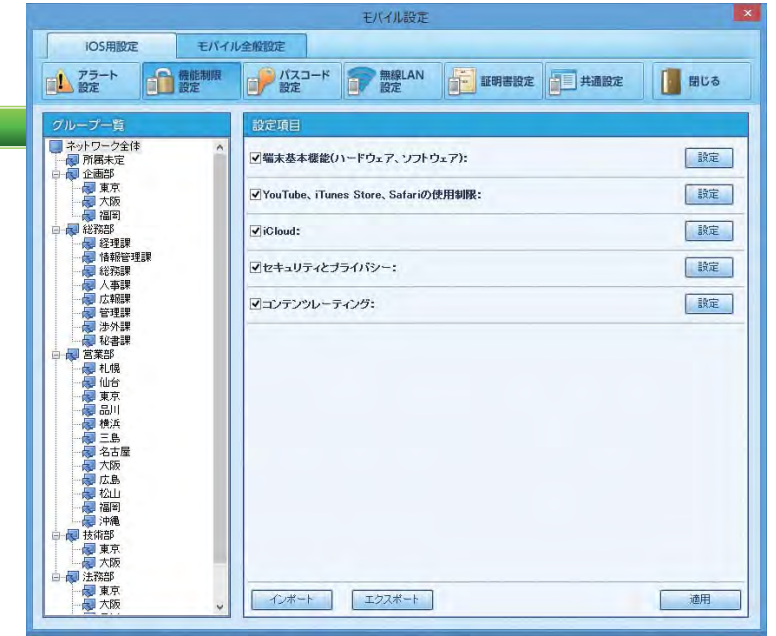
組織の運用に合わせて 使用可能な機能を制限

iPhone / iPadの搭載機能の使用制限、アプリケーションのインストール禁止など、組織での使用ルールを考慮した設定が行えます。

セキュリティ管理

機能制限設定

- カメラ
- iTunes Store
- YouTube (※5)
- Safari
- iCloud
- Siri
- 音声ダイヤル
- アプリケーションのインストール
- ローミング中の自動同期
- スクリーンショットの保存
- アプリ内での購入 (課金)
- マルチプレイヤーゲーム
- Game Centerへの友達追加 など



▶▶ パスコード設定

設定可能なパスコードの文字数、有効期限、入力を失敗できる回数などを指定できます。

▶▶ アラート設定

特定のアプリケーションをインストールした場合や、資産情報がアップロードされない場合のアラート設定が行えます。

▶▶ 無線LAN設定

管理機上で、iPhone / iPadでのアクセスポイントへの接続に関する詳細な設定が行えます。

iPhone / iPadの各種資産情報を 一覧画面で適切に管理

資産管理

ハードウェア情報、アプリケーション情報を自動収集し、一覧画面に表示。組織での適切な運用を支援します。

管理機からのリモート操作による 端末ロック、データ消去が可能

リモート制御

万が一の紛失などに備えて、端末ロック、データ消去の機能を用意。加えて、メンテナンスのためにパスコードの消去も行えます。

※3 本機能を導入、運用いただくには、Apple社よりAPNS (Apple Push Notification Service) 証明書を取得していただく必要があります。また、年に1度、証明書の更新が必要となります。※4 本機能のご利用にあたっては、iPhone / iPadの資産情報を収集するサーバーをインターネットに公開する必要があります。サーバーの構築にあたっては、SSLサーバー証明書が必要です。※5 利用を制限できるのは、iOS 5までのiPhone / iPadにプリインストールされているYouTubeです。

Android 端末管理 機能概要 ※6

業務に必要なアップデーターなどを 管理機からリモートで配布

資産管理 / アプリケーション配布

Android端末の資産情報の収集・管理が行えるほか、配布したいアプリケーション、アップデーターを中継用サーバーにアップすることで、資産情報の更新時にAndroid端末に配布、通知を行います。

業務に不要なアプリケーションの インストール時にアラートを表示

アラート設定

特定のアプリケーションがインストールされた場合や、指定した期間に資産情報がアップロードされない場合にアラートを表示させるなどの設定が行えます。

※6 本機能のご利用にあたっては、Android端末の資産情報を収集するサーバーのインターネットでの公開を推奨します。サーバーの構築にあたっては、SSLサーバー証明書の取得を推奨します。

対応機種

iPhone / iPadおよびAndroid端末の対応機種情報は、SKYSEA Client View Webサイト (<http://www.skyseaclientview.net/ver8/mobile/>) をご覧ください。
※Android端末では、機種により使用できる機能に制限がございますので、ご注意ください。

SKYSEA Client View 機能一覧

W = Windows 端末対応機能
 M = Mac 端末対応機能
 L = Linux 端末対応機能
 A = Android 端末対応機能
 I = iPhone/iPad 対応機能
 LT=Light Edition ST=Standard Edition OP=オプション

資産管理		対応 OS	Edition			
			LT	ST		
資産情報収集	収集可能な資産項目	自動収集項目	<ul style="list-style-type: none"> 端末機No. コンピュータ名 部署名 ログオンユーザー SKYSEA Client View 端末機バージョン 資産情報収集日時 ホスト名 ドメイン名(ワークグループ名) 通常使うプリンター(※1) プリンター名(※2) ポート名 / デバイスURI(※2) 死活監視状態 システムモデル システムシリアル マザーボードUUID OSバージョン ネットワークカード数 	<ul style="list-style-type: none"> ドライブ数 MACアドレス ネットワークカード IPアドレス サブネットマスク デフォルトゲートウェイ DNSサーバー CPUタイプ CPU周波数 CPU数 メモリサイズ ドライブタイプ ドライブ名 全容量 空き容量 所属マスターサーバー 	W M L	
		任意設定項目	<ul style="list-style-type: none"> システム製造元 表示名 SKYSEA Client Viewインストール状況 最新ポリシー設定適用済み SNMPサポート状況 BIOSバージョン AMTプロビジョニングモード AMTプロビジョニングステート AMTバージョン Windows Update更新結果(WSUS連携) OSサービスパック OS言語 日本語言語パック IEバージョン IEサービスパック モデム数 	<ul style="list-style-type: none"> SCSI数 SCSI データサーバー 画面操作ログ用データサーバー HTTPゲートウェイ利用 グローバルIPアドレス 省電力設定 WSUS連携設定 Windows Update更新結果(WSUS連携) 定期電源OFF設定 プリンタードライバ名(※2) (プリンターの)IPアドレス(※2※3) 設定したレジストリ情報数 	W L	● ●
		任意設定項目	<ul style="list-style-type: none"> AMTホスト名 / IPアドレス 端末機名 資産No. 端末機タイプ セキュリティグループ 所有ADユーザー メールアドレス ネットワーク機器の死活監視設定 MIB情報自動更新間隔設定 種別(デスクトップ / ノート) OSライセンス種別 OSライセンス形態 状態区分 導入責任者 管理部署 管理者 使用部署 	<ul style="list-style-type: none"> 前管理者 前利用者 設定場所 導入形式 登録日 導入日 購入日 購入先 購入金額(円) リース / レンタル期限 経費(円) メモ 通常時の消費電力(W) 省電力時の消費電力(W) 任意項目01~50 	W M L	
	収集方法	<ul style="list-style-type: none"> 資産情報インポート スタンドアロン端末資産情報収集 アンケート 		W		

ネットワーク機器情報収集	収集可能な資産項目	<ul style="list-style-type: none"> 機器種別 ネットワーク機器名 IPアドレス 	<ul style="list-style-type: none"> MACアドレス SNMPサポート状況 収集設定で追加した任意項目(MIB情報) 	
	収集方法	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク機器収集(手動での収集、または定期自動収集) MIB情報更新(定期的に自動更新、または手動更新) 		W M L
ネットワーク機器情報収集	自動判別できる機器種別	<ul style="list-style-type: none"> 端末(Windows) 端末(非Windows) 端末(Linux) サーバー(Windows Server) 	<ul style="list-style-type: none"> サーバー(Windows AD Server) プリンター 複合機 HUB 	W M L
	手動設定できる機器種別	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク機器 端末(Mac) 端末(Intel vPro テクノロジー対応) サーバー(非Windows Server) ルーター Firewall 周辺機器 	<ul style="list-style-type: none"> その他 ソフトウェアインストールメディア プロジェクター IP電話 CDメディア DVDメディア Blu-rayメディア 	W
資産情報管理	ハードウェア一覧	<ul style="list-style-type: none"> ハードウェア情報の一覧表示(※4)(ネットワーク機器情報、レジストリ情報 含む) 資産情報の表示設定 資産情報の詳細表示 / 編集 資産情報の検索 / 検索条件保存 資産情報の検索グループ作成 	<ul style="list-style-type: none"> 重複条件設定 CSVファイル入力(インポート) CSVファイル出力(エクスポート) ネットワーク機器の死活監視設定 MIB情報更新設定 MIB情報を手動で更新 	W M L
	資産変更状況	<ul style="list-style-type: none"> 変更状況の表示設定 絞り込み表示設定 	<ul style="list-style-type: none"> CSVファイル出力(エクスポート) 	W
	アプリケーション一覧	<ul style="list-style-type: none"> ウイルス対策ソフトウェアインストール状況 アプリケーションインストール状況 OSインストール状況 Officeインストール状況 	<ul style="list-style-type: none"> CSVファイル出力(エクスポート) 	W M L
資産情報運用	省電力支援	<ul style="list-style-type: none"> 省電力設定状況表示 省電力設定を強制配布 	<ul style="list-style-type: none"> 電源切り忘れプリンター検索 	
	定期電源 OFF	<ul style="list-style-type: none"> 電源OFFスケジュールの設定(部署ごと、または端末機ごと) 		
	ソフトウェア配布・インストール	<ul style="list-style-type: none"> ソフトウェア配布(※5) ソフトウェア配布スケジュール設定(※5) 配布したソフトウェアのインストール状況確認(※5) ソフトウェア配布自動実行設定 	<ul style="list-style-type: none"> ソフトウェア配布スクリプト自動生成ツール ソフトウェア配布中継(※5) ソフトウェア配布パック 端末機側での配布ソフトウェア優先実行 	W
Windows 更新プログラム配布実行	<ul style="list-style-type: none"> 配布実行 配布状況の確認 			
Intel vPro テクノロジー対応	<ul style="list-style-type: none"> 電源管理(強制シャットダウン / 強制再起動 / 無線LANでの電源ON) ブルースクリーン状態のリモート操作 リモート操作中のBIOS設定 			
その他	<ul style="list-style-type: none"> Webブラウザ上での資産情報閲覧(※6) 部署インポート 資産情報の自動定期バックアップ 端末機振り分け インターネット経由での資産情報収集・管理 			W M L W

※1 Mac端末、Linux端末の場合、印刷システムとして「CUPS」が使用されている必要があります。※2 ハードウェア情報の詳細表示画面でのみ表示されます。※3 取得できるのは、PCと直接接続しているネットワークプリンターかつ、レジストリにIPアドレスが存在する場合のみです。※4 Mac端末、Linux端末の場合、レジストリ情報の表示はできません。※5 Mac端末、Linux端末ではアップデータの配布・実行のみ対応しています。※6 Windows端末上でのみ閲覧できます。対象となる資産情報は、Mac、Linux端末からも収集できます。

SKYSEA Client View 機能一覧

W = Windows 端末対応機能 M = Mac 端末対応機能 L = Linux 端末対応機能 A = Android 端末対応機能 I = iPhone/iPad 対応機能
 LT=Light Edition ST=Standard Edition OP=オプション

ソフトウェア資産管理 (SAM)		対応 OS	Edition		
			LT	ST	
ソフトウェア資産管理 (SAM)	運用ルール策定	<ul style="list-style-type: none"> ソフトウェア資産管理台帳 ソフトウェア情報登録支援 管理対象ソフトウェアの策定 	W, M, L	●	●
		<ul style="list-style-type: none"> 申請・承認ワークフローシステム 	W, M	OP	OP
	保有ライセンスの記録・管理	<ul style="list-style-type: none"> 保有ライセンスの記録・割当 ライセンス部材の記録 			
	利用状況を台帳と照合	<ul style="list-style-type: none"> 管理台帳の棚卸支援 			
	台帳の更新	<ul style="list-style-type: none"> 台帳更新履歴の保存・閲覧 			
	登録可能なライセンス形態	<ul style="list-style-type: none"> 対応ライセンス種別 パッケージライセンス サーバーライセンス サイトライセンス プリインストール クライアントアクセスライセンス(デバイス / ユーザー) 規模ライセンス ユーザー固定ライセンス 同時接続ライセンス プロセッサライセンス 監視対象マシン数ライセンス ライセンスに付帯される契約・権利 アップグレード版 ダウングレード使用権 重複インストール権 使用期限契約ライセンス アップグレード使用権 セカンドライセンス 	W, M, L	●	●

デバイス管理※1※2		対応 OS	Edition		
			LT	ST	
登録・管理・棚卸		<ul style="list-style-type: none"> USBデバイス台帳自動登録 USBデバイス棚卸 	W, M		
		<ul style="list-style-type: none"> USBデバイス台帳管理 Webブラウザ上での資産情報閲覧(※4) USBデバイスファイル確認(※3) スタンドアロン端末へのデバイス管理情報設定 	W	●	●
使用制限	管理者設定	<ul style="list-style-type: none"> USBデバイス登録設定 USBデバイス管理者承認 			
	使用制限(※1)	<ul style="list-style-type: none"> 部署別デバイス使用制限 ユーザー別デバイス使用制限 USBデバイス複数部署管理設定 デバイス種別制御 	W, M		
PCログオン認証		<ul style="list-style-type: none"> 申請・承認ワークフローシステム 		OP	OP
デバイスアラート設定	設定項目	<ul style="list-style-type: none"> 記憶媒体使用 記憶媒体書き込み(※5※6) 記憶媒体使用(棚卸期間超過) 	W, M	●	●
		<ul style="list-style-type: none"> BitLocker To Goで保護されていない記憶媒体使用 USBメモリによる不正ファイル持ち込み(※3) USBメモリによるコンピューター使用制限 	W		

ログ管理※1		対応 OS	Edition		
			LT	ST	
ログ収集	収集可能なログ	<ul style="list-style-type: none"> 起動・終了ログ クライアント操作ログ アプリケーションログ ファイル操作ログ(※7) クリップボードログ システムログ プリントログ Webアクセスログ(※7) ドライブ追加・削除ログ フォルダ共有ログ ファイル操作ログ収集時にファイルサイズ情報取得 プリントログ収集時にIPアドレス情報取得 	W, M	●	●
		<ul style="list-style-type: none"> 送信メールログ <Windows端末対応メーラー> Outlook Windowsメール Thunderbird Outlook Express Becky! Internet Mail <Mac端末対応メーラー> Mail 		OP	●

ログ収集	収集可能なログ	<ul style="list-style-type: none"> ファイルアクセスログ Gmail送信ログ 不許可端末ログ ゲートウェイ検知ログ ファイルアクセスログ収集時にファイルサイズ情報取得 	W	●	●
	収集方法	<ul style="list-style-type: none"> 時間指定ログ収集 リアルタイムログ収集 ネットワーク接続端末ログ収集 スタンドアロン端末機ログ収集 	W, M		
	ログ閲覧(ビューアー)	<ul style="list-style-type: none"> 検索 検索条件保存 ファイル追跡 CSVファイル出力(エクスポート) 操作ログ追跡(※8) 全データサーバーからログを検索 ログ情報の詳細表示 	W, M		
ログデータ保存		<ul style="list-style-type: none"> ログデータのバックアップ バックアップデータ閲覧 ログデータの自動定期バックアップ 削除された端末機のログを閲覧(※9) 			
画面操作録画	録画方法	<ul style="list-style-type: none"> スケジュール録画 検知録画 ワンタッチ録画 			
	検知対象	<ul style="list-style-type: none"> 検知可能なアラート項目 ウィンドウタイトル アプリケーション実行 禁止アプリケーションの名前変更 業務外アプリケーション実行 レジストリ変更 インストール システム構成変更 CSVファイル出力(エクスポート) Windows 8でのストアの利用 規定時間外端末機操作 記憶媒体使用 記憶媒体使用(棚卸期間超過) BitLocker To Goで保護されていない記憶媒体使用 記憶媒体書き込み 特定フォルダアクセス ドライブ追加 共有フォルダ書き込み ローカル共有フォルダ作成 ローカル共有フォルダアクセス カスタマイズ 禁止ファイル持ち込み 実行ファイル不正操作 Webダウンロード FTPダウンロード Webアップロード FTPアップロード Web閲覧 掲示板 / Webメール書き込み 電子メール送信 電子メール送信宛先フィルタ 印刷ドキュメント名 SkyDriveの利用 	W	OP	OP
	再生・保存	<ul style="list-style-type: none"> 順再生 / 逆再生 等速・2倍速・4倍速 録画画像の切り出し / 静止画保存 録画データとログデータの個別保存、保存期間を別々に設定 マルチディスプレイ録画データの保存・再生(最大4画面まで) 			
送信メールログ	送信メールログ	<ul style="list-style-type: none"> 送信メール保存 添付ファイル保存 	W, M		
	一覧表示	<ul style="list-style-type: none"> メール件名 / 送信者アドレス / 受信者アドレス / 添付ファイル有無 	M		
	注意表示	<ul style="list-style-type: none"> 管理機の画面にメッセージを表示(ポップアップ通知) 許可ドメイン以外への送信を検知 管理者へのメール通知 	W	OP	●
	設定	<ul style="list-style-type: none"> メールサイズにより添付ファイルの保存、破棄を選択 			
その他	検索	<ul style="list-style-type: none"> 送信メールログ本文検索 	W, M		
		<ul style="list-style-type: none"> Web利用状況 ユーザー作業状況 Webブラウザ上でのログ閲覧(※4) インターネット経由でのログ収集・管理 	W	●	●
高速ログ検索(※10※11)			W	-	-

※1 Mac端末の対応OSは、Mac OS X 10.5以降のバージョンとなります。※2 eSATA接続ハードディスクの管理は、端末機(Windows)に接続されたものに対してのみ行われます(ただし、Windows 2000は除く)。端末機(Mac)、端末機(Linux)は非対応です。※3 eSATA接続ハードディスクは管理・設定対象外です。※4 Windows端末上でのみ閲覧できます。対象となる資産およびログ情報は、Windows、Mac端末からも収集できます。※5 Mac端末の場合、OSデバイスへの書き込みは禁止されますが、管理機上では対象のMac端末に対するアラートは発生しません。※6 Mac端末では、CD / DVD / Blu-ray

ドライブへの「記憶媒体書き込み」制限はできません。またブランクディスクを挿入した場合は、「記憶媒体使用」制限もできません。※7 Mac端末の場合、一部収集できない項目があります。※8 「アクセスPCの前後の操作ログを追跡」は、端末機(Mac)で共有フォルダにアクセスした場合には追跡できません。※9 データサーバーに保存されたログを閲覧できます。※10 高速ログ検索は、「SKYSEA Client View High Speed Log Search」と連携することで、ご利用いただける機能です。※11 Windows端末上でのみ検索が行えます。対象となるログ情報は、Mac端末からも収集できます。

SKYSEA Client View 機能一覧

W = Windows 端末対応機能
 M = Mac 端末対応機能
 L = Linux 端末対応機能
 A = Android 端末対応機能
 I = iPhone/iPad 対応機能
 LT=Light Edition ST=Standard Edition OP=オプション

サーバー監査			対応 OS	Edition	
				LT	ST
アクセスレポート	サーバーアクセス状況	<ul style="list-style-type: none"> サーバー別アクセス比較 フォルダ別アクセス比較 ファイル別アクセス比較 ユーザー別アクセス一覧 	<ul style="list-style-type: none"> 端末別アクセス一覧 時間帯別アクセスグラフ 		
	収集可能なログ	<ul style="list-style-type: none"> 成功 / 失敗ファイルアクセスログ 			
OSログ閲覧	サーバー監査ログ閲覧 / Windowsイベントログ閲覧	<ul style="list-style-type: none"> イベントログ蓄積 イベントログバックアップリストア 取得対象イベントログ設定 		W	OP OP
	イベントログ種別	<ul style="list-style-type: none"> アプリケーションログ セキュリティログ システムログ 	<ul style="list-style-type: none"> セットアップログ 転送されたイベントログ 		
	監査ログ種別	<ul style="list-style-type: none"> 管理者操作 アカウント操作ログ グループ操作ログ パスワード操作ログ 監査ポリシー操作ログ ロックアウトログ 	<ul style="list-style-type: none"> クライアント操作 ログオンログ ログオフログ ファイルアクセスログ 印刷ログ 		

セキュリティ管理			対応 OS	Edition	
				LT	ST
注意表示通知	通知方法	<ul style="list-style-type: none"> 管理機の画面にメッセージを表示(ポップアップ通知) キーワードごとにアラート通知のON / OFFを設定 アラート端末の自動解除設定 		W	
		<ul style="list-style-type: none"> 端末機の画面にメッセージを表示(ポップアップ通知) (※1※2) メールによる通知(※1※2) 注意表示ログ出力(※1※2) 一定時間内のアラート / メール集約(※1※2) 		W M	
注意表示設定	設定	<ul style="list-style-type: none"> 端末機 / ユーザーごとの個別設定(※1※3) グループごとの設定(※1※4) 	<ul style="list-style-type: none"> 設定内容の一覧表示 		
		<ul style="list-style-type: none"> スタンドアロン端末機の設定 	<ul style="list-style-type: none"> 検知時に実行するファイル(コマンド)の設定 		
端末アラート(注意表示)設定項目	資産アラート	<ul style="list-style-type: none"> 資産情報の変更 HDD容量不足 リース / レンタル切れ 	<ul style="list-style-type: none"> 許可 / 不許可アプリケーション(デスクトップアプリ / Windowsストアアプリ) インストール必須アプリケーション 	W	
		<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク機器の死活監視 端末未起動期間設定 		W M L	
	アプリケーションアラート	<ul style="list-style-type: none"> ウィンドウタイトル アプリケーション実行(デスクトップアプリ / Windowsストアアプリ) 禁止アプリケーションの名前変更 業務外アプリケーション実行 	<ul style="list-style-type: none"> レジストリ変更 インストール システム構成変更 Windows 8でのストアの利用 		
	ファイル操作アラート	<ul style="list-style-type: none"> CSVファイル出力 規定時間外端末機操作 Autorun(自動実行) 特定フォルダアクセス ドライブ追加 共有フォルダ書き込み 	<ul style="list-style-type: none"> ローカル共有フォルダ作成 ローカル共有フォルダアクセス カスタマイズ 禁止ファイル持ち込み 実行ファイル不正操作 	W	

端末アラート(注意表示)設定項目	その他アラート	<ul style="list-style-type: none"> 通信デバイス使用 Webダウンロード FTPダウンロード Webアップロード FTPアップロード Web閲覧 掲示板 / Webメール書き込み 印刷枚数 	<ul style="list-style-type: none"> 印刷ドキュメント名 印刷禁止 印刷物取り忘れ 残業時間お知らせメッセージ 管理者権限ログイン抑止 SkyDriveの利用 ユーザーアラートを優先する 	W		
		<ul style="list-style-type: none"> 電子メール送信 電子メール送信宛先フィルタ 	<ul style="list-style-type: none"> 不許可端末検知 	W	OP	
ユーザーアラート(注意表示)設定項目	アプリケーションアラート	<ul style="list-style-type: none"> ウィンドウタイトル アプリケーション実行(デスクトップアプリ / Windowsストアアプリ) 禁止アプリケーションの名前変更 業務外アプリケーション実行 	<ul style="list-style-type: none"> レジストリ変更 インストール システム構成変更 Windows 8でのストアの利用 			
	ファイル操作アラート	<ul style="list-style-type: none"> CSVファイル出力 規定時間外端末機操作 特定フォルダアクセス 共有フォルダ書き込み カスタマイズ 禁止ファイル持ち込み 	<ul style="list-style-type: none"> 実行ファイル不正操作 記憶媒体使用 記憶媒体使用(棚卸期間超過) 記憶媒体書き込み USBデバイスによる不正ファイル持ち込み 	W		
	その他アラート	<ul style="list-style-type: none"> Webダウンロード FTPダウンロード Webアップロード FTPアップロード 	<ul style="list-style-type: none"> Web閲覧 掲示板 / Webメール書き込み SkyDriveの利用 USBメモリによるコンピューター使用制限 			
不許可端末検知 / 遮断	不許可端末ログ	<ul style="list-style-type: none"> IPアドレス / MACアドレス 	<ul style="list-style-type: none"> 許可設定状況 			
	注意表示	<ul style="list-style-type: none"> 不許可端末を一覧表示 管理機の画面にメッセージを表示(ポップアップ通知) 	<ul style="list-style-type: none"> 管理者へのメール通知 	W	OP	
	遮断	<ul style="list-style-type: none"> 検知した不許可端末をネットワークから遮断 				
WSUS連携		<ul style="list-style-type: none"> Windows Updateの実行スケジュール設定(部署ごと、または端末機ごと) WSUSクライアント設定 		W		

レポート※5				対応 OS	Edition	
					LT	ST
ログ解析レポート	<ul style="list-style-type: none"> ユーザー作業状況 ユーザー別作業時間解析 部署別作業時間解析 	<ul style="list-style-type: none"> ファイルサーバーアクセス解析 時間帯別推移 ファイル名別比較 端末別比較 	<ul style="list-style-type: none"> セキュリティ 端末別アラート比較 日別アラート件数推移 	W		
	<ul style="list-style-type: none"> 端末機稼働状況 稼働時間比較 時間帯別使用状況解析 日別稼働台数推移 未稼働端末一覧 端末別デバイス書き込み比較 	<ul style="list-style-type: none"> プリント出力解析 ドキュメント別比較 端末別比較 プリンター別比較 IPアドレス別比較 	<ul style="list-style-type: none"> アプリケーション解析 端末別比較 日別比較 Webアクセス解析 時間帯別推移 端末別比較 Web別利用時間推移 	W M		
資産レポート	<ul style="list-style-type: none"> ライセンス利用状況 不許可アプリケーションインストール状況 	<ul style="list-style-type: none"> 不許可アプリケーションインストール状況(Windowsストアアプリ) 必須アプリケーション未インストール状況 		W		
	<ul style="list-style-type: none"> 端末利用状況 			W M L		
安全安心レポート	<ul style="list-style-type: none"> 傾向分析レポート 	<ul style="list-style-type: none"> 注意表示レポート 		W		

※1 Mac端末の対応OSは、Mac OS X 10.5以降のバージョンとなります。※2 Mac端末には、記憶媒体使用アラート、記憶媒体使用(棚卸期間超過)アラートの場合のみ対応します。※3 Mac端末に対しては、端末機デバイスアラートのみ設定できます(ユーザーごとの設定はできません)。※4 Mac端末に対しては、デバイスアラートのみ設定できます。※5 各レポートへのアクセスはWindows端末のみ対応です。

SKYSEA Client View 機能一覧

W = Windows 端末対応機能
 M = Mac 端末対応機能
 L = Linux 端末対応機能
 A = Android 端末対応機能
 i = iPhone/iPad 対応機能
 LT=Light Edition ST=Standard Edition OP=オプション

コスト削減※1		対応 OS	Edition	
			LT	ST
コスト削減レポート	サーバーシミュレーション	W		
	利用状況レポート	W M	●	●

メンテナンス※2		対応 OS	Edition		
			LT	ST	
リモート操作	リモート操作	● リモート操作 ● 複数同時リモート接続	W M		
		● 管理機画面を管理機で表示 ● リモート操作中のクリップボード連携	W		
	管理者設定	● リモート操作時のファイル転送 ● マルチディスプレイ時の操作画面の切り替え	W		
		● 全画面表示 ● 等倍表示(自動スクロール / 手動スクロール)	W		
設定操作	● 画面確認・リモート操作開始時、端末機側に許可を要求 ● リモート操作時の通信帯域制限・通信データ抑制	M	OP	●	
	● 端末機側のデスクトップへ描画	W			
キーボード・マウス転送	● 複数端末機を一斉操作 ● 複数端末機のウィンドウ画面をセンタリング / 左上にそろえる ● 複数端末機のウィンドウ画面を代表画面にそろえる	W			
端末機制御	● 資料配布(任意ファイルの配布・回収) ● 電源管理(ログオン / ログオフ / 再起動 / 電源ON / OFF) ● マクロ	W	●	●	

モバイル機器管理 (MDM) ※3		対応 OS	Edition		
			LT	ST	
資産管理	収集可能な資産項目	● SKYSEA Client View管理項目 ・ 端末機No. ・ 端末機タイプ ・ 初期登録キー ・ 端末機名 ・ 所属	A i		
		● ハードウェア項目 ・ 個体識別情報 ・ OSサービスパック ・ デバイス容量 ・ システムモデル ・ ポリシー適用状況 ・ パスコード / パスワード ・ システム製造元 ・ 電話番号 ・ WiFi MACアドレス ・ OSバージョン ・ キャリア名	A i		
	● アプリケーション一覧 ・ アプリケーション名 ・ パッケージ名 / 識別子 ・ バージョン	● 変更状況 ● アプリケーションの追加 ● SIMの差し替え		OP	OP
	● ハードウェア項目 ・ エージェントバージョン ・ 携帯メールアドレス ・ 無線LAN設定	A			
アラート設定	● ハードウェア項目 ・ Bluetooth MACアドレス ・ プロファイル ・ 証明書 ・ プロビジョニングプロファイル	i			
	● 許可 / 不許可アプリケーションインストール検知 ● モバイル端末情報未アップロード検知	A i			

セキュリティ管理	デバイス制限	<ul style="list-style-type: none"> ● アプリケーションのインストールの禁止 ● カメラの利用の禁止 ● FaceTimeの禁止 ● スクリーンショットの保存の禁止 ● ローミング中の自動同期の禁止 ● Siriの利用の禁止 ● 音声ダイヤルの利用の禁止 ● アプリケーション内での購入(課金)の禁止 ● 購入した全項目のiTunes Storeパスワードの入力をユーザーに強制 ● マルチプレイヤーゲームの利用の禁止 ● Game Centerへの友達の追加の禁止 		
	アプリケーション制限	<ul style="list-style-type: none"> ● YouTubeの利用の禁止(※4) ● iTunes Storeの利用の禁止 ● Safariの利用の禁止 		
	iCloud制限	<ul style="list-style-type: none"> ● バックアップの禁止 ● 書類の同期の禁止 ● フォトストリームの禁止 	i	
	セキュリティとプライバシーの設定	<ul style="list-style-type: none"> ● Appleへの診断データの送信を禁止 ● 信頼されていないTLS証明書の受け入れの禁止 ● 暗号化バックアップの強制 		OP OP
	コンテンツレーティング設定	● 不適切な内容のミュージックとPodcastの禁止		
運用支援・紛失対策	パスワード設定	● パスワード設定を構成する		
	無線LAN設定	<ul style="list-style-type: none"> ● SSID ● 自動接続 ● 非公開ネットワーク ● セキュリティの種類 ● プロキシ設定 	i	
	証明書設定	● 証明書のインストール		
	アプリケーション配布	● パッケージの配布	A	
	通知設定	<ul style="list-style-type: none"> ● アプリケーションインストール通知 ● アプリケーションアンインストール通知 		
リモート制御	<ul style="list-style-type: none"> ● ロック ● ワイプ ● パスワード消去 	i		
検知・アラート	<ul style="list-style-type: none"> ● アンインストール検知 ● デバイストークン無効検知 			

インストーラー	対応 OS	Edition	
		LT	ST
● 部署別インストーラー作成	W M		
● リモートインストールツール	W		

操作画面	Edition			
		LT	ST	
操作画面	端末機閲覧画面	<ul style="list-style-type: none"> ● 端末表示 ● ユーザー表示 ● デスクトップ表示 / リスト表示 ● 操作画面の折りたたみ表示 ● お気に入りタブ ● 機能ガイド ● ふきだしヒント ● アラート端末表示(アラート端末のデスクトップ画像のみ表示) ● 端末機閲覧画面検索機能 		
	エンタープライズモード	<ul style="list-style-type: none"> ● 端末選択時資産情報詳細表示 ● ソフトウェア一覧のマトリックス表示 ● 端末検索 ● ドッキングウィンドウ ● 各画面設定の保存復帰 		

その他	Edition			
	LT	ST		
<ul style="list-style-type: none"> ● 通信帯域制限 ● 管理サーバー切り替え ● サーバー間の端末機移動 ● SKYSEA Client Viewリモートアップデート 	<ul style="list-style-type: none"> ● 管理機のパスワード認証 ● 管理機ごとの使用機能の利用設定 ● 管理機ごとの管理権限部署設定 ● データサーバーの中継構成 	<ul style="list-style-type: none"> ● 複数マスターサーバー連携による一元管理 ● Active Directoryユーザー連携 		

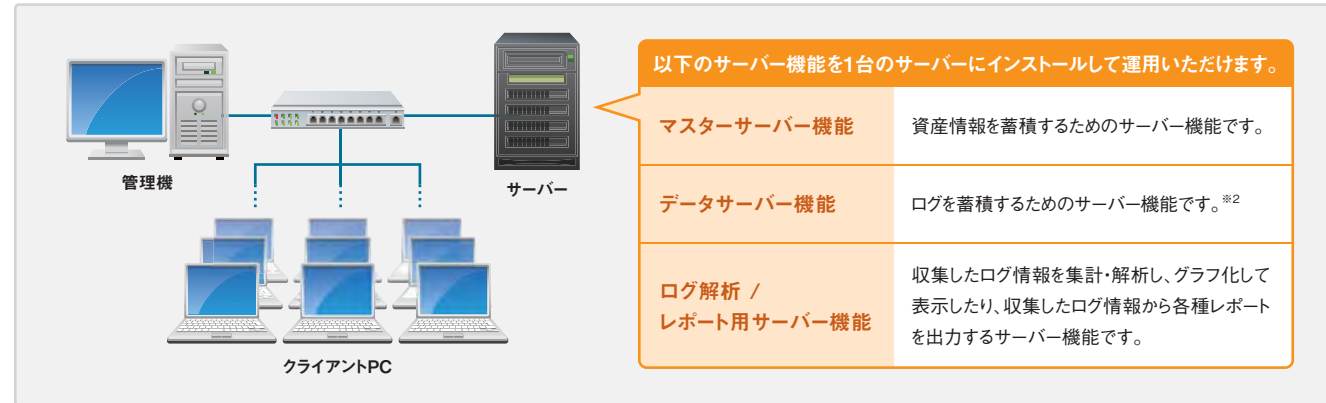
※1 各レポートへのアクセスはWindows端末のみ対応です。※2 Mac端末の対応OSは、Mac OS X 10.5以降のバージョンとなります。※3 ログ収集などのログ管理機能は搭載していません。※4 利用を制限できるのは、iOS 5までのiPhone / iPadにプリインストールされているYouTubeです。

システム構成

2013年10月4日時点の情報です。最新情報は、Webサイト (<http://www.skyseaclientview.net/ver8/system/>) でご覧いただけます。

サーバー構成例 その① ※1

クライアントPCを管理する基本的なサーバー構成

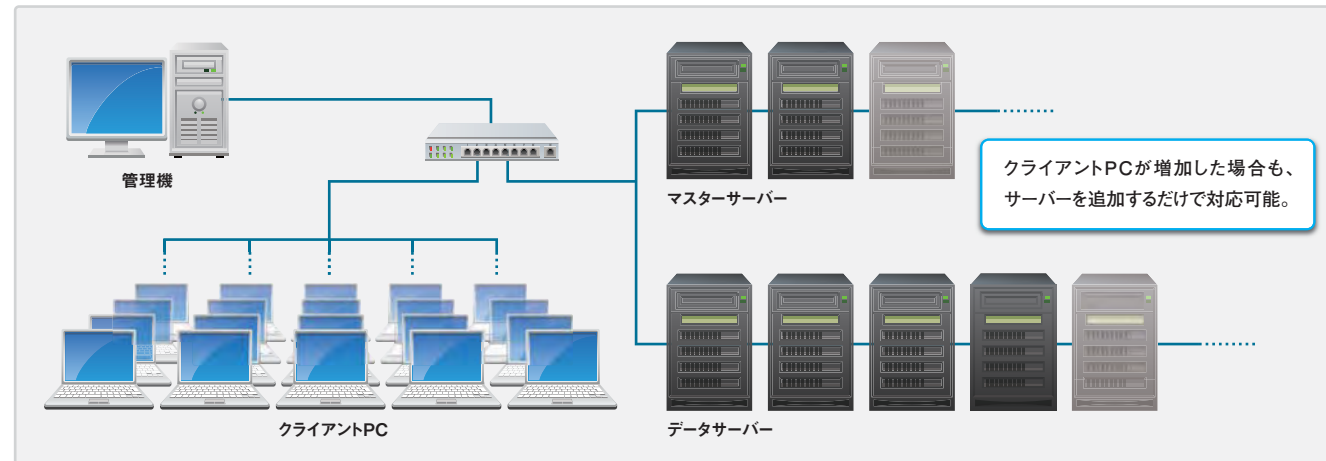


※1 基本的な構成例です。詳しいサーバー構成につきましては、Webサイト (<http://www.skyseaclientview.net/ver8/system/>) をご覧ください。 ※2 画面操作録画機能<オプション(LT/ST)>をご利用の場合は、録画データをログデータとは別のサーバーに保存可能です。それぞれ別々に保存することで、サーバーの負荷を分散することができます。

サーバー構成例 その②*

マスターサーバー、データサーバーを分離することで大規模環境にも適応

- 複数台のマスターサーバーを設置した場合でも、各マスターサーバーの情報を管理機から収集できます。
- マスターサーバー1台あたり5,000クライアント、データサーバー1台あたり3,000クライアントまで管理できます。



※ 詳しくは、Webサイトの技術資料 (<http://www.skyseaclientview.net/ver8/technicalsheet/>) を参考に、必要な構成・スペックをご確認ください。

サーバーなし構成*

<管理対象PC300台まで>

実運用前のテスト導入に便利

専用のサーバーを必要としないので、実運用前の評価やテスト導入時にも便利な構成です。また、小規模環境でお使いいただくことも可能です。管理台数の増加に伴って、より安定して運用いただける「サーバーあり」構成への移行も行えます。

※ サーバーなし構成について、制限事項があります。詳しくは、制限事項(P.50)をご覧ください。

Windows® Storage Server搭載NAS対応*

運用に手間をかけず、サーバーとして利用可能

NASに組み込まれたWindows Storage Serverに、SKYSEA Client Viewをインストールすることができ、マスターサーバー・データサーバーとしてご利用いただけます。

※ Microsoftより、使用許諾いただいたメーカー様のNAS製品のみ使用可能となります。詳しくは、Webサイトの技術資料 (<http://www.skyseaclientview.net/ver8/technicalsheet/>) をご覧ください。

動作環境

記載の数値は最低スペックです。システム構成や管理対象となる端末の数によって動作環境が異なる場合があります。詳しくは、Webサイトの技術資料をご確認ください。2013年10月4日時点の情報です。最新情報および、技術資料は、Webサイト (<http://www.skyseaclientview.net/ver8/operation/>) でご覧いただけます。

管理機 (Windows®) ・ 端末機 (Windows®)

CPU	Intel® Pentium® III 866MHz 以上	メモリ	256MB以上*1
ハードディスク	400MB以上の空きがあること*2		
OS	<ul style="list-style-type: none"> Windows® 2000 Server SP4*3 Windows® 2000 Professional SP3*3 *4/SP4*3 Windows Server® 2003 <ul style="list-style-type: none"> Standard Edition SP1*3/SP2, Standard Edition x64 SP2 Enterprise Edition SP1*3/SP2, Enterprise Edition x64 SP2 R2 Standard Edition SPなし*3/SP2, R2 Standard Edition x64 SP2 R2 Enterprise Edition SPなし*3/SP2, R2 Enterprise Edition x64 SP2 Windows Server® 2008 <ul style="list-style-type: none"> Standard Edition SPなし*3/SP2, Standard Edition x64 SPなし*3/SP2 Enterprise Edition SPなし*3/SP2, Enterprise Edition x64 SPなし*3/SP2 R2 Standard Edition SPなし/SP1, R2 Enterprise Edition SPなし/SP1 Windows Server® 2012 <ul style="list-style-type: none"> Standard, Datacenter, Essentials, Foundation Windows® XP <ul style="list-style-type: none"> Professional SP1*3/SP2*3/SP3, Professional x64 Edition SP2 Windows Vista® <ul style="list-style-type: none"> Business SPなし*3/SP1*3/SP2, Business x64 Edition SPなし*3/SP1*3/SP2 Enterprise SPなし*3/SP1*3/SP2, Enterprise x64 Edition SPなし*3/SP1*3/SP2 Ultimate SPなし*3/SP1*3/SP2, Ultimate x64 Edition SPなし*3/SP1*3/SP2 Windows® 7 <ul style="list-style-type: none"> Professional SPなし/SP1, Professional x64 Edition SPなし/SP1 Enterprise SPなし/SP1, Enterprise x64 Edition SPなし/SP1 Ultimate SPなし/SP1, Ultimate x64 Edition SPなし/SP1 Windows® 8 <ul style="list-style-type: none"> Windows® 8, Windows® 8 x64 Edition, Pro, Pro x64 Edition Pro with Media Center, Pro with Media Center x64 Edition Enterprise, Enterprise x64 Edition 		
ブラウザ	Internet Explorer® 5.5 SP2/6/7/8/9/10	ログ解析クライアントのご利用には、Internet Explorer® 6/7/8/9/10(Windows® ストアアプリ版は非対応)が必要です*5。申請・承認ワークフローシステムのご利用には、Internet Explorer® 6/7/8/9/10(Windows® ストアアプリ版は非対応)が必要です*5。資産データ / ログデータWeb閲覧機能のご利用には、Internet Explorer® 6/7/8/9/10(Windows® ストアアプリ版を含む)が必要です*5。	
ディスプレイ	1024×768 16bit Color以上	ハードウェア環境	Intel® vPro™ Technologyに対応*6
ネットワーク	TCP/IP通信ができるネットワークであること		

※1 端末機の台数増加に伴い、管理機に必要なメモリも増加します。端末機が300台以上の場合、管理機には512MB以上のメモリが必要です。512MB以下の場合、ログの最大表示件数を20,000件以下に設定する必要があります。それ以上の件数は、表示時間が非常に遅くなります。 ※2 運用状況により異なります。 ※3 サーバーなし構成の場合、1台目の管理機としては動作いたしません。 ※4 不許可端末遮断ユニット一括設定ツールは動作いたしません。 ※5 セキュリティ設定の変更が必要です。 ※6 SKYSEA Client View のインテル vProテクノロジー AMT対応機能をご利用の際は、お客様の環境がインテル vProテクノロジー AMTが動作する環境か、ご確認くださいませようお願いいたします。一例として、インテル vProテクノロジー AMTでは、無線LAN環境において固定IPアドレスをサポートしていないため、DHCP環境でしか動作しないことが確認されております。また、KVMリモートコントロールのみ対応していない機種もございます。

端末機 (Mac) ※1

CPU	Intel® 製CPU	メモリ	512MB以上
ハードディスク	空き容量400MB以上		
OS	<ul style="list-style-type: none"> Mac OS X 10.4 Tiger x86 Mac OS X 10.5 Leopard x86 Mac OS X 10.6 Snow Leopard x86 OS X 10.7 Lion x86 OS X 10.8 Mountain Lion x64 		

※1 J2SE Runtime Environment 5.0 以上をインストールする必要があります。

端末機 (Linux) ※1

OS	<ul style="list-style-type: none"> Red Hat® <ul style="list-style-type: none"> Enterprise Linux® 4 x86 Enterprise Linux® 4 x64 Enterprise Linux® 5 x86 Enterprise Linux® 5 x64 Enterprise Linux® 6 x86 Enterprise Linux® 6 x64 		
----	--	--	--

※1 CPU、メモリ、ハードディスクの動作環境は、端末機(Windows)に準じます。

マスターサーバー・データサーバー ※1

CPU	Intel® Pentium® 4 3GHz以上	メモリ	1GB以上
ハードディスク	管理対象PCが300台の場合、120GB以上の空きがあること		
OS*2	<ul style="list-style-type: none"> Windows Server® 2003 <ul style="list-style-type: none"> Standard Edition SP2, Standard Edition x64 SP2 Enterprise Edition SP2, Enterprise Edition x64 SP2 R2 Standard Edition SP2, R2 Standard Edition x64 SP2 R2 Enterprise Edition SP2, R2 Enterprise Edition x64 SP2 Windows Server® 2008 <ul style="list-style-type: none"> Standard Edition SP2, Standard Edition x64 SP2 Enterprise Edition SP2, Enterprise Edition x64 SP2 R2 Standard Edition SPなし/SP1, R2 Enterprise Edition SPなし/SP1 Windows Server® 2012 <ul style="list-style-type: none"> Standard, Datacenter, Essentials, Foundation 		
ディスプレイ	1024×768 16bit Color以上	ネットワーク	TCP/IP通信ができるネットワークであること

動作環境

記載の数値は最低スペックです。システム構成や管理対象となる端末の数によって動作環境が異なる場合があります。詳しくは、Webサイトの技術資料をご確認ください。
2013年10月4日時点の情報です。最新情報および技術資料は、Webサイト (<http://www.skyseaclientview.net/ver8/operation/>) でご覧いただけます。

その他 ^{※3}	Windows [®] Installer 4.5 Internet Explorer [®] 6.0 SP1/7/8/9/10 Microsoft [®] .NET Framework 2.0 SP2および2.0 SP2を内包している上位のバージョン	Microsoft [®] SQL Server [®] 2008 R2 SP2 Express Edition ^{※4}
-------------------	---	--

※1 管理対象PCが300台以上の場合(常時画面録画を利用する場合は100台以上)、サーバーなし構成ではご利用できません。SKYSEA Client View専用のサーバーを用意してご利用ください。 ※2 サーバーなし構成でご利用の場合、マスターサーバーの動作環境は、管理機・端末機に準じます。 ※3 マスターサーバーのみ必要です。 ※4 Ver.4.01～8.0からアップデートする場合は、Microsoft SQL Server 2005 Expressが引き継がれます。

ログ解析用サーバー / レポート用サーバー ^{※1}			
CPU	Intel [®] Pentium [®] 4 3GHz以上	メモリ	1GB以上
ハードディスク	管理対象PCが300台の場合、40GB以上の空きがあること		
OS	<ul style="list-style-type: none"> Windows Server[®] 2003 Standard Edition SP1/SP2、Standard Edition x64 SP2 Enterprise Edition SP1/SP2、Enterprise Edition x64 SP2 R2 Standard Edition SPなし/SP2、R2 Standard Edition x64 SP2 R2 Enterprise Edition SPなし/SP2、 R2 Enterprise Edition x64 SP2 	<ul style="list-style-type: none"> Windows Server[®] 2008 Standard Edition SPなし/SP2、Standard Edition x64 SPなし/SP2 Enterprise Edition SPなし/SP2、Enterprise Edition x64 SPなし/SP2 R2 Standard Edition SPなし/SP1、R2 Enterprise Edition SPなし/SP1 Windows Server[®] 2012 Standard、Datacenter、Essentials、Foundation 	
ディスプレイ	1024×768 16bit Color以上	ネットワーク	TCP/IP通信ができるネットワークであること
その他	Internet Information Services 6.0/7.0/7.5/8.0 Windows [®] Installer 4.5 ^{※2} Windows PowerShell [®] 1.0 ^{※2}	Microsoft [®] SQL Server [®] 2008 Express with Advanced Services ^{※2※3} Microsoft [®] .NET Framework 3.5 SP1	

※1 サーバシミュレーション機能および、ファイルサーバー利用状況レポート機能をご利用の場合、レポート対象とする各サーバーに情報収集のため、モジュールのインストールが必要になります。情報収集のためのモジュールについての動作環境は「管理機・端末機」に準じます。 ※2 レポートの印刷機能を使う場合のみログ解析サーバーへのインストールが必要です。 ※3 Windows Server 2008 R2 / Windows Server 2012の場合は、SQL Server 2008 Service Pack 3へのアップデートを行います。

資産データ / ログデータ Web閲覧機能サーバー ^{※1}			
CPU	資産データ：デュアルコア Intel [®] Xeon [®] 2.0GHz以上	ログデータ：Intel [®] Xeon [®] 1.8GHz (4コア/4スレッド)以上	
メモリ	資産データ：2GB以上	ログデータ：4GB以上	
ハードディスク	資産データ：10GB以上の空きがあること	ログデータ：40GB以上の空きがあること	
OS	<ul style="list-style-type: none"> Windows Server[®] 2003 Standard Edition SP1/SP2、Standard Edition x64 SP2 Enterprise Edition SP1/SP2、Enterprise Edition x64 SP2 R2 Standard Edition SPなし/SP2、Enterprise Edition SPなし/SP2 R2 Standard Edition x64 SP2、 R2 Enterprise Edition x64 SP2 	<ul style="list-style-type: none"> Windows Server[®] 2008 Standard Edition SPなし/SP2、Standard Edition x64 SPなし/SP2 Enterprise Edition SPなし/SP2、Enterprise Edition x64 SPなし/SP2 R2 Standard Edition SPなし/SP1、R2 Enterprise Edition SPなし/SP1 Windows Server[®] 2012 Standard、Datacenter、Essentials、Foundation 	
ディスプレイ	1024×768 16bit Color以上	ネットワーク	TCP/IP通信ができるネットワークであること
その他	Apache Tomcat 7.0.22 Java SE Runtime Environment 6 Update 30 / 7 Update 21 Play framework 1.2.5	その他 (ログデータのみ)	Microsoft [®] SQL Server [®] 2008 Express with Advanced Services Windows [®] Installer 4.5 Microsoft [®] .NET Framework 3.5 SP1 Windows PowerShell [®] 1.0

※1 以下の条件でのみマスターサーバー・データサーバー・ログ解析サーバーと同居可能です。端末台数1000台以下、ログデータWeb閲覧機能へのログオンは同時に1ユーザーまで(ログ検索件数の上限は50000件に制限されます)、スペックは、Webサイト (<http://www.skyseaclientview.net/ver8/technicalsheet/>) の技術資料「システム構成」に準じます。上記以外の場合は、マスターサーバーのほか、SKYSEA Client Viewのほかのサーバー機能との同居不可。専用のサーバー機が必要です。

HTTPゲートウェイサーバー			
CPU	Intel [®] Xeon [®] 1.8GHz (4コア/4スレッド)以上	メモリ	4GB以上
ハードディスク	10GB以上の空きがあること		
OS	<ul style="list-style-type: none"> Windows Server[®] 2008 Standard Edition x64 SP2、Enterprise Edition x64 SP2 R2 Standard Edition SPなし/SP1、 R2 Enterprise Edition SPなし/SP1 	<ul style="list-style-type: none"> Windows Server[®] 2012 Standard、Datacenter、Essentials、Foundation Red Hat[®] Enterprise Linux[®] Server 6.3 x64 	
ディスプレイ	1024×768 16bit Color以上	ネットワーク	TCP/IP通信ができるネットワークであること

その他	Windows [®]	Internet Information Services 7.0/7.5/8.0 Java SE Runtime Environment 7 Play framework 1.2.5	Linux [®]	Apache 2.2 OSにバンドルされたjava-1.7.0-openjdk Play framework 1.2.5
-----	----------------------	--	--------------------	--

高速ログ検索用サーバー (High Speed Log Search)			
CPU	Intel [®] Xeon [®] 2GHz以上(物理プロセッサ1つのサーバーにインストールしてご利用ください。)	メモリ	4GB以上
ハードディスク	データサーバーの2倍の空き容量が必要		
OS	<ul style="list-style-type: none"> Windows Server[®] 2003 Standard Edition SP2、Standard Edition x64 SP2 Enterprise Edition SP2、Enterprise Edition x64 SP2 R2 Standard Edition SP2、R2 Standard Edition x64 SP2 R2 Enterprise Edition SP2、 R2 Enterprise Edition x64 SP2 	<ul style="list-style-type: none"> Windows Server[®] 2008 Standard Edition SP2、Standard Edition x64 SP2 Enterprise Edition SP2、Enterprise Edition x64 SP2 R2 Standard Edition SPなし/SP1、R2 Enterprise Edition SPなし/SP1 Windows Server[®] 2012 Standard、Datacenter、Essentials、Foundation 	
ディスプレイ	1024×768 16bit Color以上	ネットワーク	TCP/IP通信ができるネットワークであること
その他	Windows [®] Installer 4.5	Microsoft [®] SQL Server [®] 2008 R2 Standard	Microsoft [®] .NET Framework 3.5 SP1

サーバー監査用モジュール <オプション(LT/ST)>			
CPU	Intel [®] Pentium [®] 4 3GHz以上	メモリ	1GB以上
ハードディスク	15GB以上の空きがあること		
OS	<ul style="list-style-type: none"> Windows[®] 2000 Server SP4 Windows Server[®] 2003 Standard Edition SP1/SP2、Standard Edition x64 SP2 Enterprise Edition SP1/SP2、Enterprise Edition x64 SP2 R2 Standard Edition SPなし/SP2、R2 Standard Edition x64 SP2 R2 Enterprise Edition SPなし/SP2、R2 Enterprise Edition x64 SP2 	<ul style="list-style-type: none"> Windows Server[®] 2008 Standard Edition SPなし/SP2、Standard Edition x64 SPなし/SP2 Enterprise Edition SPなし/SP2、Enterprise Edition x64 SPなし/SP2 R2 Standard Edition SPなし/SP1、R2 Enterprise Edition SPなし/SP1 Windows Server[®] 2012 Standard、Datacenter、Essentials、Foundation 	
ディスプレイ	1024×768 16bit Color以上	ネットワーク	TCP/IP通信ができるネットワークであること

申請・承認ワークフローシステムWebサーバー <オプション(LT/ST)>			
CPU	デュアルコア Intel [®] Xeon [®] 2.0GHz以上	メモリ	2GB以上
ハードディスク	10GB以上の空きがあること		
OS	<ul style="list-style-type: none"> Windows Server[®] 2003 Standard Edition SP1/SP2、Standard Edition x64 SP2 Enterprise Edition SP1/SP2、Enterprise Edition x64 SP2 R2 Standard Edition SPなし/SP2、R2 Standard Edition x64 SP2 R2 Enterprise Edition SPなし/SP2、 R2 Enterprise Edition x64 SP2 	<ul style="list-style-type: none"> Windows Server[®] 2008 Standard Edition SPなし/SP2、Standard Edition x64 SPなし/SP2 Enterprise Edition SPなし/SP2、Enterprise Edition x64 SPなし/SP2 R2 Standard Edition SPなし/SP1、R2 Enterprise Edition SPなし/SP1 Windows Server[®] 2012 Standard、Datacenter、Essentials、Foundation 	
ディスプレイ	1024×768 16bit Color以上	ネットワーク	TCP/IP通信ができるネットワークであること
その他	Apache Tomcat 7.0.22	Java SE Runtime Environment 6 Update 30 / 7 Update 21	Play framework 1.2.5

申請・承認ワークフローシステムデータベースサーバー <オプション(LT/ST)>			
CPU	デュアルコア Intel [®] Xeon [®] 2.0GHz以上	メモリ	2GB以上
ハードディスク	20GB以上の空きがあること		
OS	<ul style="list-style-type: none"> Windows Server[®] 2003 Standard Edition SP1/SP2、Standard Edition x64 SP2 Enterprise Edition SP1/SP2、Enterprise Edition x64 SP2 R2 Standard Edition SPなし/SP2、R2 Standard Edition x64 SP2 R2 Enterprise Edition SPなし/SP2、 R2 Enterprise Edition x64 SP2 	<ul style="list-style-type: none"> Windows Server[®] 2008 Standard Edition SPなし/SP2、Standard Edition x64 SPなし/SP2 Enterprise Edition SPなし/SP2、Enterprise Edition x64 SPなし/SP2 R2 Standard Edition SPなし/SP1、R2 Enterprise Edition SPなし/SP1 Windows Server[®] 2012 Standard、Datacenter、Essentials、Foundation 	

動作環境

記載の数値は最低スペックです。システム構成や管理対象となる端末の数によって動作環境が異なる場合があります。詳しくは、Webサイトの技術資料をご確認ください。2013年10月4日時点の情報です。最新情報および技術資料は、Webサイト (<http://www.skyseaclientview.net/ver3/operation/>) をご覧ください。

ディスプレイ	1024×768 16bit Color以上	ネットワーク	TCP/IP通信ができるネットワークであること
その他	Microsoft® SQL Server® 2008 Express with Advanced Services SP3		

モバイル情報収集サーバー※1※2 <オプション(LT/ST)>

CPU	Intel® Xeon® E5405 2GHz以上	メモリ	4GB以上
ハードディスク	20GB以上の空きがあること		
OS	<ul style="list-style-type: none"> Windows Server® 2008 Standard Edition SPなし/SP2、Standard Edition x64 SPなし/SP2 Enterprise Edition SPなし/SP2、Enterprise Edition x64 SPなし/SP2 R2 Standard Edition SPなし/SP1、R2 Enterprise Edition SPなし/SP1 Windows Server® 2012 Standard、Datacenter、Essentials、Foundation 		
ディスプレイ	1024×768 16bit Color以上	ネットワーク	TCP/IP通信ができるネットワークであること
その他	Internet Information Services 7.0/7.5/8.0		

※1 iOS対応の場合、インターネットに公開する必要があります。またモバイル情報収集サーバーに対してはSSL (HTTPS) によって通信が行える必要があります。SSLの証明書には自己署名証明書もご利用いただけますが、商用のSSL電子証明書(有償)のご利用を推奨いたします。※2 Android OS対応の場合、モバイル情報収集サーバーとの通信をSSL (HTTPS) によって行う場合は、別途、商用のSSL電子証明書(有償)をご用意ください。

モバイル情報中継サーバー <オプション(LT/ST)>

CPU	Intel® Xeon® E5130 2GHz以上※1	メモリ	2GB以上※2
ハードディスク	20GB以上の空きがあること※3		
OS	<ul style="list-style-type: none"> Windows Server® 2003 Standard Edition SP1/SP2、Standard Edition x64 SP2 Enterprise Edition SP1/SP2、Enterprise Edition x64 SP2 R2 Standard Edition SPなし/SP2、R2 Standard Edition x64 SP2 R2 Enterprise Edition SPなし/SP2、 R2 Enterprise Edition x64 SP2 Windows Server® 2008 Standard Edition SPなし/SP2、Standard Edition x64 SPなし/SP2 Enterprise Edition SPなし/SP2、Enterprise Edition x64 SPなし/SP2 R2 Standard Edition SPなし/SP1、R2 Enterprise Edition SPなし/SP1 Windows Server® 2012 Standard、Datacenter、Essentials、Foundation 		
ディスプレイ	1024×768 16bit Color以上	ネットワーク	TCP/IP通信ができるネットワークであること
その他	XmlLite ランタイム※4		

※1 モバイル端末が1,000台以上の場合、Xeon X3230 2.66GHz、Xeon E5540 2.53GHz以上が必要です。※2 モバイル端末が1,000台以上の場合、8GB以上のメモリが必要です。※3 モバイル端末が1,000台以上の場合、40GB以上の空きが必要です。また、運用状況により異なります。※4 OSがWindows Server 2003 SP1、もしくはWindows Server 2003 R2 SPなし、かつInternet Explorerが6以前の場合は、別途インストールする必要があります。

ハードディスク空き容量について

画面操作録画のデータ容量(1台1fps) ※1時間約20MB	【常時録画】1日10時間 約200MB (例、端末機100台に対して3か月間ログを取った場合 … 約1,800GB) 【検知録画】1日(約2時間※1) 約40MB (例、端末機100台に対して3か月間ログを取った場合 … 約360GB)		
ログデータ容量	1日 約1MB※2	ログデータ容量(高速ログ検出用サーバー導入時)	1日 約4MB※3

※1 検知録画の設定によっては、常時録画に近い容量が必要になる場合があります。※2 事務作業など一般的な業務でのご利用の場合です。ご利用環境によっては、1日約5MB以上になる場合があります。メール送信ログ、クリップボードログは、この参考値の範囲に含まれません。※3 事務作業など一般的な業務でのご利用の場合です。ご利用環境によっては、1日約20MB以上になる場合があります。

SKYSEA Client View動作検証済みUSBメモリ

※五十音順

- アイ・オー・データ機器社製
- イメージン社製
- グリーンハウス社製
- バッファロー社製
- イーディーコンライブ社製
- エレコム社製
- ハギワランソリューションズ社製

※各メーカー様の詳しい対応情報については、Webサイト (<http://www.skyseaclientview.net/ver8/operation/>) をご覧ください。

SKYSEA Client Viewインストール対応NAS

※五十音順

- アイ・オー・データ機器社製
- バッファロー社製
- ロジテック社製

※各メーカー様の詳しい対応情報、ご利用いただけるバージョン・制限事項については、Webサイトの技術資料 (<http://www.skyseaclientview.net/ver8/technicalsheet/>) をご覧ください。

制限事項

2013年10月4日時点の情報です。最新情報は、Webサイト (<http://www.skyseaclientview.net/ver8/limit/>) をご覧ください。

動作環境について

OSについて	<ul style="list-style-type: none"> 英語版OSには、端末機のみ対応となります。アンケート・注意表示等の各種表示は日本語になります。インストールにあたっては、別途日本語ランゲージパックのインストールが必要です。 64bit版OSおよび英語版OSの対応ソフトウェアは、記載されている製品の中で、64bit版OSおよび英語版OSそれぞれに対応しているソフトウェアのみとなります。 英語版Windowsに関して、CD-R / DVD-Rへの書き込み、Webアクセス等への注意表示設定および操作ログは、OSの標準機能、もしくは日本語版の対応ソフトウェアのみ対応となります。アンケート、注意表示等の端末機側UIの英語対応は行っておりません。文字化けへの対応には、別途日本語ランゲージパックのインストールが必要になります。端末機以外には対応していません。 動作環境(P.46～49)に記載のOSは、サービスパックまで指定されたもののみ対応となります。その他のエディションについては、別途お問い合わせください。 Windows標準動作のターミナルサービスを停止している場合、SKYSEA Client Viewの一部機能が利用できません。当社までお問い合わせください。 Windows 2000環境でウイルスバスターコーポレートエディション10.0と併用する場合、SKYSEA Client Viewが正常に動作しない場合があります。詳しくは、当社までお問い合わせください。 Windows RTには対応していません。 Mac端末対応に関する制限事項につきましては、「Mac端末対応機能について(P.57)」をご覧ください。
利用するネットワークについて	<ul style="list-style-type: none"> ほかの通信により、SKYSEA Client Viewが利用可能な帯域幅が確保できない場合には、本ソフトウェアを正常にご利用いただけない場合があります。 ネットワークについては、TCP / IPによって、クライアント同士およびクライアントとサーバー間が相互に通信できる必要があります(NAT環境については、お客様のネットワークによってご利用いただける場合がございます。詳しくは、当社までお問い合わせください)。 ネットワークについては、HUBやルーター、クライアントファイアウォールなどにおいて、SKYSEA Client Viewが使用する通信ポートは相互に通信できるように設定していただく場合があります。 IPv6には対応していません。
メモリについて	<ul style="list-style-type: none"> 本ソフトウェアをクライアントPCに導入される場合には、本ソフトウェアが動作するに十分なメモリ容量が必要です(業務で利用するアプリケーションなどで搭載されているメモリが使われてしまっている場合には、動作しない、動作が極端に遅くなるなどの可能性があります)。
サーバーについて	<ul style="list-style-type: none"> サーバーについては、SKYSEA Client Viewのみが動作するサーバーをご用意ください。Active Directoryの管理、ファイル・プリンターの共有なども含め、ほかの用途で利用されるサーバーとの共存利用は行わないようにしてください。サーバーの増設が難しい場合は仮想化も可能ですのでご検討ください。 サーバーが複数台設置される環境下ではSKYSEA Client Viewのバージョンは同一のバージョンでご利用するようにしてください。また、アップデートを行う際はバージョンを統一してからご利用ください。 クライアントの台数分のCAL(クライアントアクセスライセンス)が必要です。
サーバーなし構成について	<ul style="list-style-type: none"> 300台までの管理対象PCを運用できます(画面録画を利用する場合は100台まで)。 1台目の管理機の電源が入っていないときは、新しいクライアントPCを増やしたり、資産情報が変更されても認識しないため、1台目の管理機の電源が入っているときだけ、クライアントPCが検知されます。 電源が入っているクライアントPCのログのみ確認することができます。また、クライアントPCのハードディスクが故障した場合、その端末のログは失われます。 ログ解析レポート、コスト削減レポート、安全安心レポート、Web利用状況レポート、ユーザー作業状況レポート、Webブラウザ上での資産情報 / ログ閲覧、インターネット経由での資産情報 / ログ収集、高速ログ検索<オプション(LT / ST)>、サーバー監査<オプション(LT / ST)>、申請・承認ワークフローシステム<オプション(LT / ST)>、SKYSEA Client View for MDM<オプション(LT / ST)>は利用できません。
データサーバーの台数について	<ul style="list-style-type: none"> クライアントの利用状況により、負荷は大幅に異なります。 適正台数については、クライアント側の使用頻度などについて、十分な調査の上、適切な台数算出と配置をお願いいたします。
各種収集したログのディスク使用量について	<ul style="list-style-type: none"> クライアントの利用状況により、収集されるログサイズは大幅に異なります。 ログを収納するディスク容量を算出する際には、クライアント側の使用頻度などについて、十分な調査の上、必要なログのディスク容量を算出していただきますようお願いいたします。
シンクライアント対応について	<ul style="list-style-type: none"> 動作確認を行ったバージョンについては以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> Microsoft製 Windows Server 2003 Standard x64 Edition SP2 Terminal Services Microsoft製 Windows Server 2003 R2 Standard Edition SP2 Terminal Services Microsoft製 Windows Server 2008 Standard Edition Terminal Services Microsoft製 Windows Server 2008 Standard x64 Edition Terminal Services Microsoft製 Windows Server 2008 R2 Hyper-V Ver.2.0 VDI Microsoft製 Windows Server 2008 R2 Remote Desktop Services (Terminal Services) Microsoft製 Windows Server 2012 Remote Desktop Service Citrix製 XenApp 5.0 / 6.5 Citrix製 XenDesktop 5.0 Enterprise Edition SP1 / 5.5

制限事項

2013年10月4日時点の情報です。最新情報は、Webサイト (<http://www.skyseaclientview.net/ver8/limit/>) でご覧いただけます。

シンククライアント対応について	<ul style="list-style-type: none"> VMware製 VMware View 4.6 / 5.0 / 5.1 NEC製 VirtualPCCenter Ver.2.1 / Ver.4.0 HP製 CCI <p>※SKYSEA Client View Ver.8シリーズにおいては、上記の各シンククライアント製品の動作確認バージョンおよび、それより新しいシンククライアント製品のバージョンをサポートいたします(ただし、各シンククライアント製品の修正プログラム、マイナーバージョンアップ、メジャーバージョンアップが行われた際には、事前の動作検証をお願いいたします)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ターミナルサービス、XenApp等の環境でご利用の場合、シンククライアントサーバーに1アクセスユーザーあたり約25MBのメモリをSKYSEA Client Viewにて利用します。 ターミナルサービス、XenApp等の環境でご利用の場合、アプリケーション(Microsoft Officeなど)から操作されるファイル操作ログが取得できません。エクスプローラ経由でのファイル操作ログが取得対象となります。
仮想化について	<ul style="list-style-type: none"> SKYSEA Client Viewでは仮想環境上での動作もサポートしております。Webサイトの技術資料をご覧の上、物理環境と同等の性能を有する環境をご用意ください(高速なストレージ装置やファイバーチャネルなどの高速なインタフェースを用いたり、ネットワークインタフェースを仮想マシンごとの割り当てなど)。 動作確認を行った仮想化環境は下記のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> Microsoft製 Windows Server 2008 R2 Hyper-V Ver.2.0 VMware製 VMware ESX/ESXi Ver.3.5 / 4.0 / 5.0 Microsoft製 Windows Server 2012 Hyper-V Citrix製 XenServer 5.6 SP2 <p>※SKYSEA Client View Ver.8シリーズにおいては、上記の各仮想化環境製品の動作確認バージョンおよび、それより新しい仮想化環境製品のバージョンをサポートいたします(ただし、各仮想化環境製品の修正プログラム、マイナーバージョンアップ、メジャーバージョンアップが行われた際には、事前の動作検証をお願いいたします)。</p>
サーバー監査について	<ul style="list-style-type: none"> サーバーOSで監査ログを出力するための設定が必要です。ご利用いただけるサーバーに関する詳細は、動作環境(P.48)をご覧ください。 サーバー監査機能をご利用の場合、データサーバーが必要です。 サーバー監査機能は、OSの監査ログからファイルアクセスログを出力しております。出力するために必要なグループポリシー、監査ログの設定が必要となります。また、出力されるログの内容は監査ログの内容に依存します。
管理機について	<ul style="list-style-type: none"> エンタープライズモードおよびソフトウェア資産管理(SAM)機能は、Windows 2000 SP3ではご利用いただけません。 Windows 2000 SP4でご利用の場合は、「Windows 2000 SP4用の更新プログラムロールアップ 1」の適用が必要です。
本商品とその他ソフトウェアとの動作について	<ul style="list-style-type: none"> 再起動ごとにハードディスクの内容を復元する環境修復ソフトウェアをお使いの場合は、本ソフトウェアが正しく動作しない場合があります。 OSを経由しないファイル操作や特殊な処理を行っているアプリケーションによるファイル操作など、操作ログの取得が行えないため、アラート設定や記憶媒体の制御などSKYSEA Client Viewが正常に動作しない場合があります(暗号化ソフトウェアやデバイス制御ソフトウェア(秘文AE/IC-IF等)が該当します)。
Windows To Goについて	<ul style="list-style-type: none"> デバイス管理、セキュリティ管理、ログ管理などの一部機能は、Windows To Go デバイスに対応していません。
その他	<ul style="list-style-type: none"> TOE(TCP / IP Offload Engine)を無効にしてご利用ください。 ビデオカードの種類によりリモート操作や管理機の利用が正常に行えない場合があります。 Windowsのフォントサイズを標準と異なる値に設定されている場合には、GUI画面が正しく表示されない場合があります。 Windows XP モードの仮想マシン上にインストールされたSKYSEA Client Viewはクライアントライセンスを消費しませんが、そのためにはWindows Virtual PCの「統合機能」を有効にしておく必要があります。

資産管理について

ソフトウェア資産管理(SAM)について	<ul style="list-style-type: none"> Microsoft Office 2000 / 2010 / 2013の場合は、Microsoft Office製品がプリインストール版か判定する情報が取得できません。 Microsoft Office 2000の場合は、リリース種別(製品版、ダウンロード版など)の情報が取得できません。 Windowsストアアプリは、ソフトウェア資産管理(SAM)機能の管理対象外です。 WindowsストアアプリのInternet Explorerでは、申請・承認ワークフローシステムをお使いいただけません。 申請・承認ワークフローシステムをご利用の場合、インストール・設定前に、Active Directoryのセットアップが必要です。
ウイルス対策ソフトウェアについて	<ul style="list-style-type: none"> ウイルス対策ソフトウェアの情報が収集できる製品は、以下の製品のみです。 <ul style="list-style-type: none"> トレンドマイクロ株式会社製 ウイルスバスター 2008 / 2009 / 2010、ウイルスバスター コーポレートエディション 7.3 / 8.0 / 10.0 / 10.0 SP1 / 10.5 / 10.6 / 10.6 SP2、ServerProtect for Linux 3 株式会社シマンテック製 Norton AntiVirus 2006 / 2007 / 2008 / 2009 / 2010 / 2011 / 2012、Norton AntiVirus、Symantec AntiVirus Corporate Edition 10.0.x / 10.1.x / 10.2.x、Symantec Endpoint Protection 11.0 / 12.1 マカフィー株式会社製 McAfee VirusScan Enterprise Ver.8.7i / 8.8、McAfee SaaS Endpoint Protection、McAfee Total Protection Service v5.0 ESET社製 ESET NOD32 アンチウイルス V3.0 / V4.0 / V4.2 / V5.0 / V6.0、ESET Smart Security V3.0 / V4.0 / V4.2 / V5.0 / V6.0、ESET Endpoint Security、ESET Endpoint アンチウイルス 検索エンジンバージョン、パターンファイルバージョン / 更新日時のみ収集できる製品は、以下の製品のみです。 <ul style="list-style-type: none"> Microsoft社製 Windows Defender

ウイルス対策ソフトウェアについて	<ul style="list-style-type: none"> プログラムバージョンとパターンファイル更新日時のみ収集できる製品は、以下の製品のみです。 <ul style="list-style-type: none"> トレンドマイクロ株式会社製 ウイルスバスター 2011 / 2012、ウイルスバスタークラウド カスペルスキー社製 カスペルスキー アンチウイルス 2012 / 2013、カスペルスキー インターネットセキュリティ 2012 / 2013、Kaspersky Endpoint Security 8 for Windows(バージョン8.1) プログラムバージョンのみ収集できる製品は、以下の製品のみです。 <ul style="list-style-type: none"> 株式会社シマンテック製 Symantec Endpoint Protection 12.1 Linux版 マカフィー株式会社製 McAfee VirusScan Enterprise for Linux 1.6.0 / 1.7.1 <p>※詳しい対応状況につきましては、Webサイトの技術資料(http://www.skyseaclientview.net/ver8/technicalsheet/)をご覧ください。</p>
Microsoft Officeについて(Windows版)	<ul style="list-style-type: none"> Microsoft Office状況として、ソフトウェア情報が収集できるWindows版のバージョンは、以下のバージョンのみです。 <ul style="list-style-type: none"> 対応オフィスソフトウェア <ul style="list-style-type: none"> Microsoft Office 2000 / XP / 2003 / 2007 / 2010 / 2013 以下のバージョンは、Microsoft Office状況として、ソフトウェア情報が収集できません。通常のアプリケーションとしてのソフトウェア情報の収集となります。 <ul style="list-style-type: none"> Microsoft Office Visio製品 Microsoft Office SharePoint Design Microsoft Office Project製品 プロダクトIDの自動取得について、Microsoft Office 2013、Microsoft Office 2010は対象外です。 インストール日の日付は、Microsoft Update等によって、初回インストール以後に更新される場合があります。 Microsoft Office 2013 パッケージ版(クイック実行によるインストール)では、プロダクトID、GUID、プリインストール、インストール日の項目について、収集可能な情報がないため収集できません。
Autodesk社製ソフトウェアについて	<ul style="list-style-type: none"> 動作確認を行った製品は以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> AutoCAD 2010 / 2011 / 2012 / 2013 / 2014 AutoCAD Civil 3D 2010 / 2011 / 2012 / 2013 / 2014 AutoCAD Electrical 2010 / 2011 / 2012 / 2013 / 2014 AutoCAD LT 2010 / 2011 / 2012 AutoCAD Mechanical 2010 / 2011 / 2012 / 2013 / 2014 Autodesk Inventor 2010 / 2011 / 2012 / 2013 / 2014 AutoCAD Map 3D 2010 / 2011 / 2012 / 2013 / 2014
プリンターについて	<ul style="list-style-type: none"> プリンターのIPアドレスが取得できるのは、Windows端末に直接接続されているネットワークプリンターで、レジストリにIPアドレス情報が存在する場合のみです。 Linux端末では、CUPSと呼ばれる印刷システムより情報を取得します。そのため、CUPS以外の印刷システムが使用されている場合は、プリンター情報は収集できません。
ソフトウェア配布について	<ul style="list-style-type: none"> ソフトウェア配布可能なメディアは、zip圧縮して4GB以下のものに限りです。 配布 / インストールできるアプリケーションは、当社にて「ソフトウェア情報」をご提供しているアプリケーションに限りです。 ソフトウェア配布中継機能をご利用にあたり中継のためのクライアントPCに別途、ソフトウェア配布中継用モジュールのインストールが必要です。 配布パックを配布できるのは、Windows の SKYSEA Client View 端末機のみです。 Windowsストアアプリは配布できません。 XPモードや仮想環境上の端末機、Windows 8で高速シャットダウンした(ハイブリッドブートが有効な)端末機については、電源オプションを設定しても、配布時に電源をONにできません。 配布時にマスターサーバーとは異なるセグメントの端末機の電源をONするには、各セグメントに少なくとも1台のソフトウェア配布用中継端末があり、マスターサーバーと通信する必要があります。中継端末とマスターサーバーがHTTP(S)接続の場合は、利用できません。
省電力設定について	<ul style="list-style-type: none"> Windows Server 2003 / Windows Server 2008 / Windows Server 2012などのサーバーOSは、省電力設定の対象外となります。
電源OFFスケジュール機能について	<ul style="list-style-type: none"> マスターサーバー(サーバーなし構成の場合の1台目の管理機を含む)、およびサーバーOS上の端末機は、本機能の対象外です。
資産データWeb閲覧機能について	<ul style="list-style-type: none"> 資産データWeb閲覧機能は、Internet Explorer 6 / 7 / 8 / 9 / 10(Windowsストアアプリ版を含む)に対応しています。
その他	<ul style="list-style-type: none"> WindowsストアアプリのInternet Explorerは、資産情報として収集されません。

デバイス管理について

<ul style="list-style-type: none"> シリアルナンバー等の機器情報が認識できないデバイスの管理には、以下の制限があります。 <ul style="list-style-type: none"> デバイス名が同じ場合、個体識別ができないため、デバイス管理台帳では、1つのデバイスとして登録されます。 棚卸等、一部の機能をご利用いただけません。 ※安心してお使いいただけるUSBメモリの推奨メーカーの一覧は、動作環境(P.49)をご覧ください。 大量にファイルを保存したデバイスでは、「USBメモリ等ファイル確認」機能をご利用いただけない場合があります。 申請・承認ワークフローシステムをご利用の場合、インストール・設定前に、Active Directoryのセットアップが必要です。 デバイスに大量のファイルをコピーしてすぐ削除を行った場合、ファイルコピーログとファイル削除ログが出力されますが、ファイルコピーログに対してアラートが発生しない場合があります。
--

制限事項

2013年10月4日時点の情報です。最新情報は、Webサイト (<http://www.skyseaclientview.net/ver8/limit/>) でご覧いただけます。

- 「eSATA接続ハードディスク」としてデバイス管理機能をご利用いただけるのは、バスタ입がATAまたはSATAの、ホットプラグ対応ハードディスクに限ります (OSの認識として)。
- 同じeSATA接続デバイスでも、USBなどほかのインタフェースで接続された場合、USBデバイス台帳には別々に登録されます。

ログ収集について

Web閲覧(ダウンロード)ログについて	<ul style="list-style-type: none"> Web閲覧(ダウンロード)ログは、Internet Explorer 5.5 SP2 / 6 / 7 / 8 / 9 / 10、Firefox 3.0 / 3.5 / 3.6 / 4.0 / 5.0 / 6.0 / 7.0 / 8.0 / 9.0 / 10.0 / 11.0 / 12.0 / 13.0 / 14.0 / 15.0 / 16.0 / 17.0 / 18.0 / 19.0 / 20.0 / 21.0 / 22.0 / 23.0、Google Chrome に対応しています。WindowsストアアプリのGoogle Chromeには対応していません。 Firefox 8.0 / 9.0 / 10.0 / 11.0 / 12.0 / 13.0 / 14.0 / 15.0 / 16.0 / 17.0 / 18.0 / 19.0 / 20.0 / 21.0 / 22.0 / 23.0では「ユーザーが明示的に選択しない限り、アドオンが無効となる」という仕様があるため、SKYSEA Client Viewのアドオンをユーザーが有効にする必要があります。 Google Chromeは、Web書き込みログ、Webアップロードログには対応していません。環境によってはSKYSEA Client Viewのアドオンの自動有効化に失敗する場合があります。また Google Chromeの仕様変更された場合、ログ収集機能をご利用いただくことができなくなる恐れがあります。
Gmail送信ログについて	<ul style="list-style-type: none"> 「Gmail送信」ログは、「Webアクセス」ログとして収集します。そのため「送信メール」ログ関連の機能には対応していません(「電子メール送信」アラート、「電子メール送信宛先フィルタ」アラート、「添付ファイル保存」、「送信メール本文検索」など) 対応しているGmail送信画面は「標準HTML形式」および「簡易HTML形式」です。「Google Apps」および「iGoogle」のGmailには対応していません。 対応しているWebブラウザは、上記「Web閲覧(ダウンロード)ログ」の対応ブラウザをご覧ください(ただしInternet Explorer 5.5 SP2を除く)。 Google ChromeではJava Scriptを有効にしてください。Google Chromeの仕様変更された場合は、ログ収集機能をご利用いただくことができなくなる場合があります。 ログ取得対象となるGmailの言語は、日本語のみです。
FTPアップロードログについて	<ul style="list-style-type: none"> FTPアップロードログを取得できるのは、以下の条件となります。 <ul style="list-style-type: none"> 利用クライアントが、FFFTP 1.96 / 1.97 / 1.98、NextFTP 4、Internet Explorer 5.5 SP2 / 6 / 7 / 8 / 9 / 10であること。 Socksプロトコルを経由しないFTP接続であること。Socksプロトコルを経由するとアップロード自体が行えません。
送信メールログについて	<ul style="list-style-type: none"> Windowsストアアプリによるメール送信ログは、SMTPのみに対応しています。Exchange接続には対応していません。 SMTP接続による送信メールで取得できるのは、以下の条件となります。 <ul style="list-style-type: none"> 利用クライアントが、Microsoft Outlook 2003 / 2007 / 2010 / 2013、Microsoft Outlook Express 6、Windowsメール、Becky! Internet Mail Ver.2、Thunderbird 2 / 3.0 / 3.1 / 5.0 / 6.0 / 7.0 / 8.0 / 9.0 / 10.0 / 11.0 / 12.0 / 13.0 / 14.0 / 15.0 / 16.0 / 17.0、Windows Live メール、メール(Windows 8の標準Windowsストアアプリ)であること。 暗号化されていないSMTPによりメール送信が行われていること。 Exchange接続による送信メールで取得できるのは、以下の条件となります。 <ul style="list-style-type: none"> 利用クライアントが、Microsoft Outlook 2003 / 2007 / 2010 / 2013であること。 ログを収集するには「Microsoft .NET Framework 2.0のインストール」と「Microsoft Office アドインパッチ」の適用が必要となります。ただし、端末機のOSがWindows 2000 Server SP4、Windows 2000 Professional SP3 / SP4の場合は、Microsoft .NET Framework 1.1も必要となります。64bit版のMicrosoft Office製品を利用する場合には、Microsoft .NET Framework 3.5のインストールが必要です。また、SKYSEA Client View Ver.3.2以前のバージョンからアップデートされる場合、「Microsoft Office アドインパッチ」の適用は必要ありません。OSがWindows 8、Windows Server 2012で、SKYSEA Client Viewを8.0から8.2へバージョンアップした後にMicrosoft Office 2013を利用する場合は、Ver.8.2用の「Microsoft Office アドインパッチ」の再適用が必要です。 インターネット接続ができない環境では、Microsoft .NET Frameworkの挙動により、Microsoft Office製品の起動に時間がかかる場合があります。 Microsoft Outlook 2003をご利用の場合、KB2293428の更新プログラムが適用されていると送信メールログの収集が行えません。回避方法に関しては、当社までお問い合わせください。 送信済みアイテムに保存されるメッセージがログ取得の対象となります。 SMTP over SSL、Webメール、グループウェアメールなどの接続方法は送信メールログとして取得することはできません(Webメールは、Webアクセスログとして、取得することができます)。 Microsoft Word、Microsoft Excelなど、メールソフトウェア以外からのメール送信は、送信メールログとして取得することができません。
FTPアップロードログについて	<ul style="list-style-type: none"> OSを経由しないファイル操作や特殊な処理を行っているアプリケーションによるファイル操作など、ファイル操作ログが取得できない場合があります。 暗号化ソフトウェアをご利用の場合、暗号化ソフトウェアが暗号化や復号化処理を行うため、ファイル操作ログを取得できない場合があります。 コマンドプロンプト上でのログ収集に対応しているコマンドは下記のとおりとなります。 COPY/DEL/ERASE/MD/MKDIR/MOVE/RD/REN/RENAME/REPLACE/RMDIR/SORT/XCOPY/EXPAND/ECHO/FSUTIL/リダイレクト(DIR > DIR.TXTなど)

ファイル操作ログについて	<ul style="list-style-type: none"> Windows PowerShellでのログ収集に対応しているコマンドは下記のとおりとなります。 Copy-Item/Mkdir/Move-Item/New-Item/Remove-Item/Rename-Item/リダイレクト(DIR > DIR.TXTなど) ※その他の動作についてはお問い合わせください。 ファイル参照ログは、Windows の「最近使ったファイル」/「最近使った項目」に登録されるファイルのみが対象です。また「最近使ったファイル」/「最近使った項目」が更新されない場合はログが取得できません。 Microsoft SkyDriveの同期処理によるファイル操作ログは取得できません。
ファイルアクセスログについて	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークやOSの負荷状況によっては、ファイルアクセスログが取れない場合があります。 ウイルス対策ソフトウェアとの相性により、ファイルアクセスログが取れない場合があります。 TOE(TCP / IP Offload Engine)を無効にご利用ください。ファイルアクセスログが取れない場合があります。 マルチセッション環境下からのアクセスによるファイルアクセスログは、アクセスユーザーの情報正しく取得できない場合があります。
ファイル操作ログ / ファイルアクセスログについて	<ul style="list-style-type: none"> ファイルサイズ情報は、操作種別やタイミングによっては取得できない場合があります。
「名前を付けて保存」時のログについて	<ul style="list-style-type: none"> 対応製品は、Microsoft Word、Microsoft Excelとなります。 Microsoft Wordの対応バージョンは、2002 / 2003 / 2007 / 2010 / 2013のみです。2000以前のバージョンでは、収集できません。 端末機において、動作保証しているOSのうち、Windows XP Professional SP1は、非対応です。動作保証しているOSについては、Webサイトをご覧ください。 ログを収集するには「Microsoft .NET Framework 2.0のインストール」と「Microsoft Office アドインパッチ」の適用が必要となります。ただし、端末機のOSがWindows 2000 Server SP4、Windows 2000 Professional SP3 / SP4の場合は、Microsoft .NET Framework 1.1も必要となります。64bit版のMicrosoft Office製品を利用する場合には、Microsoft .NET Framework 3.5のインストールが必要です。また、SKYSEA Client View Ver.3.2以前のバージョンからアップデートされる場合、「Microsoft Office アドインパッチ」の適用は必要ありません。OSがWindows 8、Windows Server 2012で、SKYSEA Client Viewを8.0から8.2へバージョンアップした後にMicrosoft Office 2013を利用する場合は、Ver.8.2用の「Microsoft Officeアドインパッチ」の再適用が必要です。 インターネット接続ができない環境では、Microsoft .NET Frameworkの挙動により、Microsoft Office製品の起動に時間がかかる場合があります。 インターネット接続できない環境では、Microsoft Wordの起動に時間がかかる場合があります。詳細については、Microsoft社のサポートページ(http://support.microsoft.com/kb/936707/ja-jp)をご確認ください。
プリントログについて	<ul style="list-style-type: none"> ログ収集設定によっては、Windowsストアアプリによるプリントログが取得できません。Windowsストアアプリ以外では、Internet Explorer 10でも同様の制限があります。 出力したドキュメント名はログとして記録されますが、出力されたファイル名はログとして記録されません。 プリンターにデータが送られた時点で、プリントログとして記録されるため、実際にプリンターで印刷が完了されたかどうかは、ログから確認することはできません。 プリンターのIPアドレスが取得できるのは、Windows端末に直接接続されているネットワークプリンターで、レジストリにIPアドレス情報が存在する場合のみです。
アプリケーションログについて	<ul style="list-style-type: none"> 仮想DOSマシンで実行されるアプリケーションは、アプリケーションログとして取得することができません。
スタンドアロン端末機ログ収集について	<ul style="list-style-type: none"> スタンドアロン端末機ログ収集をご利用の場合、データサーバーが必要です。 対象のクライアントPC(Windowsのみ)に別途、スタンドアロン端末機用モジュールのインストールが必要です。
ログ解析について	<ul style="list-style-type: none"> インストール時には、IIS6.0もしくは、IIS7.0 / IIS7.5 / IIS8.0および、Microsoft .NET Framework 3.5 SP1が必要となります。
CD / DVDライティングソフトウェアについて	<ul style="list-style-type: none"> Windows XP / Windows Vista / Windows 7 / Windows 8のOS標準のライティング機能にも対応しています。Windows Vista / Windows 7 / Windows 8は、マスター形式のみ対応しています(パケットライト方式では、CD/DVDに記録されたファイルのログが取得できません)。 CD / DVDライティングソフトウェアの対応製品は、以下の製品です。 <ul style="list-style-type: none"> Easy Media Creator 9 / 10 Roxio Creator 2009 Windows DVD メーカー Sonic RecordNow 9 PowerProducer 5 Ultra Corel VideoStudio Pro X5 B's Recorder GOLD 5 / 7 / 9 / 11 Clone CD 5.3.0.1 Clone DVD 2.9.0.9 WinCD R 9.0 Clone DVD 2.9.0.9 WinCD R Lite Ver.2 BlindWrite 5 CyberLink Power2Go 6 CopyToDVD 3.1.3.137 Nero 7 / 8 Inter Video DVD Copy 5 CD Manipulator 2.70 Final Platinum / Gold CD / DVDライティングソフトウェア(パケットライト方式)の対応製品は、以下の製品です。※書き込み制限には対応していません。 <ul style="list-style-type: none"> Easy Media Creator 9(Drag To Disc) B's CLIP 5/7 Nero InCD 5 RecordNow 9(Drag To Disc) CyberLink InstantBurn 5

制限事項

2013年10月4日時点の情報です。最新情報は、Webサイト (<http://www.skyseaclientview.net/ver8/limit/>) でご覧いただけます。

CD / DVDライティングソフトウェアについて	<ul style="list-style-type: none"> Corel Video Studio Pro X5によるCD書き込みログの書き込み元ファイルパスは、すべてCorel Video Studio Pro X5の作業フォルダとなります。
ログデータWeb閲覧機能について	<ul style="list-style-type: none"> 本機能はデータサーバーが必須です。 画面操作録画の再生と、高速ログ検索には対応していません。 ログデータWeb閲覧機能は、Internet Explorer 6 / 7 / 8 / 9 / 10 (Windowsストアアプリ版を含む)に対応しています。
画面録画再生について	<ul style="list-style-type: none"> ゲームやビデオ再生画面など、ウィンドウ内が録画されない(黒くなり表示されない)場合があります。 常時録画は単一のユーザーでログオンしている場合のみお使いいただけます。
高速ログ検索について	<ul style="list-style-type: none"> 管理機にSQL Server Native Clientが必要となります。 管理機においては、動作保証しているOSのうち、Windows 2000 Professional SP3、Windows XP Professional SP1は、非対応です。動作保証しているOSについては、動作環境 (P.48) をご覧ください。※高速ログ検索の管理機には、Microsoft MDAC 2.8 SPなし / SP1が必要です。 「SKYSEA Client View High Speed Log Search」にバンドルされているMicrosoft SQL Server 2008 R2 Standard 日本語版は、プロセッサライセンスのため、CAL (クライアントアクセスライセンス) を購入する必要はありません。また、動作させるサーバーについては、Microsoft社のライセンス条件に沿って、1つの物理プロセッサを搭載したサーバーにインストールしてご利用ください。

セキュリティ管理について

- デバイスマネージャ上で「SCSI、RAIDコントローラ、ATA、SATA (Serial ATA)」と認識している機器は、「内蔵デバイス」の扱いとなります。ただし、CD/DVDドライブは、すべて「外付けデバイス」の扱いとなります。
- 「ファイル操作」注意表示と「アプリケーション」の「ウィンドウタイトル」注意表示について、ユーザーのオペレーションにより、これらの注意表示が発生し、メール送信または、端末機のポップアップ通知が行われた後、一定時間(2分)内に発生した同一種類の注意表示に対する、メール送信および、端末機の画面にメッセージを表示(ポップアップ通知)は行われません。
- 記憶媒体使用禁止機能は、特殊な方法で記憶媒体を制御しているシステムをお使いの場合には、禁止できない場合があります。
- CD / DVDライティングソフトウェアの中には、特殊な書き込み処理を行っているものがあります。そのため、CD / DVDドライブへの記憶媒体書き込み禁止状態の場合、特殊な書き込み処理をするソフトウェアの一部製品に対しては、実行ファイルの起動を禁止することでデータ書き込みを制限しています。起動を禁止しているCD / DVDライティングソフトウェアは、以下の製品です。
 - B's Recorder GOLD 7
 - Clone DVD 2.9.0.9
 - Inter Video DVD Copy 5 Platinum / 5 Gold
 - BlindWrite 5
 - Easy Media Creator 9 / 10
 - CopyToDVD 3.1.3.137
 - Clone CD 5.3.0.1
 ※起動を禁止している実行ファイルについては当社までお問い合わせください。
- Windows Server 2003 SP1 / SP2、Windows Server 2003 R2 / SP2 では、記憶媒体使用禁止機能を解除しても、OSの再起動を行わないと解除されない場合があります。
- FTPアップロード・ダウンロードを禁止できるのは、以下が条件となります。
 - 利用クライアントが、FFFTP 1.96 / 1.97 / 1.98、NextFTP 4、Internet Explorer 5.5 SP2 / 6 / 7 / 8 / 9 / 10 であること。
- 通信デバイス使用制限機能は、Windowsのデバイスマネージャ上に表示されている通信デバイスが対象となります。
- 指定した無線アクセスポイントのみ通信を許可する機能はWindows XP SP2以前のOSではお使いいただけません。
- 次のGUIDのデバイスをBluetoothデバイスと判定します。
 - Microsoft標準 (e0cbf06c-cd8b-4647-bb8a-263b43f0f974)
 - HP (95c7a0a0-3094-11d7-a202-00508b9d7d5a)
 - Dell (7240100f-6512-4548-8418-9EBB5C6A1A94)
- 業務外アプリケーション実行アラートは、Windows 8およびWindows Server 2012の端末機では検知されません。
- 印刷物取り忘れアラートは、Windowsストアアプリからの印刷に対応していません。
- SkyDriveアプリ(デスクトップアプリ)を利用する端末機に対して、SkyDriveの利用アラートを有効にするには、設定適用後に端末機をログオンし直す必要があります。
- プリンターサーバー経由での印刷を印刷禁止アラートで検知する場合は、プリンターサーバーにSKYSEA Client Viewの端末機ソフトウェアをインストールする必要があります。また、アラート対象の端末機とプリンターサーバーとが双方向に通信ができる必要があります。
- アラート発生時のメール通知機能設定で対応しているSMTP認証方式は、「LOGIN」もしくは「CRAM-MD5」です。

不許可端末検知 / 遮断について	<ul style="list-style-type: none"> 不許可端末の遮断を行うには、許可端末にSKYSEA Client Viewをインストールするか、許可端末リストに正しく登録する必要があります(ネットワークプリンターなどを含む)。 認証VLANや検疫ネットワークなど、通常のIPネットワークではない環境においては、不許可端末遮断機能を使用できない場合があります。 不許可端末検知 / 遮断機能については、必要などきのみ該当機能を有効・無効、ON / OFFすることはできません。お使いになる際には、本機能を常時有効、ONにしてください。ネットワーク上に、すでに不許可になる端末が存在している場合において、不許可端末検知・遮断機能を設置して有効にしてから、動作を開始するまでの時間は環境により変化します。 SKYSEA Client Viewの管理機・端末機をインストールしたクライアントPC (Windows XP / Windows Vista / Windows 7 / Windows 8) では、ネットワークカードのチーミング設定を行わないでください。 ルーター等により、パケットの内容を変更するような動作が行われる環境、およびパケットを検疫するような環境では遮断機能がご利用いただけないことがあります。
------------------	--

不許可端末検知 / 遮断について	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク上の機器から頻りにARPリクエストが送信される環境では、遮断機能が効果的に動作しない可能性があります。 無線LAN接続の端末機では遮断機能がご利用いただけません。また無線LAN接続の端末機で遮断機能を有効にした場合、無線アクセスポイントが高負荷になる可能性があります。 不許可端末検知 / 遮断をご利用の環境では、バージョン混在でお使いにならないようお願いいたします。不許可端末検知 / 遮断の動作に問題が生じることがあります。必ずサーバーおよび全クライアントPCをアップデートし、同一バージョンに合わせていただきますようお願いいたします。
端末機による検知 / 遮断について	<ul style="list-style-type: none"> 不許可端末を検知するには、そのIPセグメントにSKYSEA Client ViewをインストールしたクライアントPCが起動している必要があります。 サーバーOSでのご利用の場合は、別途お問い合わせください。
不許可端末遮断ユニットについて	<ul style="list-style-type: none"> 1セグメントに複数の不許可端末遮断ユニットを設置することはできません。 1セグメントあたり200台を超える環境でお使いいただく場合は、事前に当社までお問い合わせください。 検知・遮断のメールによるアラートは設定できません。 ※上記、制限事項はSKYSEA Client View Ver.6以前にご提供していた不許可端末遮断ユニットに関する事項となります。
メール送信宛先フィルタリングについて	<ul style="list-style-type: none"> Active Directory環境が必要です。 その他、Exchange接続による送信メールログを取得する場合と同じ要件を満たす必要があります。詳しくは、「制限事項 > ログ収集について > 送信メールログについて」(P.53) をご覧ください。
WSUS連携について	<ul style="list-style-type: none"> WSUS連携で対応しているWSUSのバージョンは下記のバージョンです。 <ul style="list-style-type: none"> ○WSUS 3.0 SP2 ○WSUS for Windows Server 2012 XPモードや仮想環境上の端末機、Windows 8で高速シャットダウンした(ハイブリッドブードが有効な)端末機については、電源オプションを設定しても、実行時に電源をONにできません。 マスターサーバー(サーバーなし構成の場合の1台目の管理機を含む)、およびサーバーOS上の端末機は、更新完了後に電源をOFFにできません。 WSUSサーバー(またはMicrosoftのWindows Updateの供給サーバー)への接続にHTTPプロキシを利用する環境では、WinHTTP proxyの設定が適切に構成されている必要があります。 ユーザーによる操作が必要な更新プログラムの適用はできません。 配布時にマスターサーバーとは異なるセグメントの端末機の電源をONするには、各セグメントに少なくとも1台のソフトウェア配布用中継端末があり、マスターサーバーと通信する必要があります。中継端末とマスターサーバーがインターネット経由(HTTP(S))で接続する場合は電源をONにできません。

クライアントPCから、ログ解析レポート / コスト削減レポート / 安全安心レポートへのアクセスについて

- 各レポートへのアクセスはWindows端末のみ対応です。Webブラウザプラグイン Microsoft Silverlight 3 / 4 / 5のインストールが必要です。
- 動作保証しているOSのうち、Windows 2000 Professional SP3 / SP4、Windows 2000 Server SP4、Windows XP Professional SP1は、必要なMicrosoft Silverlightがインストールできないため、非対応です。
- レポートで印刷表示を行う場合は、Adobe Reader 9/10が必要です。
- レポートを閲覧する端末機、管理機およびログ解析サーバー/レポート用サーバーには、JIS2004対応フォント(KB927489)の適用が必要です (Windows Vista以降、Windows Server 2008以降のOSには、標準搭載されています)。
- JIS2004対応フォントについては、Microsoft社のサポートページ (<http://support.microsoft.com/kb/927489/ja>) をご確認ください。
- 解析結果の表示には、Microsoft Excel 2000 / 2002 / 2003 / 2007 / 2010 / 2013が必要です。
- WindowsストアアプリのInternet Explorerは、ログ解析レポート / コスト削減レポート / 安全安心レポートに対応していません。

ログ解析用サーバー / レポート用サーバーについて

- Windows Server 2003 SP1、Windows Server 2003 R2 SPなしは、Microsoft SQL Server 2008 Express with Advanced Servicesをインストールできないため、レポートの印刷機能をご利用いただけません。
- ログ解析レポート / コスト削減レポート / 安全安心レポート / Web利用状況レポート / ユーザー作業状況レポートをご利用の場合、データサーバーが必要です。

メンテナンスについて

- キーボード・マウス操作が同時に行えるのは、最大50台までです。
- Windows XPならびにWindows Server 2003以前のOSの場合、リモートデスクトップ接続と併用すると、リモート操作の接続に失敗する場合があります。
- リモート操作中のファイル転送は、Windows 8のスタート画面やWindowsストアアプリの画面に対しては行えません。
- 電源管理機能によるMicrosoft アカウントでのリモートログオンは行えません。
- マクロ機能、実行機能によるWindowsストアアプリの実行はできません。

制限事項

2013年10月4日時点の情報です。最新情報は、Webサイト (<http://www.skyseaclientview.net/ver8/limit/>) でご覧いただけます。

- 電源管理機能は、Windows 8の高速スタートアップ(ハイブリッドブート)には対応していません。高速スタートアップが有効な状態で、手動でシャットダウンを行った場合は、リモート電源ONができません。
- タブレット端末に対してリモート操作を行う場合、端末側でもタッチ・ペンによる操作が可能です。

リモートインストールツールについて

- リモートインストールツールをご利用の場合は、事前設定が必要となります。
- ツールを実行する管理機としては、Windows 2000ではご利用いただけません(データの配布先クライアントPCとしてはご利用いただけます)。

インターネット経由での資産情報・ログ収集機能について

- 管理コンソールからインターネットの向こう側にある端末機に対しては、次の機能がご利用になれません。
 - 電源状態の取得
 - 電源管理
 - データ取得
 - 資料配布
 - リモート操作
 - 実行
 - キーボード・マウス転送
 - マクロ
- 管理コンソールからインターネットの向こう側にある端末機へは設定が即座に反映されません。コンピューターの起動時など、端末機から設定を取得するタイミングに反映されます。
- マスターサーバーから直接実行する次の機能も、インターネットの向こう側にある端末機に対してはご利用になれません。
 - ネットワーク機器の死活監視
 - MIB情報更新
- HTTP(S)経由でソフトウェア配布の中継機能をご利用になる場合は、ソフトウェア配布中継端末プログラムに加え、端末機プログラムもインストールする必要があります。
- インターネット経由の資産情報・ログ収集が有効な管理機・端末機では次の機能がご利用になれません。
 - 不許可端末検知/遮断
 - アラート項目「インストール必須アプリケーション」「残業時間お知らせメッセージ」による検疫
 - 高速ログ検索
 - Web利用状況
 - ユーザー作業状況
 - 資産レポート
- Webブラウザを使用する機能はHTTP(S)経由での使用をサポートしていません。
 - 申請・承認ワークフローシステム
 - 安全安心レポート
 - 資産データ / ログデータWeb閲覧機能
 - コスト削減レポート
 - ログ解析レポート
- 監査対象サーバーからデータサーバーへのデータアップロードはHTTP(S) 経由では行えません。
- HTTPゲートウェイから接続するマスターサーバー、データサーバーは、HTTPゲートウェイからコンピューター名でアクセスできる必要があります。従って、IPアドレスを指定してマスターサーバー、データサーバーを構築した環境では利用できません。
- HTTPゲートウェイまでの通信経路で、HTTPリクエスト数で制限するファイアウォール機能をもつセキュリティ製品を利用される場合には、ご利用環境に応じて設定が必要となります。

Mac端末 対応機能について

- 電源状態の取得、部署別インストーラー作成、デバイス管理、ログ管理、リモート操作をご利用いただけるOSのバージョンは、Mac OS X 10.5以降となります。

- | | | |
|----------|-------------------------|--|
| 資産管理について | ウイルス対策ソフトウェアについて (Mac版) | <ul style="list-style-type: none"> ウイルス対策ソフトウェアの情報が収集できる製品は、以下の製品のみです。 <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/>マカフィー株式会社製
McAfee VirusScan for Mac 9.1 / 9.2 プログラムバージョンのみ収集できる製品は、以下の製品のみです。 <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/>トレンドマイクロ株式会社製
ウイルスバスター for Mac プログラムバージョン 1.5 / 1.6 / 2.0 <input type="radio"/>株式会社シマンテック製
Norton AntiVirus Mac版 11.1 / 12.0, Symantec Endpoint Protection 12.1 Mac版 <input type="radio"/>マカフィー株式会社製
McAfee Endpoint Protection for Mac 1.0 / 1.1 / 1.2 <input type="radio"/>カスベルスキー社製
カスベルスキー セキュリティ for Mac 13.0 <p>※詳しい対応状況につきましては、Webサイトの技術資料 (http://www.skyseaclientview.net/ver8/technicalsheet/) をご覧ください。</p> |
|----------|-------------------------|--|

資産管理について	Microsoft Officeについて (Mac版)	<ul style="list-style-type: none"> Microsoft Office状況として、ソフトウェア情報が収集できるMac版のバージョンは、以下のバージョンのみです。 <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/>対応オフィスソフトウェア Microsoft Office for Mac 2011 (取得できる情報はインストール状況のみとなります)
	プリンターについて	<ul style="list-style-type: none"> Mac端末では、CUPSと呼ばれる印刷システムより情報を取得します。そのため、CUPS以外の印刷システムが使用されている場合は、プリンター情報は収集できません。
申請・承認ワークフローシステムについて		<ul style="list-style-type: none"> Mac端末でご利用の場合、対応ブラウザはSafari 5.1/6.0となります。
デバイス管理について		<ul style="list-style-type: none"> Mac端末に接続されたiPhone / iPadの使用は禁止できません。 CD / DVD / Blu-rayドライブへの「記憶媒体書き込み」制限はできません。また空白ディスクを挿入した場合は、「記憶媒体使用」制限もできません。
ログ管理について		<ul style="list-style-type: none"> ファイルアクセスログ、不許可端末検知ログ、ゲートウェイ検知ログには対応していません。 ファイル操作ログの「フォルダコピー」には対応していません(コピー操作が含まれるログの追跡も途切れず)。「ファイルコピー」のログ収集対象となる操作は、Finderとcpコマンドによる同一ファイル名でのコピー操作のみです。 ファイル操作ログおよびファイルアクセスログのファイルサイズ情報は、操作種別やタイミングによっては取得できない場合があります。 Webアクセスログの対応ブラウザはSafari 5.1/6.0となります。ただしWeb書き込みログ、Webアップロードログ、FTPアップロードログ、Gmail送信ログには対応していません。 SMTP接続による送信メールで取得できるのは、利用クライアントが Mail (Mac OS X標準)である場合となります。 資産管理同様、CUPS以外の印刷システムが使用されている場合は、プリントログの印刷枚数およびデバイスURI情報は収集できません。 ログデータWeb閲覧機能でログ検索を行う場合、送信メールログの本文データは「Shift_JIS」で検索するため、「Shift_JIS」で表現できない文字は検索できません。 アラート発生通知メールの内容に、「Shift_JIS」で表現できない文字列が存在する場合は、「?」に変換されます。
メンテナンスについて		<ul style="list-style-type: none"> リモート操作中は端末側でも操作が可能です。

SKYSEA Client View for MDMのご利用について

共通事項	<ul style="list-style-type: none"> モバイル端末の台数分にCAL(クライアントアクセスライセンス)が必要です。
iPhone / iPad対応について	<ul style="list-style-type: none"> SKYSEA Client View for MDM (iPhone / iPad対応)を運用するには、データサーバーが必須となります。 本機能では、Appleプッシュ通知サービス(APNS)を利用しており、モバイル端末機(iOS)およびモバイル情報収集サーバーからAPNSサーバーに対して、所定の通信ポートで通信可能なネットワーク環境が必要となります。詳しくは、Webサイトの技術資料をご覧ください。 Appleプッシュ通知サービスを利用する上で必要となる証明書には、1年の有効期限があります。有効期限が切れる前に必ず証明書を更新してください。証明書を更新しない場合、SKYSEA Client View for MDMの機能が使用できなくなります。 資産情報の電話番号はSIMカードが挿入されている場合のみ収集できます。 機能制限設定の「Appleへの診断データの送信を禁止する」機能は、iOS 5.1以上でのみお使いいただけます。 機能制限設定の「YouTubeの利用を禁止する」機能で利用を禁止できるのは、iOS 5までのiPhone / iPadにプリインストールされているYouTubeのみです。 iPhone / iPadのMDMプロファイルを利用するほかのMDMツールとの共存はできません。
Android対応について	<ul style="list-style-type: none"> 機種別の制限事項につきましては、別途当社までお問い合わせください。 Android OSは、運用中であってもOSが仕様変更されることがございます。また、端末機種単位でも端末メーカー様の独自仕様を採用されることもあり、その結果、端末管理機能を継続的にご利用いただくことができない場合がございます。

SKYSEA Client View for MDMの管理コンソール・サーバー側について

共通事項	<ul style="list-style-type: none"> SKYSEA Client ViewはUnicodeに対応していないため、管理コンソール上で、モバイル端末機の資産情報に「?」が表示される場合があります。 モバイル端末機は、資産レポートの対象外です。
iPhone / iPad対応について	<ul style="list-style-type: none"> 「モバイル設定」の「無線LAN設定」で「SSID」を設定する場合に、「=」は使用できません。 アラート設定の「アクセスポイント接続設定」で、同名の「SSID」は設定できません。
Android対応について	<ul style="list-style-type: none"> 「許可 / 不許可アプリケーション」のアラート設定を行う場合、システムアプリケーションを「アラート対象としないパッケージ」に登録していても、アラート対象から除外して実行可能です。ただし、Android 端末ごとに、同じアプリケーションでも「システムアプリケーション」として認識しない端末が存在するため、機種によりアラート通知される場合があります。

海外での利用について

- SKYSEA Client Viewは、海外での販売、サポートには対応いたしません。